

基本計画書

基		本		計		画			
事項	記入欄							備考	
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更								
フリガナ設置者	ガクコウジケン トカイイブク 学校法人 東海大学								
フリガナ大学の名称	トカイイブク 東海大学 (Tokai University)								
大学本部の位置	神奈川県平塚市北金目4-1-1								
大学の目的	本学は、人道に根ざした深い教養をもつ有能な人材を養成すると同時に、高度の学問技術の研究教授することにより、人類社会の福祉に貢献することをもって目的とする。								
新設学部等の目的	本学は、神奈川県及び静岡県と連携し、地域医療を担う医師の養成を図り、地域の医療福祉に貢献することを目的として、平成28年度から令和5年度までの間、臨時に増員していた入学定員8名について、令和6年度まで延長する。								
新設学部の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	文学部	年	人	年次人	人		年 月 第 年次	神奈川県平塚市 北金目4-1-1	
	文学学科	4	60	—	240	学士（文学）	平成13年4月 第1年次		
	歴史学科								
	日本史専攻	4	50	—	200	学士（文学）	昭和58年4月 第1年次		
	西洋史専攻	4	50	—	200	学士（文学）	昭和58年4月 第1年次		
	考古学専攻	4	30	—	120	学士（文学）	昭和58年4月 第1年次		
	日本文学科	4	90	—	360	学士（文学）	平成13年4月 第1年次		
	英語文化コミュニケーション学科	4	90	—	360	学士（文学）	昭和35年4月 第1年次		
	文化社会学部								神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	アジア学科	4	70	—	280	学士（文化社会学）	平成30年4月 第1年次		
	ヨーロッパ・アメリカ学科	4	70	—	280	学士（文化社会学）	平成30年4月 第1年次		
	北欧学科	4	60	—	240	学士（文化社会学）	平成30年4月 第1年次		
	文芸創作学科	4	60	—	240	学士（文化社会学）	平成30年4月 第1年次		
	広報メディア学科	4	100	—	400	学士（文化社会学）	平成30年4月 第1年次		
	心理・社会学科	4	90	—	360	学士（文化社会学）	平成30年4月 第1年次		
	教養学部							神奈川県平塚市 北金目4-1-1	
	人間環境学科	4	120	—	480	学士（教養学）	昭和43年4月 第1年次		
芸術学科	4	70	—	280	学士（教養学）	昭和43年4月 第1年次			
児童教育学部							神奈川県平塚市 北金目4-1-1		
児童教育学科	4	150	—	600	学士（児童教育学）	令和4年4月 第1年次			

新	体育学部									神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	体育学科	4	120	—	480	学士（体育学）	昭和42年4月 第1年次			
	競技スポーツ学科	4	170	—	680	学士（体育学）	平成16年4月 第1年次			
	武道学科	4	60	—	240	学士（体育学）	昭和43年4月 第1年次			
設	生涯スポーツ学科	4	120	—	480	学士（体育学）	昭和46年4月 第1年次			
	スポーツ・レジャー マネジメント学科	4	70	—	280	学士（体育学）	平成16年4月 第1年次			
学	健康学部									神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	健康マネジメント学 科	4	200	—	800	学士（健康マ ネジメント学）	平成30年4月 第1年次			
	法学部									神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	法律学科	4	300	—	1200	学士（法学）	昭和61年4月 第1年次			
	政治経済学部									（湘南校舎） 神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	政治学科	4	200	—	800	学士（政治学）	昭和41年4月 第1年次			（高輪校舎） 東京都港区高輪 2-3-23
	経済学科	4	200	—	800	学士（経済学）	昭和41年4月 第1年次			
	経営学部									（湘南校舎） 神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	経営学科	4	230	—	920	学士（経営学）	令和4年4月 第1年次			（高輪校舎） 東京都港区高輪 2-3-23
	国際学部									（湘南校舎） 神奈川県平塚市 北金目4-1-1
部	国際学科	4	200	—	800	学士（国際学）	令和4年4月 第1年次			（高輪校舎） 東京都港区高輪 2-3-23
	観光学部									（湘南校舎） 神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	観光学科	4	200	—	800	学士（観光学）	平成22年4月 第1年次			（高輪校舎） 東京都港区高輪 2-3-23
	情報通信学部									（湘南校舎） 神奈川県平塚市 北金目4-1-1
等	情報通信学科	4	240	—	960	学士（情報通信 学）	令和4年4月 第1年次			（高輪校舎） 東京都港区高輪 2-3-23
	理学部									神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	数学科	4	80	—	320	学士（理学）	昭和39年4月 第1年次			
	情報数理学科	4	80	—	320	学士（理学）	昭和49年4月 第1年次			
	物理学科	4	80	—	320	学士（理学）	昭和39年4月 第1年次			
	化学科	4	80	—	320	学士（理学）	昭和39年4月 第1年次			
概	情報理工学部									神奈川県平塚市 北金目4-1-1
	情報科学科	4	100	—	400	学士（工学）	平成13年4月 第1年次			
	コンピュータ応用工 学科	4	100	—	400	学士（工学）	平成13年4月 第1年次			
	情報メディア学科	4	100	—	400	学士（工学）	令和4年4月 第1年次			
要										

新	建築都市学部								神奈川県平塚市 北金目4-1-1	
	建築学科	4	240	—	960	学士（工学）	令和4年4月 第1年次			
設	土木工学科	4	100	—	400	学士（工学）	令和4年4月 第1年次			
	工学部								神奈川県平塚市 北金目4-1-1	
学	航空宇宙学科									
	航空宇宙学専攻	4	90	—	360	学士（工学）	昭和42年4月 第1年次			
部	航空操縦学専攻	4	50	—	200	学士（工学）	昭和42年4月 第1年次			
	機械工学科	4	140	—	560	学士（工学）	昭和46年4月 第1年次			
等	機械システム工学科	4	140	—	560	学士（工学）	令和4年4月 第1年次			
	電気電子工学科	4	120	—	480	学士（工学）	平成18年4月 第1年次			
の	医工学科	4	80	—	320	学士（工学）	令和4年4月 第1年次		(湘南校舎) 神奈川県平塚市 北金目4-1-1 (伊勢原校舎) 神奈川県伊勢原市 下糟屋143	
	生物工学科	4	100	—	400	学士（工学）	令和4年4月 第1年次			
概	応用化学科	4	100	—	400	学士（工学）	平成13年4月 第1年次			
	医学部								(湘南校舎) 神奈川県平塚市 北金目4-1-1 (伊勢原校舎) 神奈川県伊勢原市 下糟屋143	医学部医学科の今回の8名の 入学定員増員は、令和6年度 のみの臨時定員増である。 また、医学部医学科の令和5 年度における収容定員は708名 である。
要	医学科	6	118 (110)	—	668 (660)	学士（医学）	令和6年4月 第1年次			
	看護学科	4	95	—	380	学士（看護学）	平成30年4月 第1年次			
の	海洋学部								静岡県静岡市清水 区折戸3-20-1	
	海洋理工学科									
概	海洋理工学専攻	4	130	—	520	学士（海洋学）	令和4年4月 第1年次			
	航海学専攻	4	20	—	80	学士（海洋学）	令和4年4月 第1年次			
要	水産学科	4	120	—	480	学士（海洋学）	平成18年4月 第1年次			
	海洋生物学科	4	80	—	320	学士（海洋学）	平成18年4月 第1年次			
の	人文学部								静岡県静岡市清水 区折戸3-20-1	
	人文学科	4	180	—	720	学士（人文学）	令和4年4月 第1年次			
要	文理融合学部								熊本県熊本市東区 渡鹿9-1-1	
	経営学科	4	130	—	520	学士（経営学）	令和4年4月 第1年次			
の	地域社会学科	4	100	—	400	学士（社会学）	令和4年4月 第1年次			
	人間情報工学科	4	70	—	280	学士（工学）	令和4年4月 第1年次			

(人)	入学 定員	収容 定員
令和5年度	118	708
令和6年度	118	708
令和7年度	110	700
令和8年度	110	692
令和9年度	110	684
令和10年度	110	676
令和11年度	110	668
令和12年度	110	660

新設学の概要	農学部								(熊本校舎) 熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1 (臨空校舎) 熊本県上益城郡益城町杉堂871-12
	農学科	4	80	—	320	学士(農学)	令和4年4月第1年次		
	動物科学科	4	80	—	320	学士(農学)	令和4年4月第1年次		
	食生命科学科	4	70	—	280	学士(農学)	令和4年4月第1年次		
	国際文化学部								北海道札幌市南区南沢5条1-1-1
	地域創造学科	4	110	—	440	学士(教養学)	平成20年4月第1年次		
	国際コミュニケーション学科	4	80	—	320	学士(教養学)	平成20年4月第1年次		
	生物学部								北海道札幌市南区南沢5条1-1-1
	生物学科	4	75	—	300	学士(理学)	平成24年4月第1年次		
海洋生物科学科	4	75	—	300	学士(理学)	平成24年4月第1年次			
計		6,863 (6,855)	—	27,688 (27,640)					

同一設置者内における変更状況(定員の移行,名称の変更等)

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数
		講義	演習	実験・実習	計	
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位

教員組織の概要	学部等の名称	専任教員等							兼任教員等
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
		人	人	人	人	人	人	人	
新設	文学部文明学科	3 (3)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	13 (13)	
	文学部歴史学科	8 (8)	5 (5)	0 (0)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	23 (23)	
	文学部日本文学科	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	10 (10)	
	文学部英語文化コミュニケーション学科	7 (7)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	5 (5)	
	文化社会学部アジア学科	4 (4)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	12 (12)	
	文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科	4 (4)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	10 (10)	
	文化社会学部北欧学科	3 (3)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	10 (10)	
	文化社会学部文芸創作学科	4 (4)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	5 (5)	
	文化社会学部広報メディア学科	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	3 (3)	
	文化社会学部心理・社会学科	7 (7)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	13 (13)	
	教養学部人間環境学科	9 (9)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)	
	教養学部芸術学科	6 (6)	6 (6)	1 (1)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	6 (6)	
	児童教育学部児童教育学科	10 (10)	6 (6)	4 (4)	1 (1)	21 (21)	0 (0)	22 (22)	
	体育学部体育学科	10 (10)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	5 (5)	
	体育学部競技スポーツ学科	6 (6)	5 (5)	0 (0)	1 (1)	12 (12)	0 (0)	4 (4)	
	体育学部武道学科	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	7 (7)	
	体育学部生涯スポーツ学科	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	2 (2)	
	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	4 (4)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	2 (2)	
	健康学部健康マネジメント学科	10 (10)	7 (7)	5 (5)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	3 (3)	
	法学部法律学科	11 (11)	5 (5)	4 (4)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	3 (3)	
政治経済学部政治学科	8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	8 (8)		

教 員 組 織 の 概 要	新	政治経済学部経済学科	8 (8)	2 (2)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	14 (14)
		経営学部経営学科	9 (9)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	32 (32)
		国際学部国際学科	7 (7)	6 (6)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	27 (27)
		観光学部観光学科	8 (8)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	7 (7)
		情報通信学部情報通信学科	13 (13)	5 (5)	5 (5)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	39 (39)
		理学部数学科	6 (6)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	5 (5)
		理学部情報数理学科	8 (8)	2 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	3 (3)
		理学部物理学科	9 (9)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	13 (13)	0 (0)	6 (6)
		理学部化学科	8 (8)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	1 (1)
		情報理工学部情報科学科	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	7 (7)
		情報理工学部コンピュータ応用工学科	5 (5)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	5 (5)
		情報理工学部情報メディア学科	7 (7)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	28 (28)
		建築都市学部建築学科	8 (8)	6 (6)	3 (3)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	42 (42)
		建築都市学部土木工学科	5 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	19 (19)
		工学部航空宇宙学科	11 (11)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	8 (8)
		工学部機械工学科	9 (9)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	13 (13)
		工学部機械システム工学科	7 (7)	3 (3)	4 (4)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	24 (24)
		工学部電気電子工学科	7 (7)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	5 (5)
		工学部医工学科	7 (7)	3 (3)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	21 (21)
		工学部生物工学科	6 (6)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	18 (18)
		工学部応用化学科	8 (8)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	13 (13)	0 (0)	4 (4)
		医学部医学科	111 (111)	106 (106)	185 (185)	386 (386)	788 (788)	0 (0)	166 (166)
		医学部看護学科	8 (8)	9 (9)	12 (12)	5 (5)	34 (34)	0 (0)	37 (37)
		海洋学部海洋理工学科	16 (16)	7 (7)	1 (1)	1 (1)	25 (25)	0 (0)	34 (34)
		海洋学部水産学科	7 (7)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	1 (1)
		海洋学部海洋生物学科	7 (7)	7 (7)	0 (0)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	2 (2)
		人文学部人文学科	6 (6)	7 (7)	4 (4)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	8 (8)
		文理融合学部経営学科	7 (7)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	4 (4)
		文理融合学部地域社会学科	7 (7)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	17 (17)	0 (0)	6 (6)
		文理融合学部人間情報工学科	9 (9)	3 (3)	1 (1)	1 (1)	14 (14)	0 (0)	4 (4)
		農学部農学科	5 (5)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	5 (5)
		農学部動物科学科	4 (4)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	3 (3)
		農学部食生命科学科	6 (6)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	4 (4)
	国際文化学部地域創造学科	9 (9)	2 (2)	3 (3)	1 (1)	15 (15)	0 (0)	21 (21)	
	国際文化学部国際コミュニケーション学科	6 (6)	2 (2)	2 (2)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	7 (7)	
	生物学部生物学科	7 (7)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	17 (17)	
	生物学部海洋生物科学科	7 (7)	3 (3)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	5 (5)	
	計	517 (517)	310 (310)	294 (294)	404 (404)	1525 (1525)	0 (0)	— (—)	

教 員 組 織 の 概 要	既 設	文明研究所	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		国際原子力研究所	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		総合科学技術研究所	7 (7)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	0 (0)
		教育開発研究センター	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)
		マイクロ・ナノ研究開発センター	4 (4)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	0 (0)
		情報技術センター	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)
		スポーツ医科学研究所	2 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (3)	0 (0)	0 (0)
		海洋研究所	3 (3)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	4 (4)	0 (0)	0 (0)
		総合農学研究所	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (0)	0 (0)
		スポーツプロモーションセンター	5 (5)	7 (7)	6 (6)	0 (0)	18 (18)	0 (0)	27 (27)
		ステューデントアチーブメントセンター	3 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	7 (7)	0 (0)	12 (12)
		ティーチングクオリフィケーションセンター	6 (6)	7 (7)	2 (2)	1 (1)	16 (16)	0 (0)	62 (62)
		語学教育センター	11 (11)	8 (8)	7 (7)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	141 (141)
		理系教育センター	8 (8)	7 (7)	7 (7)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	15 (15)
		計	59 (59)	40 (40)	27 (27)	3 (3)	130 (130)	0 (0)	—
合 計	576 (576)	350 (350)	321 (321)	407 (407)	1655 (1655)	0 (0)	—		
教 員 以 外 の 職 員 の 概 要	職 種	専 任	兼 任	計					
	事 務 職 員	616 (616)	159 (159)	775 (775)					
	技 術 職 員	30 (30)	43 (43)	73 (73)					
	図 書 館 専 門 職 員	31 (31)	27 (27)	58 (58)					
	そ の 他 の 職 員	7 (7)	0 (0)	7 (7)					
	計	684 (684)	229 (229)	913 (913)					
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	1,846,708.35 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	1,846,708.35 m ²	内借用地：200,145.86m ²			
	運 動 場 用 地	374,971.49 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	374,971.49 m ²	内借用地：49,757.12m ²			
	小 計	2,221,679.84 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	2,221,679.84 m ²				
	そ の 他	14,151.10 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	14,151.10 m ²	内借用地：9,176.50m ²			
合 計	2,235,830.94 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	2,235,830.94 m ²	借用期間：2～30年				
校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	539,221.67 m ² (539,221.67 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	539,221.67 m ² (539,221.67 m ²)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	475 室	303 室	1334 室	81 室 (補助職員 23 人)	4 室 (補助職員 0 人)	大学全体			
専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		大学全体		1,360					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	2,519,589 〔726,815〕 (2,274,851 〔646,019〕)	72,001 〔54,330〕 (29,783 〔11,733〕)	42,475 〔42,354〕 (47,741 〔46,177〕)	63,239 (61,775)	0〔0〕 (0〔0〕)	0〔0〕 (0〔0〕)		
	計	2,519,589 〔726,815〕 (2,274,851 〔646,019〕)	72,001 〔54,330〕 (29,783 〔11,733〕)	42,475 〔42,354〕 (47,741 〔46,177〕)	63,239 (61,775)	0〔0〕 (0〔0〕)	0〔0〕 (0〔0〕)		
図 書 館	面積	閲覧座席数		収納可能冊数					
	16,016.00 m ²	1,867 席		1,528,400 冊		大学全体			
体 育 館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	24,060.79 m ²	トレーニングセンター		25mプール		大学全体			

経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	図書購入費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コスト含む）を含む。	
		教員1人当り研究費等		330千円	330千円	330千円	330千円	330千円	330千円		330千円
		共同研究費等		366,058千円	366,058千円	328,542千円	328,542千円	328,542千円	328,542千円		328,542千円
		図書購入費	632,450千円		632,450千円						
		設備購入費	3,396,000千円		3,396,000千円						

		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
経費の見積もり及び維持方法の概要	学部等						
	文学部	1,416千円	1,216千円	1,216千円	1,216千円	—	—
	文化社会学部	1,416千円	1,216千円	1,216千円	1,216千円	—	—
	教養学部	1,469千円	1,269千円	1,269千円	1,269千円	—	—
	児童教育学部	1,469千円	1,269千円	1,269千円	1,269千円	—	—
	体育学部	1,469千円	1,269千円	1,269千円	1,269千円	—	—
	健康学部	1,469千円	1,269千円	1,269千円	1,269千円	—	—
	法学部	1,416千円	1,216千円	1,216千円	1,216千円	—	—
	政治経済学部	1,427千円	1,227千円	1,227千円	1,227千円	—	—
	経営学部	1,427千円	1,227千円	1,227千円	1,227千円	—	—
	国際学部	1,427千円	1,227千円	1,227千円	1,227千円	—	—
	観光学部	1,427千円	1,227千円	1,227千円	1,227千円	—	—
	情報通信学部	1,554千円	1,354千円	1,354千円	1,354千円	—	—
	理学部	1,554千円	1,354千円	1,354千円	1,354千円	—	—
	情報理工学部	1,554千円	1,354千円	1,354千円	1,354千円	—	—
	建築都市学部	1,554千円	1,354千円	1,354千円	1,354千円	—	—
	工学部 (航空宇宙学科航空操縦学専攻)	1,855千円	1,655千円	1,655千円	1,655千円	—	—
	工学部 (航空宇宙学科航空操縦学専攻以外)	1,554千円	1,354千円	1,354千円	1,354千円	—	—
	医学部医学科	6,400千円	5,720千円	5,720千円	5,720千円	5,720千円	5,720千円
	医学部看護学科	1,579千円	1,379千円	1,379千円	1,379千円	—	—
	海洋学部	1,635千円	1,435千円	1,435千円	1,435千円	—	—
	人文学部	1,416千円	1,216千円	1,216千円	1,216千円	—	—
	文理融合学部	1,150千円	950千円	950千円	950千円	—	—
	農学部	1,545千円	1,345千円	1,345千円	1,345千円	—	—
	国際文化学部	1,307千円	1,107千円	1,107千円	1,107千円	—	—
	生物学部 (生物学科)	1,434千円	1,234千円	1,234千円	1,234千円	—	—
	生物学部 (海洋生物科学科)	1,474千円	1,275千円	1,234千円	1,234千円	—	—
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常経費補助金、手数料等					

既設大学等	大学の名称	東海大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
		年	人	年次人	人		倍			
大	文学部		370	—	1,480		1.00	昭和25年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	文明学科	4	60	—	240	学士(文学)	1.00	平成13年	〃	
	歴史学科		130	—	520		1.01	昭和35年	〃	
	日本史専攻	4	50	—	200	学士(文学)	1.00	昭和58年	〃	
	東洋史専攻	4	—	—	—	学士(文学)	—	昭和58年	〃	平成30年度より学生募集停止
	西洋史専攻	4	50	—	200	学士(文学)	1.00	昭和58年	〃	
	考古学専攻	4	30	—	120	学士(文学)	1.06	昭和58年	〃	
	日本文学科	4	90	—	360	学士(文学)	1.02	平成13年	〃	
	文芸創作学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成13年	〃	平成30年度より学生募集停止
	英語文化コミュニケーション学科	4	90	—	360	学士(文学)	0.96	昭和35年	〃	
大	文化社会学部		450	—	1,800		1.00	平成30年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	アジア学科	4	70	—	280	学士(文化社会学)	1.02	平成30年	〃	
	ヨーロッパ・アメリカ学科	4	70	—	280	学士(文化社会学)	0.96	平成30年	〃	
	北欧学科	4	60	—	240	学士(文化社会学)	1.00	平成30年	〃	
	文芸創作学科	4	60	—	240	学士(文化社会学)	0.99	平成30年	〃	
	広報メディア学科	4	100	—	400	学士(文化社会学)	1.03	平成30年	〃	
	心理・社会学	4	90	—	360	学士(文化社会学)	1.00	平成30年	〃	
学	教養学部		190	—	880		0.99	昭和43年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	人間環境学科	4	120	—	560	学士(教養学)	0.96	昭和43年	〃	令和4年度より定員変更(Δ40)
	芸術学科	4	70	—	320	学士(教養学)	1.03	昭和43年	〃	令和4年度より定員変更(Δ20)
	国際学科	4	—	—	—	学士(教養学)	—	昭和47年	〃	令和4年度より学生募集停止
学	児童教育学部		150	—	300		0.97	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	児童教育学科	4	150	—	300	学士(児童教育学)	0.97	令和4年	〃	
等	体育学部		540	—	2,040		1.00	昭和42年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	体育学科	4	120	—	460	学士(体育学)	1.00	昭和42年	〃	令和4年度より定員変更(10)
	競技スポーツ学科	4	170	—	620	学士(体育学)	1.00	平成16年	〃	令和4年度より定員変更(30)
	武道学科	4	60	—	240	学士(体育学)	0.97	昭和43年	〃	
	生涯スポーツ学科	4	120	—	460	学士(体育学)	0.98	昭和46年	〃	令和4年度より定員変更(10)
	スポーツレジャーマネジメント学科	4	70	—	260	学士(体育学)	1.06	平成16年	〃	令和4年度より定員変更(10)
等	健康学部		200	—	800		0.96	平成30年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	健康マネジメント学科	4	200	—	800	学士(健康マネジメント学)	0.96	平成30年	〃	
の	法学部		300	—	1,200		1.00	昭和61年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	法律学科	4	300	—	1,200	学士(法学)	1.00	昭和61年	〃	
	政治経済学部		400	—	1,440		1.00	昭和41年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
	政治学科	4	200	—	720	学士(政治学)	1.01	昭和41年	〃	令和4年度より定員変更(40)
経済学科	4	200	—	720	学士(経済学)	0.99	昭和41年	〃	令和4年度より定員変更(40)	
経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	昭和49年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	令和4年度より学生募集停止	
の	経営学部		230	—	460		1.06	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
	経営学科	4	230	—	460	学士(経営学)	1.06	令和4年	〃	
の	国際学部		200	—	400		1.01	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
	国際学科	4	200	—	400	学士(国際学)	1.01	令和4年	〃	
の	観光学部		200	—	800		1.04	平成22年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
	観光学科	4	200	—	800	学士(観光学)	1.04	平成22年	〃	
状	情報通信学部		240	—	480		1.13	平成20年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
	情報メディア学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年	東京都港区高輪2-3-23	令和4年度より学生募集停止
	組込みソフトウェア工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年	〃	令和4年度より学生募集停止
	経営システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年	〃	令和4年度より学生募集停止
	通信ネットワーク工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成20年	〃	令和4年度より学生募集停止
	情報通信学科	4	240	—	480	学士(情報通信学)	1.13	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 東京都港区高輪2-3-23	
況	理学部		320	—	1,280		0.98	昭和39年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	数学科	4	80	—	320	学士(理学)	0.97	昭和39年	〃	
	情報数理学科	4	80	—	320	学士(理学)	1.05	昭和49年	〃	
	物理学	4	80	—	320	学士(理学)	0.97	昭和39年	〃	
化学科	4	80	—	320	学士(理学)	0.95	昭和39年	〃		

既	情報理工学部		300	—	1,000		1.06	平成13年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	情報科学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.08	平成13年	〃	
	コンピュータ応用工学科	4	100	—	400	学士(工学)	1.02	平成13年	〃	
	情報メディア学科	4	100	—	200	学士(工学)	1.12	令和4年	〃	
設	建築都市学部		340	—	680		1.12	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	建築学科	4	240	—	480	学士(工学)	1.16	令和4年	〃	
	土木工学科	4	100	—	200	学士(工学)	1.03	令和4年	〃	
大	工学部		820	—	2,640		1.01	昭和25年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	生命化学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成13年	〃	令和4年度より学生募集停止
	光・画像工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成18年	〃	令和4年度より学生募集停止
	原子力工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成18年	〃	令和4年度より学生募集停止
	材料科学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和41年	〃	令和4年度より学生募集停止
	建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和41年	〃	令和4年度より学生募集停止
	土木工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和41年	〃	令和4年度より学生募集停止
	精密工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和46年	〃	令和4年度より学生募集停止
	動力機械工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	昭和46年	〃	令和4年度より学生募集停止
	医用生体工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成22年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	令和4年度より学生募集停止
	航空宇宙学科		140	—	560		0.95	昭和42年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	航空宇宙学専攻	4	90	—	360	学士(工学)	1.05	昭和42年	〃	
	航空操縦学専攻	4	50	—	200	学士(工学)	0.75	昭和42年	〃	
	機械工学科	4	140	—	560	学士(工学)	1.00	昭和46年	〃	
	機械システム工学科	4	140	—	280	学士(工学)	0.96	令和4年	〃	
	電気電子工学科	4	120	—	520	学士(工学)	1.10	平成18年	〃	令和4年度より定員変更(△20)
	医工学科	4	80	—	160	学士(工学)	0.97	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 神奈川県伊勢原市下糟屋143	
生物工学科	4	100	—	200	学士(工学)	1.04	令和4年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
応用化学科	4	100	—	360	学士(工学)	1.01	平成13年	〃	令和4年度より定員変更(20)	
学	医学部		213	—	1,068		1.00	昭和49年	神奈川県伊勢原市下糟屋143	
	医学科	6	118	—	708	学士(医学)	1.00	昭和49年	〃	定員変更延長(8)
	看護学科	4	95	—	360	学士(看護学)	0.99	平成30年	〃	令和4年度より定員変更(10)
等	海洋学部		350	—	1,120		1.00	昭和37年	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
	海洋文明学科	4	—	—	—	学士(海洋学)	—	平成16年	〃	令和4年度より学生募集停止
	環境社会学科	4	—	—	—	学士(海洋学)	—	平成23年	〃	令和4年度より学生募集停止
	海洋地球科学科	4	—	—	—	学士(海洋学)	—	平成23年	〃	令和4年度より学生募集停止
	航海工学科	4	—	—	—	—	—	平成23年	〃	令和4年度より学生募集停止
	航海学専攻	4	—	—	—	学士(海洋学)	—	平成23年	〃	令和4年度より学生募集停止
	海洋機械工学専攻	4	—	—	—	学士(海洋学)	—	平成23年	〃	令和4年度より学生募集停止
	海洋理工学科	4	150	—	300	学士(海洋学)	0.73	令和4年	〃	
	海洋理工学専攻	4	130	—	260	学士(海洋学)	0.67	令和4年	〃	
	航海学専攻	4	20	—	40	学士(海洋学)	1.12	令和4年	〃	
	水産学科	4	120	—	480	学士(海洋学)	1.08	平成18年	〃	
海洋生物学科	4	80	—	340	学士(海洋学)	1.13	平成18年	〃	令和4年度より定員変更(△10)	
の	人文学部		180	—	360		0.93	令和4年	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1	
	人文学科	4	180	—	360	学士(人文学)	0.93	令和4年	〃	
状	経営学部		—	—	—		—	平成25年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	令和4年度より学生募集停止
	経営学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	平成25年	〃	令和4年度より学生募集停止
	観光ビジネス学科	4	—	—	—	学士(経営学)	—	平成25年	〃	令和4年度より学生募集停止
況	基盤工学部		—	—	—		—	平成25年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	令和4年度より学生募集停止
	電気電子情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成25年	〃	令和4年度より学生募集停止
	医療福祉工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成25年	〃	令和4年度より学生募集停止
文	文理融合学部		300	—	600		0.99	令和4年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1	
	経営学科	4	130	—	260	学士(経営学)	1.00	令和4年	〃	
	地域社会学科	4	100	—	200	学士(社会学)	0.87	令和4年	〃	
	人間情報工学科	4	70	—	140	学士(工学)	1.14	令和4年	〃	
農	農学部		230	—	460		0.85	平成20年	熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1 熊本県上益城郡益城町杉堂871-12	
	応用植物科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成20年	〃	令和4年度より学生募集停止
	応用動物科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成20年	〃	令和4年度より学生募集停止
	バイオ工学学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成20年	〃	令和4年度より学生募集停止
	農学科	4	80	—	160	学士(農学)	0.86	令和4年	〃	
	動物科学科	4	80	—	160	学士(農学)	0.96	令和4年	〃	
	食生命科学科	4	70	—	140	学士(農学)	0.72	令和4年	〃	

既	国際文化学部			190	—	760		0.99	平成20年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1		
	地域創造学科	4	110	—	440	学士(教養学)	1.00	平成20年	〃			
	国際コミュニケーション学科	4	80	—	320	学士(教養学)	0.97	平成20年	〃			
	デザイン文化学科	4	—	—	—	学士(教養学)	—	平成24年	〃		令和4年度より学生募集停止	
設	生物学部			150	—	580		0.99	平成24年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1		
	生物学科	4	75	—	290	学士(理学)	0.98	平成24年	〃		令和4年度より定員変更(5)	
	海洋生物科学科	4	75	—	290	学士(理学)	1.01	平成24年	〃		令和4年度より定員変更(5)	
	《大学院》											
大	総合理工学研究科								平成17年	神奈川県平塚市北金目4-1-1 等		
	総合理工学専攻	3	35	—	105	博士(理学)・博士(工学)	0.48	平成17年	〃			
	生物科学専攻	3	10	—	30	博士(理学)・博士(農学) 博士(水産学)	0.16	平成17年	〃			
学	文学研究科								昭和44年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
	文明研究専攻	2	8	—	16	修士(文学)	0.12	昭和49年	〃			
	文明研究専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.25	昭和51年	〃			
	史学専攻	2	8	—	16	修士(文学)	0.56	昭和44年	〃			
	史学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.08	昭和46年	〃			
	日本文学専攻	2	8	—	16	修士(文学)	1.12	昭和49年	〃			
	日本文学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.41	昭和51年	〃			
	英文学専攻	2	4	—	8	修士(文学)	0.12	昭和44年	〃			
	英文学専攻	3	2	—	6	博士(文学)	0.00	昭和46年	〃			
	コミュニケーション学専攻	2	8	—	16	修士(文学)	0.68	昭和49年	〃			
	コミュニケーション学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.08	昭和51年	〃			
	観光学専攻	2	8	—	16	修士(観光学)	0.81	平成26年	〃			
	政治学研究科									昭和46年	神奈川県平塚市北金目4-1-1	
	政治学専攻	2	10	—	20	修士(政治学)	0.35	昭和46年	〃			
政治学専攻	3	5	—	15	博士(政治学)	0.06	昭和48年	〃				
経済学研究科									昭和54年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
応用経済学専攻	2	10	—	20	修士(経済学)	0.30	昭和54年	〃				
応用経済学専攻	3	5	—	15	博士(経済学)	0.13	昭和56年	〃				
法学研究科									平成2年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
法律学専攻	2	10	—	20	修士(法学)	0.00	平成16年	〃				
法律学専攻	3	5	—	15	博士(法学)	0.00	平成5年	〃				
人間環境学研究科									平成19年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
人間環境学専攻	2	10	—	20	修士(学術)	0.85	平成19年	〃				
芸術学研究科									昭和48年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
音響芸術専攻	2	4	—	8	修士(芸術学)	0.25	昭和48年	〃				
造型芸術専攻	2	4	—	8	修士(芸術学)	0.37	昭和48年	〃				
体育学研究科									昭和51年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
体育学専攻	2	20	—	40	修士(体育学)	0.95	昭和51年	〃		令和3年度より定員変更(5)		
体育学専攻	3	3	—	9	博士(体育学)	1.11	令和3年	〃				
健康学研究科									令和5年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
健康マネジメント学専攻	2	6	—	12	修士(健康マネジメント学)	1.33	令和5年	〃				
理学研究科									昭和43年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
数理科学専攻	2	8	—	16	修士(理学)	0.62	昭和43年	〃				
物理学専攻	2	12	—	24	修士(理学)	1.41	昭和43年	〃				
化学専攻	2	12	—	24	修士(理学)	1.20	昭和43年	〃				
工学研究科									昭和38年	神奈川県平塚市北金目4-1-1		
電気電子工学専攻	2	50	—	100	修士(工学)	1.30	平成28年	〃				
応用理化学専攻	2	45	—	90	修士(工学)	1.08	平成28年	〃				
建築土木工学専攻	2	25	—	50	修士(工学)	1.38	平成28年	〃				
機械工学専攻	2	75	—	150	修士(工学)	1.23	平成28年	〃				
医用生体工学専攻	2	8	—	16	修士(工学)	0.81	平成26年	〃		神奈川県伊勢原市下糟屋143		
情報通信学研究科									平成24年	東京都港区高輪2-3-23		
情報通信学専攻	2	30	—	60	修士(情報通信学)	0.98	平成24年	〃				
海洋学研究科									昭和42年	静岡県静岡市清水区折戸3-20-1		
海洋学専攻	2	20	—	40	修士(海洋学)	1.07	平成27年	〃				
医学研究科									昭和55年	神奈川県伊勢原市下糟屋143		
医科学専攻	2	10	—	20	修士(医科学)	0.65	平成7年	〃				
看護学専攻	2	8	—	8	修士(看護学)	1.00	令和5年	〃				
先端医学専攻	4	35	—	140	博士(医学)	0.50	平成17年	〃				

既設大学等の状況	健康科学研究科							平成11年	神奈川県伊勢原市下糟屋143	令和5年度より学生募集停止
	看護学専攻	修士課程	2	—	—	—	—	平成11年	〃	令和5年度より学生募集停止
	農学研究科							平成20年	熊本県上益城郡益城町杉堂871-12	
	農学専攻	修士課程	2	12	—	24	修士(農学)	平成20年	〃	
	生物学研究科							令和2年	北海道札幌市南区南沢5条1-1-1	
	生物学専攻	修士課程	2	8	—	16	修士(理学)	令和2年	〃	

<p>附属施設の概要</p>	<p>名称：東海大学医学部付属病院 目的：医療機関 所在地：神奈川県伊勢原市下糟屋143 設置年月：昭和50年2月 規模等：土地 101,409.66㎡、建物 84,742.15㎡</p> <p>名称：東海大学医学部付属東京病院 目的：医療機関 所在地：東京都渋谷区代々木1-2-5 設置年月：昭和58年12月 規模等：土地 2,498.45㎡、建物 7,550.91㎡</p> <p>名称：東海大学医学部付属八王子病院 目的：医療機関 所在地：東京都八王子市石川町1838 設置年月：平成14年3月 規模等：土地 47,708.39㎡、建物 44,303.19㎡</p>	
----------------	--	--

学校法人東海大学 設置認可等に関する組織の移行表

令和5年度

令和6年度

東海大学

学 部	学科・専攻・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	
文学部	文文学科	60	—	240		
	歴史学科	日本史専攻	50	—	200	
		西洋史専攻	50	—	200	
		考古学専攻	30	—	120	
	日本文学科	90	—	360		
英語文化コミュニケーション学科	90	—	360			
文化社会学部	アジア学科	70	—	280		
	ヨーロッパ・アメリカ学科	70	—	280		
	北欧学科	60	—	240		
	文芸創作学科	60	—	240		
	広報メディア学科	100	—	400		
	心理・社会学科	90	—	360		
教養学部	人間環境学科	120	—	480		
	芸術学科	70	—	280		
児童教育学部	児童教育学科	150	—	600		
体育学部	体育学科	120	—	480		
	競技スポーツ学科	170	—	680		
	武道学科	60	—	240		
	生涯スポーツ学科	120	—	480		
	スポーツレジャーマネジメント学科	70	—	280		
健康学部	健康マネジメント学科	200	—	800		
法学部	法律学科	300	—	1200		
政治経済学部	政治学科	200	—	800		
	経済学科	200	—	800		
経営学部	経営学科	230	—	920		
国際学部	国際学科	200	—	800		
観光学部	観光学科	200	—	800		
情報通信学部	情報通信学科	240	—	960		
理学部	数学科	80	—	320		
	情報数理学科	80	—	320		
	物理学科	80	—	320		
	化学科	80	—	320		
情報理工学部	情報科学科	100	—	400		
	コンピュータ応用工学科	100	—	400		
	情報メディア学科	100	—	400		
建築都市学部	建築学科	240	—	960		
	土木工学科	100	—	400		
工学部	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	—	360	
		航空操縦学専攻	50	—	200	
	機械工学科	140	—	560		
	機械システム工学科	140	—	560		
	電気電子工学科	120	—	480		
	医工学科	80	—	320		
	生物工学科	100	—	400		
	応用化学科	100	—	400		
医学部	医学科	118	—	708	臨時定員増(8)は令和5年度まで	
	看護学科	95	—	380		
海洋学部	海洋理工学科	海洋理工学専攻	130	—	520	
		航海学専攻	20	—	80	
	水産学科	120	—	480		
	海洋生物学科	80	—	320		
人文学部	人文学科	180	—	720		
文理融合学部	経営学科	130	—	520		
	地域社会学科	100	—	400		
	人間情報工学科	70	—	280		
農学部	農学科	80	—	320		
	動物科学科	80	—	320		
	食生命科学科	70	—	280		
国際文化学部	地域創造学科	110	—	440		
	国際コミュニケーション学科	80	—	320		
生物学部	生物学科	75	—	300		
	海洋生物科学科	75	—	300		
計		6863	—	27688		

東海大学

学 部	学科・専攻・課程	入学定員	編入学定員	収容定員	備考	変更の事由
文学部	文文学科	60	—	240		
	歴史学科	日本史専攻	50	—	200	
		西洋史専攻	50	—	200	
		考古学専攻	30	—	120	
	日本文学科	90	—	360		
英語文化コミュニケーション学科	90	—	360			
文化社会学部	アジア学科	70	—	280		
	ヨーロッパ・アメリカ学科	70	—	280		
	北欧学科	60	—	240		
	文芸創作学科	60	—	240		
	広報メディア学科	100	—	400		
	心理・社会学科	90	—	360		
教養学部	人間環境学科	120	—	480		
	芸術学科	70	—	280		
児童教育学部	児童教育学科	150	—	600		
体育学部	体育学科	120	—	480		
	競技スポーツ学科	170	—	680		
	武道学科	60	—	240		
	生涯スポーツ学科	120	—	480		
	スポーツレジャーマネジメント学科	70	—	280		
健康学部	健康マネジメント学科	200	—	800		
法学部	法律学科	300	—	1200		
政治経済学部	政治学科	200	—	800		
	経済学科	200	—	800		
経営学部	経営学科	230	—	920		
国際学部	国際学科	200	—	800		
観光学部	観光学科	200	—	800		
情報通信学部	情報通信学科	240	—	960		
理学部	数学科	80	—	320		
	情報数理学科	80	—	320		
	物理学科	80	—	320		
	化学科	80	—	320		
情報理工学部	情報科学科	100	—	400		
	コンピュータ応用工学科	100	—	400		
	情報メディア学科	100	—	400		
建築都市学部	建築学科	240	—	960		
	土木工学科	100	—	400		
工学部	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	—	360	
		航空操縦学専攻	50	—	200	
	機械工学科	140	—	560		
	機械システム工学科	140	—	560		
	電気電子工学科	120	—	480		
	医工学科	80	—	320		
	生物工学科	100	—	400		
	応用化学科	100	—	400		
医学部	医学科	118	—	708	臨時定員増(8)は令和6年度まで	定員変更(8)
	看護学科	95	—	380		
海洋学部	海洋理工学科	海洋理工学専攻	130	—	520	
		航海学専攻	20	—	80	
	水産学科	120	—	480		
	海洋生物学科	80	—	320		
人文学部	人文学科	180	—	720		
文理融合学部	経営学科	130	—	520		
	地域社会学科	100	—	400		
	人間情報工学科	70	—	280		
農学部	農学科	80	—	320		
	動物科学科	80	—	320		
	食生命科学科	70	—	280		
国際文化学部	地域創造学科	110	—	440		
	国際コミュニケーション学科	80	—	320		
生物学部	生物学科	75	—	300		
	海洋生物科学科	75	—	300		
計		6863	—	27688		

令和5年度

東海大学大学院

研究科	専攻		入学定員	編入学定員	収容定員	備考
総合理工学研究科	総合理工学専攻	(D)	35	—	105	
生物科学研究科	生物科学専攻	(D)	10	—	30	
文学研究科	文明研究専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	史学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	日本文学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
	英文学専攻	(M)	4	—	8	
		(D)	2	—	6	
	コミュニケーション学専攻	(M)	8	—	16	
		(D)	4	—	12	
観光学専攻	(M)	8	—	16		
	(D)	4	—	12		
政治学研究科	政治学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
経済学研究科	応用経済学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
法学研究科	法学専攻	(M)	10	—	20	
		(D)	5	—	15	
人間環境学研究科	人間環境学専攻	(M)	10	—	20	
芸術学研究科	音響芸術専攻	(M)	4	—	8	
	造形芸術専攻	(M)	4	—	8	
体育学研究科	体育学専攻	(M)	20	—	40	
		(D)	3	—	9	
健康学研究科	健康マネジメント学専攻	(M)	6	—	12	
理学研究科	数理学専攻	(M)	8	—	16	
	物理学専攻	(M)	12	—	24	
	化学専攻	(M)	12	—	24	
工学研究科	電気電子工学専攻	(M)	50	—	100	
	応用理化学専攻	(M)	45	—	90	
	建築土木工学専攻	(M)	25	—	50	
	機械工学専攻	(M)	75	—	150	
	医用生体工学専攻	(M)	8	—	16	
情報通信学研究科	情報通信学専攻	(M)	30	—	60	
海洋学研究科	海洋学専攻	(M)	20	—	40	
医学研究科	医科学専攻	(M)	10	—	20	
	先端医科学専攻(4年制D)	(D)	35	—	140	
	看護学専攻	(M)	8	—	16	
農学研究科	農学専攻	(M)	12	—	24	
生物科学研究科	生物学専攻	(M)	8	—	16	
計			557	—	1265	

令和6年度

東海大学大学院

研究科	専攻		入学定員	編入学定員	収容定員	備考	変更の事由
総合理工学研究科	総合理工学専攻	(D)	35	—	105		
生物科学研究科	生物科学専攻	(D)	10	—	30		
文学研究科	文明研究専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	史学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	日本文学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
	英文学専攻	(M)	4	—	8		
		(D)	2	—	6		
	コミュニケーション学専攻	(M)	8	—	16		
		(D)	4	—	12		
観光学専攻	(M)	8	—	16			
	(D)	4	—	12			
政治学研究科	政治学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
経済学研究科	応用経済学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
法学研究科	法学専攻	(M)	10	—	20		
		(D)	5	—	15		
人間環境学研究科	人間環境学専攻	(M)	10	—	20		
芸術学研究科	音響芸術専攻	(M)	4	—	8		
	造形芸術専攻	(M)	4	—	8		
体育学研究科	体育学専攻	(M)	20	—	40		
		(D)	3	—	9		
健康学研究科	健康マネジメント学専攻	(M)	6	—	12		
理学研究科	数理学専攻	(M)	8	—	16		
	物理学専攻	(M)	12	—	24		
	化学専攻	(M)	12	—	24		
工学研究科	電気電子工学専攻	(M)	50	—	100		
	応用理化学専攻	(M)	45	—	90		
	建築土木工学専攻	(M)	25	—	50		
	機械工学専攻	(M)	75	—	150		
	医用生体工学専攻	(M)	8	—	16		
情報通信学研究科	情報通信学専攻	(M)	30	—	60		
海洋学研究科	海洋学専攻	(M)	20	—	40		
医学研究科	医科学専攻	(M)	10	—	20		
	先端医科学専攻(4年制D)	(D)	35	—	140		
	看護学専攻	(M)	8	—	16		
農学研究科	農学専攻	(M)	12	—	24		
生物科学研究科	生物学専攻	(M)	8	—	16		
計			557	—	1265		

(位置関係図)

東海大学 湘南校舎
神奈川県平塚市



東海大学 伊勢原校舎
(位置関係図)



東海大学 学校校舎関係図

位置：神奈川県平塚市北金目四丁目1番1号

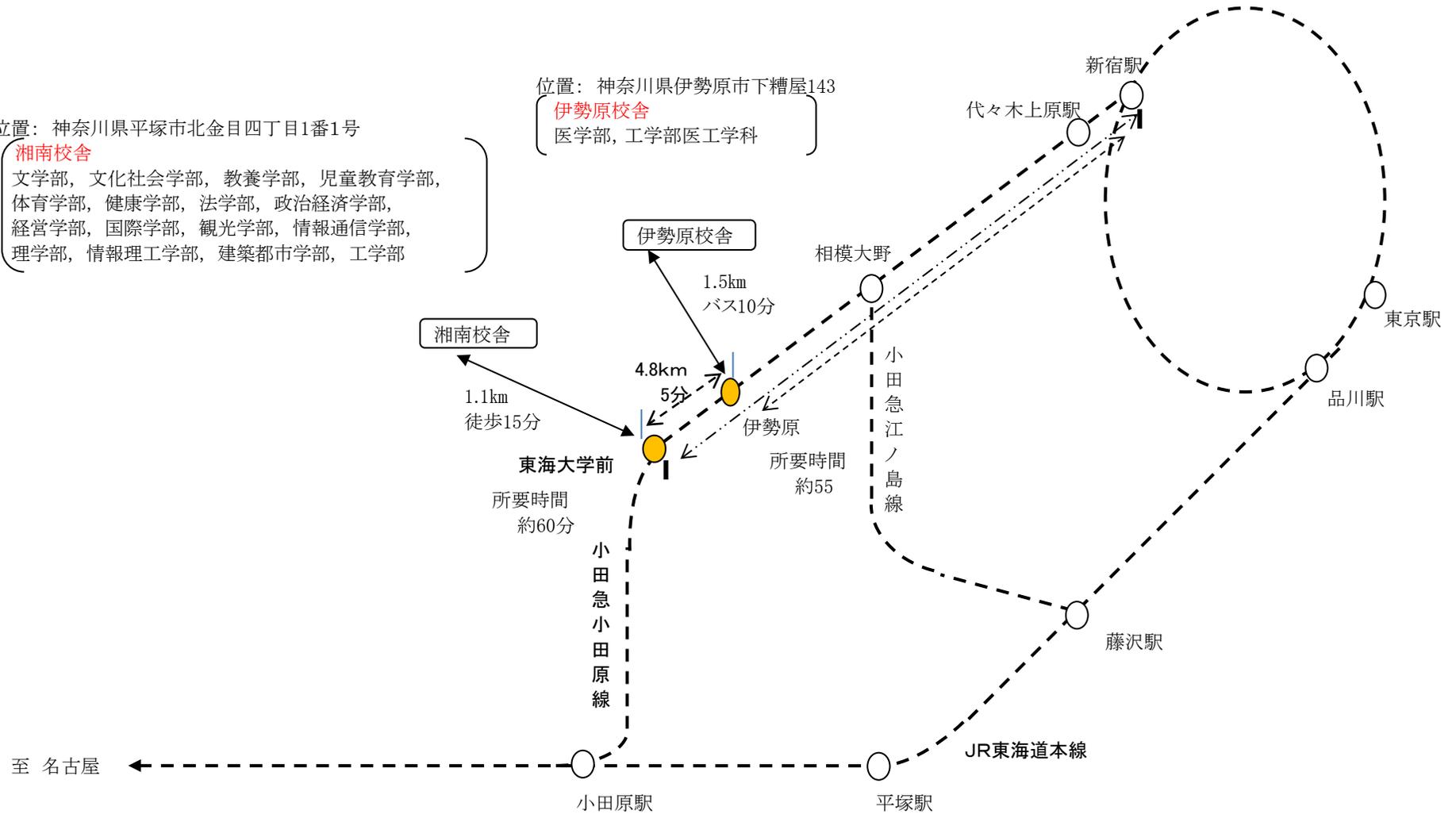
湘南校舎

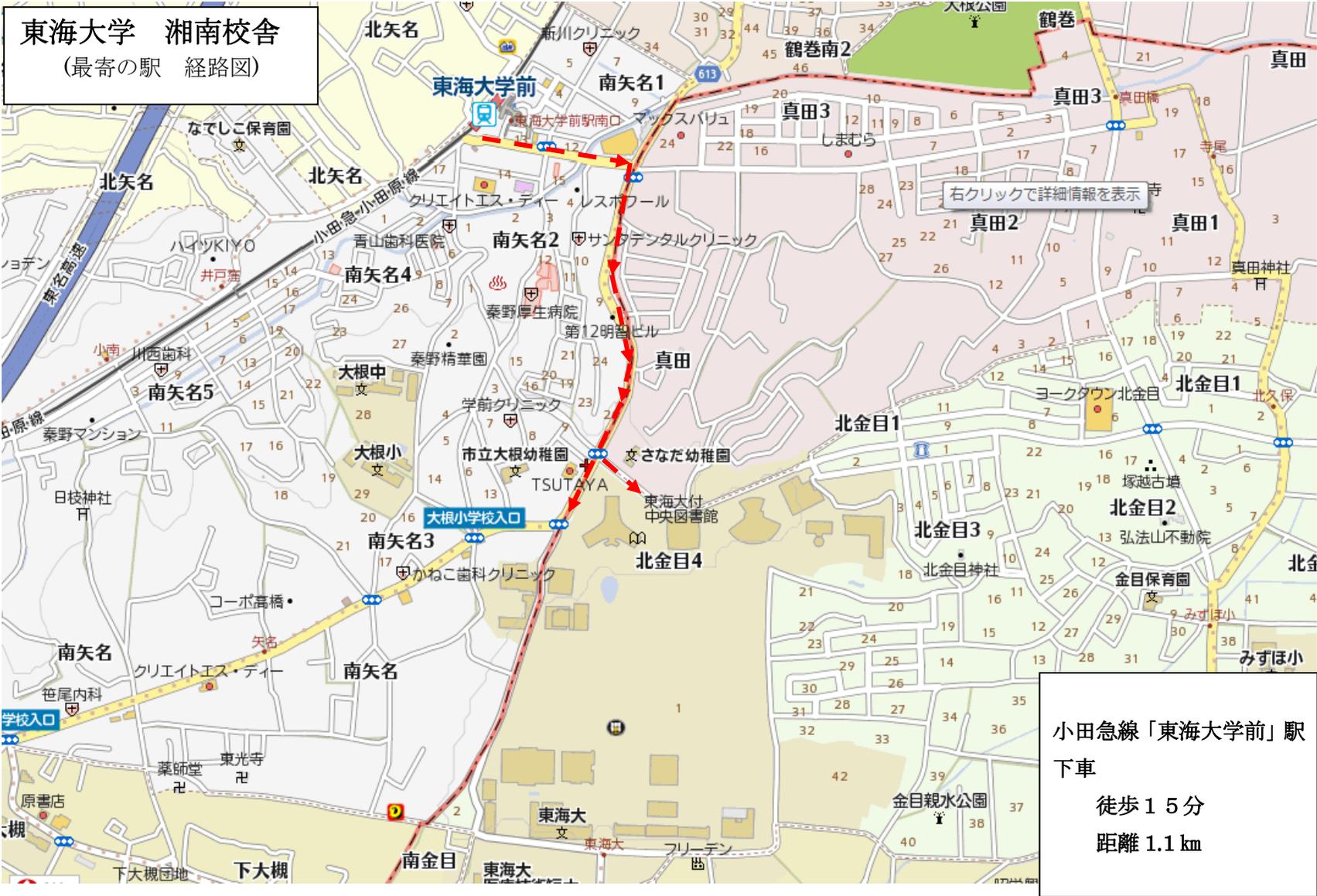
文学部，文化社会学部，教養学部，児童教育学部，
体育学部，健康学部，法学部，政治経済学部，
経営学部，国際学部，観光学部，情報通信学部，
理学部，情報理工学部，建築都市学部，工学部

位置：神奈川県伊勢原市下糟屋143

伊勢原校舎

医学部，工学部医工学科





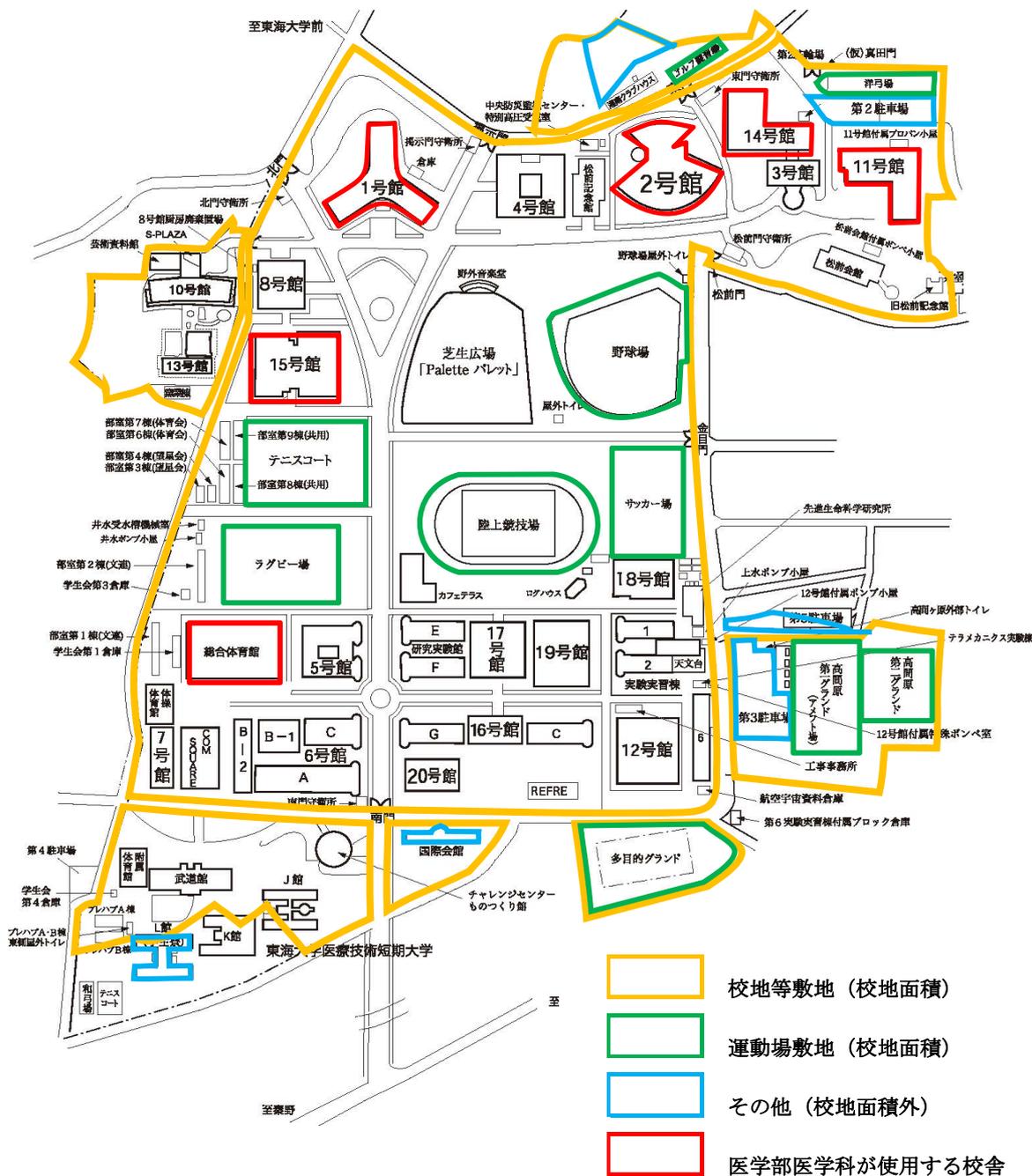
東海大学 伊勢原校舎
(最寄の駅 経路図)



小田急線「伊勢原駅」より
- - -> 「東海大学病院」行き
または - - -> 「愛甲石田駅」
行きバス乗車 (約10分) 「東
海大学病院」下車。

小田急線「伊勢原駅」より
- - -> 徒歩20分。
距離 1.5 km

湘南校舎配置図



湘南校舎 校地・校舎面積

区分	専用	共用	共有する他の学校の専用	計	
	校舎敷地	390,297.04 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	
運動場用地	175,753.18 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	175,753.18 m ²	
小計	566,050.22 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	566,050.22 m ²	
その他	3,371.14 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	3,371.14 m ²	
合計	569,421.36 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	569,421.36 m ²	
校舎	専用	共用	共有する他の学校の専用	計	
	256,301.78 m ² (256,301.78 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	256,301.78 m ² (256,301.78 m ²)	

伊勢原校舎配置図



伊勢原校舎 校地・校舎面積

区分	専用	共用	共有する他の学校の専用	計
	校舎敷地	111,882.91 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²
運動場用地	4,407.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	4,407.00 m ²
小計	116,289.91 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	116,289.91 m ²
その他	0.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²
合計	116,289.91 m ²	0.00 m ²	0.00 m ²	116,289.91 m ²
校舎	専用	共用	共有する他の学校の専用	計
	83,925.96 m ² (83,925.96 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	0.00 m ² (0.00 m ²)	83,925.96 m ² (83,925.96 m ²)

○東海大学学則

(制定 昭和21年4月1日)

改訂	昭和25年2月20日	昭和35年4月1日
	昭和36年4月1日	昭和37年4月1日
	昭和38年4月1日	昭和39年4月1日
	昭和40年4月1日	昭和41年4月1日
	昭和42年4月1日	昭和43年4月1日
	昭和44年4月1日	昭和45年4月1日
	昭和46年4月11日	昭和47年4月1日
	昭和48年4月1日	昭和49年4月1日
	昭和50年4月1日	昭和51年4月1日
	昭和52年4月1日	昭和53年4月1日
	昭和55年4月1日	昭和56年4月1日
	昭和57年4月1日	昭和58年4月1日
	昭和59年4月1日	昭和60年4月1日
	昭和61年4月1日	昭和62年4月1日
	昭和63年4月1日	平成元年4月1日
	平成2年4月1日	平成3年4月1日
	平成3年9月1日	平成4年4月1日
	平成5年4月1日	平成6年4月1日
	平成7年4月1日	平成8年4月1日
	平成9年4月1日	平成10年4月1日
	平成11年4月1日	平成12年4月1日
	平成13年4月1日	平成14年4月1日
	平成15年4月1日	平成16年4月1日
	平成17年4月1日	平成18年4月1日
	平成19年4月1日	平成20年4月1日
	平成20年9月1日	平成21年4月1日
	平成22年4月1日	平成23年4月1日
	平成23年10月1日	平成24年4月1日
	平成24年10月1日	平成25年4月1日
	平成26年4月1日	平成27年4月1日
	平成28年4月1日	平成29年4月1日
	平成30年4月1日	平成31年4月1日
	令和2年4月1日	令和3年4月1日
	令和4年4月1日	令和5年4月1日
	令和6年4月1日	

第1章 総則

第1条 本学は、人道に根ざした深い教養をもつ有能な人物を養成すると同時に、高度の学問技術を研究教授することにより、人類社会の福祉に貢献することをもって目的とする。

第1条の2 本学は、学部又は学科ごとに、人材の養成に関する目的その他教育研究上の目的を別表1に定め、公表する。

第2条 本学は、第1条、第1条の2の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

2 前項の点検及び評価を行うに当たっては、適切な項目及び体制を別に定める。

第2章 学部、学科等

第3条 本学に次の学部及び学科を置く。

学部	学科・専攻
文学部	文明学科，歴史学科（日本史専攻，西洋史専攻，考古学専攻），日本文学科，英語文化コミュニケーション学科
文化社会学部	アジア学科，ヨーロッパ・アメリカ学科，北欧学科，文芸創作学科，広報メディア学科，心理・社会学科
教養学部	人間環境学科，芸術学科
児童教育学部	児童教育学科
体育学部	体育学科，競技スポーツ学科，武道学科，生涯スポーツ学科，スポーツ・レジャーマネジメント学科
健康学部	健康マネジメント学科
法学部	法律学科
政治経済学部	政治学科，経済学科
経営学部	経営学科
国際学部	国際学科
観光学部	観光学科
情報通信学部	情報通信学科
理学部	数学科，情報数理学科，物理学科，化学科
情報理工学部	情報科学科，コンピュータ応用工学科，情報メディア学科
建築都市学部	建築学科，土木工学科
工学部	航空宇宙学科（航空宇宙学専攻，航空操縦学専攻），機械工学科，機械システム工学科，電気電子工学科，医工学科，生物工学科，応用化学科
医学部	医学科，看護学科
海洋学部	海洋理工学科（海洋理工学専攻，航海学専攻），水産学科，海洋生物学科
人文学部	人文学科
文理融合学部	経営学科，地域社会学科，人間情報工学科
農学部	農学科，動物科学科，食生命科学科
国際文化学部	地域創造学科，国際コミュニケーション学科
生物学部	生物学科，海洋生物科学科

2 本学学部の授業を行う校舎は、次のとおりとする。

学部	校舎
文学部	湘 南
文化社会学部	
教養学部	
児童教育学部	
体育学部	

健康学部	
法学部	
政治経済学部	
経営学部	
国際学部	湘 南, 高 輪
観光学部	
情報通信学部	
理学部	
情報理工学部	湘 南
建築都市学部	
工学部	湘 南 (医工学科以外)
	湘 南, 伊勢原 (医工学科)
医学部	湘 南, 伊勢原
海洋学部	清 水
人文学部	
文理融合学部	熊 本
農学部	熊 本, 臨 空
国際文化学部	札 幌
生物学部	

3 本学に別科として、日本語研修課程、声楽専修、器楽専修、彫刻専修、工芸専修、絵画専修を置き、この修業年限は日本語研修課程は1年、声楽専修、器楽専修、彫刻専修、工芸専修、絵画専修はそれぞれ3年とし、入学資格は大学に準ずる。

第4条 本学に大学院を置く。大学院学則は別に定める。

第4条の2 削除

第3章 年度、学期、休業日等

第5条 本学学部の修業年限は、4年とする。ただし、医学部医学科は6年とする。

第6条 年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

2 前項において規定する年度の途中においても、学期の区分に従い、学生を入学させ及び卒業させることができる。

第7条 1年度を2学期に分け、原則として、春学期は4月1日より9月30日まで、秋学期は10月1日より翌年3月31日までとする。ただし、学長は授業の開始終了について、変更することができる。

第8条 1年間の授業期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第9条 各授業科目の授業は、15週又は30週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

第10条 学生の休業日は、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日のほか、大学が定める期間とする。

春期休暇 2月15日より3月31日まで

夏期休暇 8月1日より9月20日まで

建学記念日 11月1日

冬期休暇 12月26日より翌年1月6日まで

2 前項における休業日について、学長は臨時に変更及び臨時の休業日を定めることがで

きる。

第4章 定員

第11条 学生の入学定員及び収容定員は、別表2のとおりとする。

第5章 授業科目

第12条 授業科目の区分は、現代文明論、現代教養科目、英語科目、主専攻科目、自己学修科目及び卒業単位に含まれない科目とする。

2 自己学修科目とは、全学共通科目、他学部・他学科科目、副専攻科目、及び現代教養科目、主専攻科目の余剰科目を総称する。

3 卒業単位に含まれない科目とは、教職に関する科目（教育職員免許に関する科目）、社会教育に関する科目（社会教育主事資格に関する科目）、学芸員に関する科目（博物館学芸員資格に関する科目）、司書に関する科目（図書館司書資格に関する科目）及び司書教諭に関する科目等、資格に関する科目を総称する。

第13条 現代文明論、現代教養科目、英語科目、主専攻科目及び自己学修科目については、東海大学学修に関する規則（以下「学修に関する規則」という。）に定める。

第14条 卒業単位に含まれない科目については、学修に関する規則に定める。

2 海技に関する科目については、乗船実習課程生の科目として取り扱うものとする。

第15条 外国人留学生（大学において教育を受ける目的をもって入国し、大学に入学した外国人留学生をいう。）は、学修に関する規則に定める日本語に関する科目によって現代教養科目の一部に代えることができる。

第6章 履修方法及び単位算定基準

第16条 削除

第17条 必修科目、選択必修科目、選択科目の分類及び授業科目の履修時期等履修科目の選定に関する規則等は、学修に関する規則等にこれを定め、学生は、この規定に従って履修することを原則とする。

第18条 履修登録は、大学の指定した期間に行わなければならない。

第18条の2 本学は、学生が各学期にわたって適切に授業科目を履修するため、原則として卒業要件単位数について、学生が1学期に履修登録することができる単位数の上限を定める。履修登録をすることができる単位数等の詳細については、学修に関する規則にこれを定める。

第19条 削除

第20条 試験は、定期試験、臨時試験、追試験に分け、詳細は、学修に関する規則にこれを定める。

第21条 通常の授業については、45時間の学修を必要とする内容を以て1単位の授業とすることを標準とし、原則として次の基準によって単位計算するものとする。ただし、医学部医学科の専門教育科目については、単位制を適用しない。

(1) 講義・演習科目は、15時間の授業を以て1単位とする。ただし、医学部看護学科の演習科目は、30時間の授業を以て1単位とする。

(2) 外国語科目は、30時間の授業を以て1単位とする。

(3) 実験、実習、実技科目は、30時間の授業を以て1単位とする。ただし、医学部看護学科専門教育科目の実験、実習、実技科目は、45時間の授業を以て1単位とする。

(4) 個人指導による実技科目は、内容に応じて定める時間を以て1単位とする。

2 卒業論文、卒業研究、卒業制作等の科目は、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定める。

第21条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 前項による授業は、前条に従い単位を与えることができる。ただし、卒業要件として認める単位数は60単位を限度とする。

第7章 学修の評価及び卒業の認定

第22条 履修した授業科目の単位の認定及び成績の評価は、試験及びそれに準ずるものによって定める。

2 履修した授業科目の成績評価は、合、S、A、B、C、D、Eとし、合、S、A、B、Cを合格、D、Eを不合格とし、合格した者にはその授業科目所定の単位を与える。

3 第23条の2及び第23条の3の規定による授業科目の認定に関する表記は、原則として「認」とする。

第23条 本学学部を卒業しようとする者は、第5条に定められた年限以上在学し、学修に関する規則に定めるとおり、単位を修得しなければならない。

2 本学学部で3年以上在学した者が、前項に定める単位を優秀な成績で修得したと認める場合には、前項の規定にかかわらず、卒業を認めることができる。

第23条の2 本学が教育上有益と認めるときは、原則として学修に関する規則に定める他の大学又は短期大学並びに、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、60単位を超えない範囲で教授会の議を経て認定することができる。

第23条の3 本学が教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において修得した単位、並びに短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修、高等学校の専攻科の課程における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、入学後の本学における授業科目の履修とみなし、60単位を超えない範囲で教授会の議を経て認定することができる。

2 前項における単位認定の制限は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、前条及び前項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

3 第1項における、その他文部科学大臣が別に定める学修の認定については、別に定める。

第24条 教育職員免許状授与の所要資格を得ようとする者は、前条に定める卒業の所要単位のほか、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)に定める単位を修得しなければならない。

2 本学において授与の所要資格を得ることができる教育職員免許状の種類及び免許教科の種類は、次のとおりとする。

学部	学科・専攻	免許状の種類	免許教科の種類
----	-------	--------	---------

文学部	文明学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
	歴史学科	日本史専攻 西洋史専攻 考古学専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史
	日本文学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国語
	英語文化コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	外国語 (英語)
文化社会学部	アジア学科 ヨーロッパ・アメリカ学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 地理歴史
	広報メディア学科 心理・社会学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社会 公民
児童教育学部	児童教育学科		幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状	
体育学部	体育学科 競技スポーツ学科 武道学科 生涯スポーツ学科 スポーツ・レジャーマネジメント学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育
理学部	数学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学
	情報数理学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学 情報
	物理学科 化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
情報理工学部	情報科学科		高等学校教諭一種免許状	情報
	コンピュータ応用工学科		高等学校教諭一種免許状	工業
工学部	生物工学科 応用化学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
医学部	看護学科		養護教諭一種免許状	
海洋学部	海洋理工学科	海洋理工学専攻	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
	水産学科 海洋生物学科			
文理融合学部	人間情報工学科		高等学校教諭一種免許状	工業
農学部	農学科 動物科学科		高等学校教諭一種免許状	農業
	食生命科学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
国際文化学部	地域創造学科		高等学校教諭一種免許状	公民
			中学校教諭一種免許 高等学校教諭一種免許状	保健体育
	国際コミュニケーション学科		中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	外国語 (英語)

生物学部	生物学科 海洋生物科学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
------	-----------------	---------------------------	----

- 3 社会教育主事の資格を得ようとする者は、前条に定める卒業の所要単位のほか、所定の社会教育に関する科目の単位を修得しなければならない。
- 4 学芸員の資格を得ようとする者は、前条に定める卒業の所要単位のほか、所定の学芸員に関する科目の単位を修得しなければならない。
- 5 司書の資格を得ようとする者は、前条に定める卒業の所要単位のほか、所定の司書に関する科目の単位を修得しなければならない。
- 6 司書教諭の資格を得ようとする者は、前条に定める卒業の所要単位のほか、所定の司書教諭に関する科目の単位を修得しなければならない。
- 7 海技士（三級）の資格を得ようとする者は、前条に定める卒業の単位のほか、卒業後引き続き所定の海技に関する科目を修得しなければならない。
- 第24条の2 航空操縦士資格取得にあたっては、定められた学修要件において、学修内容等が不十分、又は適性において、上級の履修に支障があると認められた者に対しては、資格取得を中止させることがある。

第8章 学位の授与

第25条 学位は、その卒業した学部・学科に応じて、次のとおり授与する。

学部	学科	学位
文学部	全学科	学士（文学）
文化社会学部	全学科	学士（文化社会学）
教養学部	全学科	学士（教養学）
児童教育学部	児童教育学科	学士（児童教育学）
体育学部	全学科	学士（体育学）
健康学部	健康マネジメント学科	学士（健康マネジメント学）
法学部	法律学科	学士（法学）
政治経済学部	政治学科	学士（政治学）
	経済学科	学士（経済学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
国際学部	国際学科	学士（国際学）
観光学部	観光学科	学士（観光学）
情報通信学部	情報通信学科	学士（情報通信学）
理学部	全学科	学士（理学）
情報理工学部	全学科	学士（工学）
建築都市学部	全学科	学士（工学）
工学部	全学科	学士（工学）
医学部	医学科	学士（医学）
	看護学科	学士（看護学）
海洋学部	全学科	学士（海洋学）
人文学部	人文学科	学士（人文学）
文理融合学部	経営学科	学士（経営学）
	地域社会学科	学士（社会学）
	人間情報工学科	学士（工学）
農学部	全学科	学士（農学）
国際文化学部	全学科	学士（教養学）

生物学部	全学科	学士（理学）
------	-----	--------

第9章 入学、退学、休学、再入学、復学、留学、留年、転学

第26条 本学に入学することのできる者は、学校教育法第90条の規定により、次の各号の一に該当する者とし、選抜試験を経て入学を許可する。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（平成3年文部省告示第114号）の当該課程を修了した者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定に合格した者を含む）
 - カ その他相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

第27条 大学を卒業若しくは中途退学した者（2年次以上の修了者）短期大学若しくは高等専門学校を卒業した者、又は専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するものに限る。）、高等学校の専攻科の課程のうち、修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有するものに限る。）であって、本学に編入学を志願する者は、学修に関する規則に従い、編入学を許可することがある。この場合本学における修業年限は、第5条にかかわらず、これを短縮することがある。

第27条の2 第48条の規定により科目等履修生として単位を修得した後に本学に入学した者で、本学が、教育課程の一部であり教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学長の承認を得た上で、相当年次に入学させることができる。この場合本学における修業年限は、第5条にかかわらず、これを短縮することがある。ただし、その期間は、本学における修業年限の2分の1を超えてはならない。

第28条 退学又は休学をしようとする者は、保証人連署で願い出なければならない。

- 2 休学期間は在学期間に算入しない。
- 3 退学又は休学した者は、願により再入学又は復学を許可することがある。
- 4 休学した者が休学期間終了後2か月以内に復学願を提出しないときは、除籍する。
- 5 休学期間が1学期全期間にわたる休学者は、1学期につき25,000円の休学在籍料を納入しなくてはならない。

第29条 本学が教育上有益と認めたときは、学生が国内外の大学に留学することを認め

ることがある。

- 2 本学の教育課程の一部として、本学が国内外の大学に学生を留学させることがある。
 - 3 第1項及び第2項の留学に関する規程は、それぞれ別にこれを定める。
- 第30条 医学部にあつては、在学年次修了時において修得した授業科目、科目数、単位数が不十分で、上級学年の履修に支障があると認められた者に対しては、原学年に留年させることがある。
- 第31条 所定の修業年限の2倍を超えて在学することはできない。
- 2 医学部医学科においては、同一学年に二度以上留年することは原則としてこれを認めず、教授会の議を経て、学長の承認を得た上で、退学を命ずる。
- 第32条 学内の他の学部・学科への転学部・転学科は、当該学生の所属学部及び受入学部の教授会が認めた場合、許可することがある。
- 第32条の2 他大学の学生が所属の大学学長の承認を得て、本学に転学を志願するときは、年度の始めに限り学部長会議で選考の上、その入学を許可することがある。

第10章 学費

- 第33条 授業料、入学金その他の学費は、別表3のとおりとする。
- 第34条 削除
- 第35条 授業料その他の学費納付金は、所定の期日までにこれを納入しなければならない。
- 2 いったん納付した授業料及びその他の納付金は、事由のいかんにかかわらず返却しない。
 - 3 授業料その他の学費を所定の期日までに納付しない者は、除籍する。ただし、正当な事由により授業料及びその他の納付金の一部若しくは全額を延納しなければならないときは、保証人連署でその旨を願い出て許可を得なければならない。
 - 4 除籍された者は、願により復籍を許可されることがある。

第11章 賞罰

- 第36条 本学在学中、学業・人物共に特に優れた者又は教科外活動でその活躍が顕著な者に対して、別に定めるところにより表彰する。
- 第37条 本学学生として特に善行のあった者に対して表彰する。
- 第38条 学則及び学生諸規則に違反し、学生の本分に反する者に対しては、懲戒委員会の議を経て学長はこれを懲戒する。
- 2 懲戒は戒告、停学、退学の3種とする。
 - 3 次の各号の一に該当する者に対しては、退学を命ずる。
 - (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者
 - (2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められた者
 - (3) 正当な理由なしに出席が常でない者
 - (4) 大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者
 - 4 懲戒委員会の規程は、別にこれを定める。

第12章 教員等の組織

- 第39条 本学に総長、学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員、技術職員、船舶職員及びその他の職員を置く。

2 学長の職務を補佐するため、副学長を置くことができる。

第13章 教授会

第40条 各学部それぞれ教授会を設ける。

2 教授会は、学部長、教授、准教授、講師及び助教によって組織され、学長の諮問機関であるとともに、当該学部に関する次の事項を審議し、学部運営の中核機関となる。

- (1) 研究及び教育に関する事項
- (2) 入学、卒業、学位の授与に関する事項
- (3) 学籍異動に関する事項
- (4) 教務及び学生生活に関する事項
- (5) その他必要と認められた事項

3 次の事項については、学長が決定を行うにあたって教授会が意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業
- (2) 学位の授与
- (3) 前項に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるもの

4 教授会の規程は、別にこれを定める。

第41条 学内の全般的問題を議するために、学部長会議を設ける。

2 学部長会議は、学部長会議規程に定める者をもって組織する。

3 学長は、学部長会議を招集し、その議長となる。

4 学長に事故あるときは、学長の指名した者がこれを代行する。

5 学部長会議は、次の事項を審議する。

- (1) 大学運営に関する基本的事項
- (2) 大学の各学部、学科に関する重要事項
- (3) 総長又は学長の諮問に関する事項
- (4) その他必要と認められた事項

第42条 必要に応じて常置の委員会あるいは臨時の委員会を設けることができる。

2 各種委員会の規程は、別にこれを定める。

第14章 図書館

第43条 本学に付属図書館を置く。付属図書館の規程は、別にこれを定める。

第15章 公開講座

第44条 本学は、成人教育及び地域社会の文化向上を目的として、一定の講座を公開することがある。

第16章 厚生施設

第45条 本学に学生及び教職員の研修、福利厚生を目的とした施設を設ける。

第17章 健康管理

第46条 本学に学生及び教職員の健康管理を目的として健康推進に関する部署を設置する。

第18章 聴講生

第47条 特定の授業科目につき、聴講を願い出る者がいるときは、選考の上、聴講生として修学を許可することがある。聴講生に関する規程は、別にこれを定める。

第19章 科目等履修生

第48条 本学の学生以外の者で一又は複数の授業科目について履修を希望する者があるときは、教育研究に支障のない限り選考の上、科目等履修生として修学を許可することができる。科目等履修生に関する規程は、別にこれを定める。

第20章 乗船実習課程生、体験留学生

第49条 前章で規定する科目等履修生のうち、本学海洋学部海洋理工学科航海学専攻卒業生で、船舶職員及び小型船舶操縦者法に定められている海技士の免許を取得するために必要な科目（海技に関する科目）の履修を希望する者は、受講資格を審査の上、乗船実習課程生として修学を認めるものとする。

2 乗船実習課程生に関する規程は、別にこれを定める。

第49条の2 削除

2 削除

3 削除

第49条の3 高等学校を当該年度内に卒業見込であって学校長に推薦され、科目等履修生・聴講生として履修を許可された者を体験留学生という。

2 東海大学体験留学生に関することは、別にこれを定める。

第21章 研究生、研究員、研修員

第50条 研究生は、指導教員の指導のもとに特定事項の研究に従事し、研究の精神を養うと共に研究成果の促進を目的とする。研究生に関する規程は、別にこれを定める。

2 研究員は、本学の教員とともに特定事項の研究に従事し、研究の成果を挙げることを目的とする。

3 研修員は、本学の教員の指導のもとに特定事項の研究に従事し、研究能力の向上を図り研究の成果を挙げることを目的とする。

4 研究員・研修員に関する規程は、別にこれを定める。

付 則

1 この学則は、昭和21年4月からこれを施行する。

2 昭和36年6月開設の工学部機械工学科については、昭和46年4月より学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

3 昭和25年4月開設の工学部応用理学科については、昭和47年4月より学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

4 第二工学部応用理学科については、昭和47年4月より学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

5 札幌校舎の海洋学部海洋工学科、海洋土木工学科、水産学科については、昭和49年4月より学生募集を停止する。

6 海洋学専攻科遠洋漁業専攻については、昭和52年4月より学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

7 札幌校舎の工学部電気工学科、通信工学科、電子工学科、建築学科、土木工学科、動力機械工学科、生産機械工学科については、昭和63年4月より学生募集を停止し、札幌校舎を廃止する。

8 沼津校舎の海洋学部沼津教養部を昭和63年4月より廃止する。

9 福岡校舎の工学部電気工学科，通信工学科，電子工学科，建築学科，土木工学科，動力機械工学科，生産機械工学科については，平成2年4月より学生募集を停止し，福岡校舎を廃止する。

10 第24条第2項に定める免許教科のうち地理歴史及び公民については，平成2年4月入学よりこれを適用する。

11 経過措置

工学部の収容定員は第11条の規定にかかわらず，昭和62年度より平成2年度までは次のとおりとする。

学部	学科	昭和 62年度	昭和 63年度	平成 元年度	平成 2年度	平成 3年度	平成 4年度
工学部	電気工学科	960	920	880	820	760	740
	制御工学科	320	320	320	320	320	320
	通信工学科	960	920	880	820	760	740
	電子工学科	960	920	880	820	760	740
	応用物理学	320	320	320	320	320	320
	原子力工学科	320	320	320	320	320	320
	光学工学科	320	320	320	320	320	320
	工業化学科	640	640	640	620	600	580
	金属材料工学科	320	320	320	320	320	320
	建築学科	960	920	880	820	760	740
	土木工学科	960	920	880	820	760	740
	動力機械工学科	960	920	880	820	760	740
	生産機械工学科	640	600	600	520	480	480
	精密機械工学科	320	320	320	320	320	320
	航空宇宙学科	320	320	320	320	320	320
	経営工学科	640	640	640	640	640	640
	計	9920	9640	9400	8940	8520	8380

12 経過措置

医学部の収容定員は第11条の規定にかかわらず，昭和62年度より平成4年度までは次のとおりとする。

学部	学科	昭和 62年度	昭和 63年度	平成 元年度	平成 2年度	平成 3年度	平成 4年度
医学部	医学科	660	650	640	630	620	610

13 経過措置

海洋学部の収容定員は第11条の規定にかかわらず，平成3年度より平成5年度までは次のとおりとする。

学部	学科	平成3年度	平成4年度	平成5年度
海洋学部	海洋工学科	640	640	640
	海洋土木工学科	640	640	640
	海洋資源学科	320	320	320
	水産学科	640	640	640
	船舶工学科	290	260	230
	海洋科学科	320	320	320
	航海工学科	140	120	100
		計	2990	2940

14 経過措置

開発工学部の収容定員は第 11 条の規定にかかわらず、平成 3 年度より平成 5 年度までは次のとおりとする。

学部	学科	平成 3 年度	平成 4 年度	平成 5 年度
開発工学部	情報通信工学科	160	320	480
	素材工学科	80	160	240
	生物工学科	80	160	240
	医用生体工学科	40	80	120
	計	360	720	1080

15 経過措置

次の学部学科専攻の入学定員は第 11 条の規定にかかわらず、平成 4 年度より平成 11 年度までの間、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
文学部	史学科日本史学専攻	50
	史学科東洋史学専攻	50
	史学科西洋史学専攻	50
	史学科考古学専攻	18
教養学部	国際学科	100
体育学部	体育学科	200
	社会体育学科	100

16 平成 4 年度以前に入学した学生（開発工学部を除く。）については、旧学則（平成 4 年 4 月 1 日付改訂）第 11 条、第 12 条、第 14 条、第 15 条第 1 項、第 20 条を卒業するまで適用する。

17 平成 6 年度以前に入学した開発工学部の学生については、旧学則（平成 4 年 4 月 1 日付改訂）の第 11 条、第 15 条、第 20 条を卒業するまで適用する。

18 健康科学部の収容定員は第 11 条の規定にかかわらず、平成 4 年度より平成 9 年度まで次のとおりとする。

学部	学科	平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度
健康科学部	看護学科	70	140	240 (30)
	社会福祉学科	80	160	260 (20)
	計	150	300	500 (50)

（ ）内の数字は 3 年次編入学定員で内数

19 海洋学専攻科海技専攻については、平成 9 年 4 月より学生募集を停止する。

20 文学部文明学科アジア専攻、ヨーロッパ専攻については、平成 8 年度以前に入学した学生が卒業するまでの間、第 3 条にかかわらず専攻を存続するものとする。

21 平成 6 年度以前に入学した学生（医学部を除く。）については、旧学則（平成 4 年 4 月 1 日付改訂）を適用する。

22 平成 9 年度以前に入学した海洋学部船舶工学科の学生については、第 3 条にかかわらず船舶工学科の学科名称を適用する。

23 平成 10 年度以前に健康科学部看護学科に入学した学生と平成 8 年度以前に健康科学部社会福祉学科に入学した学生については、旧学則（平成 10 年 4 月 1 日付改訂）の第 13 条、第 19 条、第 23 条を卒業するまで適用する。ただし、入学年度以降においてカリキュラム改訂が行われ、新設の授業科目について修得した単位を、本学が教育上有益と認めるとき

は、卒業単位に含めることができる。

24 医学部、健康科学部を除く学部において、平成7年度及び平成8年度に入学した学生については平成9年度のカリキュラムを適用し、平成9年度以降に入学した学生については、入学年度のカリキュラムを適用する。ただし、当該カリキュラム適用年度以降においてカリキュラム改訂が行われ、新設の授業科目について修得した単位を、本学が教育上有益と認めるときは、卒業単位に含めることができる。

25 平成11年度以前に入学した海洋学部海洋工学科の学生については、第3条にかかわらず海洋工学科の学科名称を卒業するまで適用する。

26 次の学部学科専攻の入学定員は第11条の規定にかかわらず、平成12年度より平成16年度までの間、次のとおりとする。ただし、平成12年度の文学部歴史学科名称は史学科日本史学専攻、史学科東洋史学専攻、史学科西洋史学専攻、史学科考古学専攻とする。

学部	学科	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	入学定員
文学部	歴史学科日本史専攻	50	54	54	54	50
	歴史学科東洋史専攻	50	50	45	40	40
	歴史学科西洋史専攻	50	55	50	50	50
	歴史学科考古学専攻	18	24	24	24	24
	計	168	183	173	168	164
教養学部	国際学科	90	90	90	90	90
体育学部	体育学科	200	200	200	190	180
	社会体育学科	95	95	90	90	90
	計	295	295	290	280	270

27 文学部広報学科並びに工学部電気工学科、制御工学科、通信工学科、電子工学科、応用物理学科、原子力工学科、光学工学科、工業化学科及び経営工学科は平成13年4月から募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

28 平成12年度以前に入学した文学部史学科、英文学科及び北欧文学科並びに教養学部生活学科並びに工学部金属材料工学科、生産機械工学科及び精密機械工学科の学生については、第3条にかかわらず卒業するまで旧学科名称を適用する。

29 文学部文明学科及び日本文学科の新たな設置認可に伴い、平成12年度入学生までの文学部文明学科及び日本文学科については、平成13年4月から募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。

30 次の学部学科の入学定員は第11条の規定及び付則26の規定にかかわらず、平成15年度より平成16年度までの間、次のとおりとする。

学部	学科	平成15年度	平成16年度
		入学定員	入学定員
体育学部	体育学科	210	200
	社会体育学科	100	100
	計	310	300

31 平成15年度以前に入学した体育学部社会体育学科及び開発工学部素材工学科の学生については、第3条にかかわらず卒業するまで旧学科名称を適用する。

32 平成15年度以前に入学した学生については、卒業するまで旧学則（平成15年4月1日

付改訂)を適用する。

- 33 平成17年度以前に入学した電子情報学部,工学部応用理学科(光工学専攻,エネルギー工学専攻),航空宇宙学科,海洋学部地球環境工学科,海洋土木工学科,水産学科(水産資源開発課程,増殖課程),マリンデザイン工学科,航海工学科(航海専攻,国際物流専攻)及び第二工学部の学生については,第3条にかかわらず卒業するまで旧学科名称を適用する。
- 34 平成17年度以前に入学した学生については,卒業するまで旧学則(平成17年4月1日付改訂)を適用する。
- 35 平成19年度以前に入学した情報理工学部情報メディア学科,ソフトウェア開発工学科,経営システム工学科,情報通信電子工学科の学生については,第3条にかかわらず卒業するまで旧学科名称を適用する。
- 36 平成19年度以前に入学した学生については,卒業するまで旧学則(平成19年4月1日付改訂)を適用する。
- 37 平成20年度以前に入学した情報デザイン工学部の学生については,卒業するまで旧学則(平成20年4月1日付改訂)を適用する。
- 38 平成21年度以前に入学した工学部エネルギー工学科,開発工学部,海洋学部海洋建設工学科,環境情報工学科の学生については,卒業するまで旧学則(平成21年4月1日付改訂)を適用する。
- 39 平成22年度以前に入学した海洋学部船舶海洋工学科,海洋資源学科,海洋科学科,水産学科,航海学科(航海専攻,国際物流専攻)の学生については,卒業するまで旧学則(平成22年4月1日付改訂)を適用する。
- 40 平成23年度以前に入学した国際文化学部地域創造学科,国際コミュニケーション学科,芸術工学部くらしデザイン学科,建築・環境デザイン学科,生物理工学部生物工学科,海洋生物科学科,生体機能科学科の学生については,卒業するまで旧学則(平成23年10月1日付改訂)を適用する。
- 41 次の学部学科の入学定員は第11条の規定にかかわらず,平成24年度より平成31年度までの間,次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
医学部	医学科	113

- 42 平成24年度以前に入学した総合経営学部マネジメント学科,産業工学部環境保全学科,電子知能システム工学科,機械システム工学科,建築学科の学生については,卒業するまで旧学則(平成24年10月1日付改訂)を適用する。
- 43 次の学部学科の入学定員は第11条の規定にかかわらず,平成26年度より平成31年度までの間,次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
医学部	医学科	115

- 44 平成23年度以前に入学した芸術工学部くらしデザイン学科,建築・環境デザイン学科の学生については,旧学則(平成23年10月1日付改訂)を適用するが,平成26年4月1日以降,授業を行う校舎は,第3条第2項の規定にかかわらず,卒業するまで札幌校舎とする。

45 次の学部学科の入学定員は第 11 条の規定にかかわらず、平成 28 年度より平成 31 年度までの間、次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
医学部	医学科	118

46 文学部アジア文明学科, ヨーロッパ文明学科, アメリカ文明学科, 北欧学科, 歴史学科東洋史専攻, 文芸創作学科, 広報メディア学科, 心理・社会学科及び健康科学部看護学科, 社会福祉学科については, 平成 30 年 4 月より学生募集を停止し, 在学生の卒業をもって廃止する。平成 29 年度以前に入学した文学部アジア文明学科, ヨーロッパ文明学科, アメリカ文明学科, 北欧学科, 歴史学科東洋史専攻, 文芸創作学科, 広報メディア学科, 心理・社会学科及び健康科学部看護学科, 社会福祉学科の学生については, 卒業するまで旧学則(平成 29 年 4 月 1 日付改訂)を適用する。

47 平成 29 年度以前に入学した学生については, 卒業するまで旧学則(平成 29 年 4 月 1 日付改訂)を適用する。

48 次の学部学科の入学定員は第 11 条の規定にかかわらず, 令和 2 年度より令和 3 年度までの間, 次のとおりとする。

学部	学科	入学定員
医学部	医学科	118

49 政治経済学部経営学科, 教養学部国際学科, 工学部生命化学科, 光・画像工学科, 原子力工学科, 建築学科, 土木工学科, 材料科学科, 精密工学科, 動力機械工学科, 医用生体工学科, 情報通信学部情報メディア学科, 組込みソフトウェア工学科, 経営システム工学科, 通信ネットワーク工学科, 海洋学部海洋文明学科, 環境社会学科, 海洋地球科学科, 航海工学科航海学専攻, 航海工学科海洋機械工学専攻, 経営学部経営学科, 観光ビジネス学科, 基盤工学部電気電子情報工学科, 医療福祉工学科, 農学部応用植物科学科, 応用動物科学科, バイオサイエンス学科, 国際文化学部デザイン文化学科については, 令和 4 年 4 月より学生募集を停止し, 在学生の卒業をもって廃止する。令和 3 年度以前に入学した政治経済学部経営学科, 教養学部国際学科, 工学部生命化学科, 光・画像工学科, 原子力工学科, 建築学科, 土木工学科, 材料科学科, 精密工学科, 動力機械工学科, 医用生体工学科, 情報通信学部情報メディア学科, 組込みソフトウェア工学科, 経営システム工学科, 通信ネットワーク工学科, 海洋学部海洋文明学科, 環境社会学科, 海洋地球科学科, 航海工学科航海学専攻, 航海工学科海洋機械工学専攻, 経営学部経営学科, 観光ビジネス学科, 基盤工学部電気電子情報工学科, 医療福祉工学科, 農学部応用植物科学科, 応用動物科学科, バイオサイエンス学科, 国際文化学部デザイン文化学科の学生については, 卒業するまで旧学則(令和 3 年 4 月 1 日付改訂)を適用する。

50 令和 3 年度以前に入学した学生については, 卒業するまで旧学則(令和 3 年 4 月 1 日付改訂)を適用する。

51 令和 4 年 4 月に実施する改組改編に伴い, 次の学科等の収容定員は第 11 条の規定にかかわらず, 令和 4 年度から令和 7 年度までは次のとおりとする。

■令和 4 年度より学生募集を停止する学科等

学部・学科・専攻	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
政治経済学部経営学科	480	320	160	0
教養学部国際学科	240	160	80	0

工学部生命化学科	300	200	100	0
工学部光・画像工学科	180	120	60	0
工学部原子力工学科	120	80	40	0
工学部材料科学科	240	160	80	0
工学部建築学科	600	400	200	0
工学部土木工学科	360	240	120	0
工学部精密工学科	240	160	80	0
工学部動力機械工学科	450	300	150	0
工学部医用生体工学科	180	120	60	0
情報通信学部情報メディア学科	240	160	80	0
情報通信学部組込みソフトウェア工学科	240	160	80	0
情報通信学部経営システム工学科	240	160	80	0
情報通信学部通信ネットワーク工学科	240	160	80	0
海洋学部海洋文明学科	240	160	80	0
海洋学部環境社会学科	240	160	80	0
海洋学部海洋地球科学科	240	160	80	0
海洋学部航海工学科航海学専攻	60	40	20	0
海洋学部航海工学科海洋機械工学専攻	180	120	60	0
経営学部経営学科	450	300	150	0
経営学部観光ビジネス学科	240	160	80	0
基盤工学部電気電子情報工学科	240	160	80	0
基盤工学部医療福祉工学科	180	120	60	0
農学部応用植物科学科	240	160	80	0
農学部応用動物科学科	240	160	80	0
農学部バイオエンス学科	210	140	70	0
国際文化学部デザイン文化学科	210	140	70	0

■令和4年度に開設する学科等

学部・学科・専攻	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
児童教育学部児童教育学科	150	300	450	600
経営学部経営学科	230	460	690	920
国際学部国際学科	200	400	600	800
情報通信学部情報通信学科	240	480	720	960
情報理工学部情報メディア学科	100	200	300	400
建築都市学部建築学科	240	480	720	960
建築都市学部土木工学科	100	200	300	400
工学部機械システム工学科	140	280	420	560
工学部医工学科	80	160	240	320
工学部生物工学科	100	200	300	400
海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻	130	260	390	520
海洋学部海洋理工学科航海学専攻	20	40	60	80
人文学部人文学科	180	360	540	720
文理融合学部経営学科	130	260	390	520
文理融合学部地域社会学科	100	200	300	400
文理融合学部人間情報工学科	70	140	210	280
農学部農学科	80	160	240	320
農学部動物科学科	80	160	240	320
農学部食生命科学科	70	140	210	280

■令和4年度に定員を変更する学科等

学部・学科	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
政治経済学部政治学科	680	720	760	800
政治経済学部経済学科	680	720	760	800
教養学部人間環境学科	600	560	520	480
教養学部芸術学科	340	320	300	280
体育学部体育学科	450	460	470	480
体育学部競技スポーツ学科	590	620	650	680
体育学部生涯スポーツ学科	450	460	470	480
体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科	250	260	270	280
工学部応用化学科	340	360	380	400
工学部電気電子工学科	540	520	500	480
海洋学部海洋生物学科	350	340	330	320
医学部看護学科	350	360	370	380
生物学部生物学科	285	290	295	300
生物学部海洋生物科学科	285	290	295	300

52 医学部医学科の入学定員及び収容定員は第11条の規定にかかわらず、令和4年度から令和9年度までは次のとおりとする。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学定員	118	110	110	110	110	110
収容定員	708	700	692	684	676	668

付 則（令和5年4月1日）

この学則は、令和5年4月1日から施行する。

53 医学部医学科の入学定員及び収容定員は第11条の規定にかかわらず、令和5年度から令和10年度までは、次のとおりとする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
入学定員	118	110	110	110	110	110
収容定員	708	700	692	684	676	668

54 令和5年4月1日付改訂より、旧学則（令和4年4月1日付改訂）の別表3（現代文明論、現代教養科目、英語科目、主専攻科目及び自己学修科目）、別表4（卒業単位に含まれない科目）、別表5（日本語に関する科目）、別表6（卒業の要件）、別表7（第23条の2に規定する大学等）は、学修に関する規則に定める。

付 則（令和6年4月1日）

この学則は、令和6年4月1日から施行する。

55 医学部医学科の入学定員及び収容定員は第11条の規定にかかわらず、令和6年度から令和11年度までは、次のとおりとする。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
入学定員	118	110	110	110	110	110
収容定員	708	700	692	684	676	668

別表1

教育研究上の目的及び養成する人材像

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
文学部		文学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人文科学に関する幅広い教養と高度な専門的知識及び的確な分析法を身につけ、現代社会が抱える多様な諸問題と向き合い、問題の根幹はどこにあるのかを正しく理解して課題を見据え、対処策や解決法を導き出せる創造力と実行力をもった人材を養成することです。
	文明学科	文学部文明学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、文明論・比較文明的な視野を養いつつ、古来人類の知的営為が生み出してきた東西の優れた哲学や思想についての基礎的な素養を身につけることにより、悠久の時間軸の中で人間の生き方や社会のあり方を根本的に捉え、現代の社会が抱える地球規模の多様な問題の一端を自分にとっての切実なものとして受け止めることにより、感性豊かな適切な言葉でそれを的確に他者に伝えることのできる市民としての人材を養成することです。
	歴史学科 日本史専攻	文学部歴史学科日本史専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、史・資料を客観的に分析し、歴史事象を論理的に思考する能力や、分析・思考の成果を他者に的確に伝える能力を鍛え、過去から現在に至る日本史の流れや人々の営みを正しく理解することによって、歴史的な視点で現代社会の課題を認識し、他者を公正に理解しながら、よりよい社会の形成に主体的に関与しようとする人材を養成することです。
	歴史学科 西洋史専攻	文学部歴史学科西洋史専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、ヨーロッパとその関連地域から構成される西洋世界について歴史的視点から多角的に学ぶことによって、幅広い知識を習得するとともに、思考力や判断力を養い、異文化の特質を正しく理解し、教育や文化をはじめ、様々な分野で国際的にも活躍できる優れた人材を養成することです。
	歴史学科 考古学専攻	文学部歴史学科考古学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、考古学と周辺諸科学に関する幅広い教養と高度な専門的知識および考古学的な分析法を身につけ、広く人類史を見つめ、その視点から現代社会が抱える多様な諸問題にも向き合い、問題の根幹はどこにあるのかを正しく理解して対処策や解決法を導き出せる創造力と実行力をもった人材を養成することです。
	日本文学科	文学部日本文学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、永い伝統を持ち、また現代日本の社会や文化とも密接に関わっている日本の文学や日本語について学ぶことで、日本の文化に関する幅広い教養の上で現代の社会に対して新しい文化的提案ができる人間、また伝統をふまえて次世代の社会に向けて創造的に関わってゆける人材を養成することです。
	英語文化コミュニケーション学科	文学部英語文化コミュニケーション学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、英語による実践的コミュニケーション能力と、それを支える教養や専門研究の力を兼ねた人材を養成することです。
文化社会学部		文化社会学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人文社会系の研究・教育の成果を土台としつつ、(1)多文化理解の促進、(2)高度な言語表現力の育成、(3)メディアの理解・利用・創造、(4)自立と共生を実現する知識と力、を柱とする研究教育を通じて、人・社会・自然の共生に立脚した社会生活の基盤の構築に寄与できる人材を養成することです。
	アジア学科	文化社会学部アジア学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、多様性に満ち、グローバル化のなか急速な変化を遂げているアジアについて学識を深めることで、異文化に向き合い中長期的な展望をもって現代のさまざまな課題に取り組み、国際社会、地域社会に貢献できる人材を養成することです。
	ヨーロッパ・アメリカ学科	文化社会学部ヨーロッパ・アメリカ学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、西洋世界について古代から現代までの包括的な理解を深め、さらに「文学・芸術」「宗教・思想」「歴史・社会」という多角的な視点からの学びを通じて、第一に、変動する世界情勢の中でも揺るがない洞察力を持ち、新たな文明を創造するエネルギーに溢れた人材を養成します。第二に、多様性を尊び、共生を志向する精神を持って未来を切り開き、暮らしを豊かにする知恵をもつ人材を養成することです。
	北欧学科	文化社会学部北欧学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「共生社会の構築に貢献できる自立した人材の育成」という目的へ向け、(1)北欧社会の先進的な取り組みや文化について学ぶことで広い視野と柔軟な発想力を備え、多様な価値観を受容することのできる人材、(2)言語学習や留学・海外研修などを通じて自らの考えを発信する力を高めた人材、(3)日本という視点から北欧を研究することで批判的考察力を身につけた人材、(4)自己と社会との関わり方や自立した生き方を主体的に構想し、日本社会が抱える課題の克服に積極的に取り組むことのできる人材を養成することです。
	文芸創作学科	文化社会学部文芸創作学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、文芸の創作と批評を通じ、(1)現代社会で通用する正確な言葉によって論理的かつクリエイティブに個々の感性と経験を表現する力、(2)人間と世界に関する情報や事象を柔軟かつクリティカルに読み取り、的確に分析し、本質を洞察する力、(3)広く諸芸術を鑑賞して培った教養を未来に向かって総合的に生かしてゆく力、という三つの力を備えた人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
文化社会学部	広報メディア学科	文化社会学部広報メディア学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、単なる技術の習得にとどまらず、メディアに関する理論的・歴史的・制度的な研究成果を土台としつつ、混沌としたメディアの現状に対応できる人材、社会的価値のあるメッセージを創造・発信できる人材、メディアや企業・行政の広報・広告部門で活躍できる人材を養成することです。
	心理・社会学科	文化社会学部心理・社会学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、心理学・社会心理学・社会学の学び、そして組織された実験やフィールド実習を通じて、人間関係の充実に必要な社会的スキルである“コミュニケーション能力”と社会的な課題や問題に対して具体的な解決策や行動計画を提案できる“社会的構想力”を有する人材を養成することです。
教養学部		教養学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、幅広い教養を身につけるとともに、学科における専門性を基礎としながら、同時に学科を繋ぐ学際的かつ実践的な教育を通して、社会の変化に柔軟に対応し、社会での自らの役割を自覚するとともに、様々な問題に対応できる創造力、独創力や実践力を有した人材を養成することです。
	人間環境学科	教養学部人間環境学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、私たち人間を取り巻く環境について「自然環境領域」、「生活文化領域」、「社会環境領域」の異なる領域から分析し、それらをトータルに把握するとともに、その専門性を基礎として、自らの社会的役割を自覚し、国際性と独創性、創造性を有した人材を学際的かつ実践的な教育を通して養成することです。
	芸術学科	教養学部芸術学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「身体指向」「社会指向」「発表指向」を目標とする芸術教育の実施により、音楽・美術・デザインなど個々の適性に合わせた専門能力、かつ「学際芸術」のコンセプトの下にそれらを統合する能力をも兼ね備え、様々な場面に対応できる判断力・行動力を持った視野の広い人材を養成することです。
児童教育学部		児童教育学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、子どもとそれを取り巻く社会状況及び教育・保育の役割を理解し、子どもの発達と学びを適切に支えることができる基礎的な知識・技能を基盤として、子どもの多様な発達と学びを総合的かつ連続的に捉える視野を持ち、そこで見出した社会・地域の課題に他者と協働的に向き合い、解決に向けて取り組むことのできる人材を養成することです。
	児童教育学科	児童教育学部児童教育学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、社会について幅広く学び、“子どもに係る諸課題は社会全体の課題である”ことへの理解を深めながら、「教育・保育の基礎的な知識と技能」と、「多様な子どもに向き合い、見通しを持った教育・保育を展開できる力」に加え、「教育・保育の課題を地域の課題として実際に向き合い、他者と協働してその解決に向けて主体的に行動できる力」を教育体系の中で養成し、「多様な子どもを、継続的に見通す力」を身につけ、教員や保育者といった専門職において活躍するだけでなく、広く子どもに関わる各分野(公務員、一般企業)において、身につけた人間性や能力を活用して、これからの社会に貢献する人材、共生社会の実現を目指す人材を養成することです。
体育学部		体育学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、体育・スポーツ科学の学修を通じて、その知識・技能・態度を修得すると同時に心身を錬磨し、これらの英知を生かして柔軟な思考力と総合的判断力を有する人材を育成すると共に、体育・スポーツ科学の専門家としての指導力及び実践力をもった、平和で健康的な社会の創造に貢献することのできる人材を養成することです。
	体育学科	体育学部体育学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、身体を多面的に把握・理解する能力の育成に重点を置き、体育・スポーツ科学の学修を通じて、人文社会科学や自然科学など体育・スポーツに関する幅広い知識・技能・態度を修得し、学校・企業・地域社会などあらゆる場面において、体育・スポーツに関する学問研究の文化的諸成果を、周囲の人々や未来を担う子どもたちに発展的に継承することのできる実践力・指導力ある人材を養成することです。
	競技スポーツ学科	体育学部競技スポーツ学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、自己及び他の競技者の競技力向上に寄与しうる能力を高めるに留まらず、アスリート、コーチ、トレーナーを目指す活動を通して、自己の専門分野における理論と実践面におけるリーダーとしての資質向上を目指し、国内はもとより世界のスポーツ界をリードしていくことのできる、より高度な知識と実践力を有する人材を養成することです。
	武道学科	体育学部武道学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、武道の特性を踏まえ、体育・スポーツ科学の視点から武道を科学的に研究することにあります。そして、武道実践を通して武道の精神と専門的な知識を身につけ、技術を体得し、国際性に富んだ広い視野を培い、自己開発能力に長けたリーダーシップのとれる、社会に積極的に貢献する人材を養成することです。
	生涯スポーツ学科	体育学部生涯スポーツ学科の研究教育上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、生涯にわたり健康で豊かな生活を送ることのできる社会の実現に寄与するため、生涯スポーツに関する理論及び実践を科学的に探求することを通じて、人々の健康の維持増進と生活の質の向上を促す確かな知識と技術を修得し、優れたコミュニケーション能力を持ち、スポーツ・健康増進施設、教育機関、企業など、地域社会で幅広く活躍できる人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
体育学部	スポーツ・レジャーマネジメント学科	体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、思想・歴史・文化など幅広い教養と豊かな見識を持ち、平和で豊かで美しい地球社会の発展に役立つよう、人間が人間らしく生きていくために必要不可欠な人権の一つである「スポーツ&レジャー」分野において、自他に対してその実現に寄与し、科学的・創造的思考に卓越し、英語でのコミュニケーション能力を有して国際的に活躍できる人材を養成することです。
健康学部		健康学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、未来に向けて「健康社会」を実現するために、多様な分野から成る総合学問としての健康学を学び、“専門領域や職種を超えてネットワークを構築し市民と協働する力”、“併せて”国境も超えて多様な人々とも連携、協働できる力”、“複合的な視点で解決策を創造する力”を備え、マネジメントできる人材を養成することです。
	健康マネジメント学科	健康学部健康マネジメント学科の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、未来に向けて「健康社会」を実現するために、多様な分野から成る総合学問としての健康学を学び、“専門領域や職種を超えてネットワークを構築し市民と協働する力”、“併せて”国境も超えて多様な人々とも連携、協働できる力”、“複合的な視点で解決策を創造する力”を備え、マネジメントできる人材を養成することです。
法学部		法学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、社会の諸問題を法的に分析し、その解決方法を構築・説明することのできる法的素養(リーガル・マインド)を涵養することにより、人間の尊厳と人権の尊重を基調とする現代の社会において、責任ある行動をし、ジェンダー・障がい者差別等のないインクルーシブかつ平等な社会を志向することのできる自立した人材を養成することです。
	法律学科	法学部法律学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、法学的素養(リーガル・マインド)と能力を生かして自分自身を人間的に成長・発展させ、かつ、企業・団体の構成員として、そして地域社会、日本、ひいては国際社会の一市民として、自身の活動を通して平和でインクルーシブな社会の形成・発展に寄与しうる人材を育成することです。
政治経済学部		政治経済学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、我が国および国際社会の一層の発展と向上に寄与しうる「冷静な頭脳と温かい心」に立脚し「社会力」をもった人材を養成することです。
	政治学科	政治経済学部政治学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、21世紀におけるグローバル化、情報化、少子高齢化を視野にいれると同時に、環境、人権等、現代の政治課題に対応できるよう、地域社会から国際社会に及ぶ複雑な政治現象を客観的、多面的に分析し、現実社会の諸問題に取り組み解決を図る態度と能力を身に着けた人材を養成することです。
	経済学科	政治経済学部経済学科の教育研究上の目的は、①経済現象の仕組みや因果関係を理論的に解明できる力(理論的に考える力)、②経済現象について資料を集め科学的に分析できる力(実証分析する力)、③経済問題を多面的に検討して政策提言できる力(政策提言する力)、以上3つの力を備えた人材を養成することです。これら3つの力は、社会で求められる状況判断と意思決定の能力と密接に関係すると考えています。
経営学部		経営学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、複雑化する課題解決に対し、スキルと強い意志をもって行動できる人材を育成していくことを目的に、経営学の理論・知識とデータ分析能力を持ち、問題解決に向けた新しいプロセスをデザインしながら新しい解決策を模索することができる人材を養成することです。
	経営学科	経営学部経営学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、複雑化する課題解決に対し、スキルと強い意志をもって行動できる人材を育成していくことを目的に、経営学の理論・知識とデータ分析能力を持ち、問題解決に向けた新しいプロセスをデザインしながら新しい解決策を模索することができる人材を養成することです。
国際学部		国際学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、グローバル化の加速する社会において必要な「地球規模の課題を理解するための幅広い知識と思考力」、「言語・文化を超えて協働できるコミュニケーション力」、「高い倫理観をもって積極的に行動する実践力」を持つ人材を養成することです。
	国際学科	国際学部国際学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、頭で学ぶだけでなく、体とそして心を使った実践的に使える知識と人間力を身につけ、複雑化するグローバル社会における課題を発見するとともにその解決に寄与し、多文化社会の中で活躍できる人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
観光学部		観光学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、社会科学系の研究・教育の成果を土台として、変化が著しい現代社会を生き抜く力をもった自主的・創造的人材を育成することです。すなわち、文化・社会・自然の多様性ならびに観光の諸現象に関する知識と理解、問題発見・解決力、創造力、日本語や英語等多言語でのプレゼンテーション・コミュニケーション力をはじめとする汎用的な能力と技能、協調性を保ちつつ独自性を発揮できる自己管理能力等、学士の学位をもって社会で生きる基礎的な力を有し、観光・サービス産業やそれらの研究分野の発展に貢献することができる独創的人材を養成することを目的としています。
	観光学科	観光学部観光学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、変化が著しい現代社会を生き抜く力をもった自主的・創造的人材を育成することです。すなわち、文化・社会・自然の多様性ならびに観光の諸現象に関する知識と理解、問題発見・解決力、創造力、日本語や英語等多言語でのプレゼンテーション・コミュニケーション力をはじめとする汎用的な能力と技能、協調性を保ちつつ独自性を発揮できる自己管理能力等、学士の学位をもって社会で生きる基礎的な力を有し、観光・サービス産業やそれらの研究分野の発展に貢献することができる独創的人材を養成することを目的としています。
情報通信学部		情報通信学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人々の生活の質的変化・価値観の変化に大きな影響を与えている情報通信技術をどのように発展させ、イノベーションを起こすためにどのように活用し、持続可能な社会を構築していくかの解決を目指し、多様性と国際性を兼ね備えた広い視野とコミュニケーション能力を有するとともに、情報通信に関する専門知識と技術を身につけ、それらを社会で十分に活用できる柔軟な思考力と活用力を備えた、情報通信技術者としての使命感、倫理観をもった人材を養成することです。
	情報通信学科	情報通信学部情報通信学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「グローバル社会の中で活躍できる英語能力と多様化する価値観を受容できる”コミュニケーション力”」を有し、「社会に生じる諸問題に対して”情報通信の専門性と技術力”」に基づき、「柔軟な思考力と活用力」をもって他分野との協働により解決を目指す”コーディネート力”」を身に付け、「情報通信技術者としての使命感と倫理観」をもって”自ら考え行動し、解決を目指す””ことができる人材を養成することです。
理学部		理学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、理学部独自の内容を教育に生かした指導を行い「専門性に対応できる基礎力」「総合的な判断力」「協力し合って問題に対処できる能力」をもった人材を養成することです。
	数学科	理学部数学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、現代数学の基礎を教授し、「数学に関する基礎的知識、専門性に対応できる基礎力」「数学の最新の研究動向に精通した総合的な判断力」「様々な分野において数学特有の論理的思考法で諸問題に対処できる能力」をもった人材を養成することです。
	情報数理学科	理学部情報数理学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、高度情報化社会に対応するため、「数理科学および情報科学の基礎知識と専門性に対応できる基礎力」「数理から情報にかけて蓄えた知識を応用する力」「幅広く現象や情報を収集・解析し、人と協力して問題に対処する能力」をもった人材を養成することです。
	物理学科	理学部物理学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、あらゆる物質、素粒子、宇宙、生命の謎に挑み、現象を支配する法則の解明のため、実験と理論の両面から学問を深め、現代物理の幅広い領域にわたる教育・研究を通して、「物理学への知的探究心」「物事の本質を知る習慣と能力」「自ら考え他者と協力する力」をもった人材を養成することです。
	化学科	理学部化学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、化学の基礎から専門までを学び研究することを通して「知識を応用する力」「問題を解決する力」「社会で協調して生きる力」をもった人材を養成することです。
	情報理工学部	
情報科学科		情報理工学部情報科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って普遍的な科学研究と革新的な着想を追求し、情報分野に関するグローバルな視野と新しい情報処理技術を創成する素養を持った国際社会に貢献する人材を養成することです。
コンピュータ応用学科		情報理工学部コンピュータ応用学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、これからの高度情報化社会、高福祉化社会の技術的基盤として必要とされている、実社会における機器やシステムへコンピュータを高度に応用するための知識と技術を蓄積・開発することにあります。本学科では、「コンピュータ工学」および「知能ロボティクス」の専門的な基礎知識と実践的技術の習得を目指し、グローバル化した社会での急速な技術革新に対して、自らを進歩させ柔軟に対応できる幅広い知識と応用力、リーダーの資質と英語コミュニケーション能力を養い、国際的にも活躍できるような人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
情報理工学部	情報メディア学科	情報理工学部情報メディア学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、日々変化していく技術や新しい価値を捉える力を受容し、社会を支えていく人材を社会に排出することを目指し、「超スマート社会実現のために解決が急務の課題を発見する力」「情報メディアに関する幅広い知識を用いてその解決方法を創造する力」「それを情報メディア技術を駆使して実現、実践する力」を持ち、世界が今後直面するであろう課題を発見し解決していく力を有する人材を養成することです。
建築都市学部		建築都市学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、従来の「工学」の枠組みを越え、最新かつ高度な専門知識・技術力と、人間・社会・生活・文化・歴史に対する幅広い視野と柔軟な発想力を持ち、ソフトとハードの両面から建築・都市の未来に向けて抱える課題に対し、自ら調査・発見し、地域と協働して解決を図ることができる「柔らかな技術者」の育成を目的とします。 地域に根ざした建築・都市のあり方を、既存の建築・土木分野のみならず、社会学・経済学など文系分野の教員の参画等により多角的に学ぶことで、住環境から都市環境、地球環境まで及ぶ広い視野と高い技術力を備え、持続可能な社会システムの構築をめざすグローバルな人材を養成することです。
	建築学科	建築都市学部建築学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、技術の進歩、環境の変化、社会の変化を捉える幅広い視野と、建築学の幅広い専門性を兼ね備えた「柔らかな技術者」の育成を目指し、「建築計画」「建築工学」「地域デザイン」をカリキュラムの柱とし、文系・理系の枠にとらわれず、社会・生活の「変化を捉える力」を備え、新しい視点を持って地域と社会の発展に継続的に寄与できる人材を養成することです。
	土木工学科	建築都市学部土木工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、従来のライフラインの整備、国土保全、社会基盤の建設から、自然環境の保全、災害の軽減、エネルギーなど、持続可能社会の構築を視野に入れた土木工学の幅広い専門性を有し、社会経済や自然環境の変化に加え、想定外の環境変化にも対応できる柔軟性をもった人材を育成します。具体的には、「都市と防災」、「都市と環境」をカリキュラムの柱とし、身に付けた技術力をもって、地域の発展に還元することができる技術力と実行力を伴った人材を養成します。
工学部		工学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、工学に共通する基本的知識と、学科固有の専門知識に加え、世界の趨勢に目を向ける国際性および多様化する価値への寛容性をもって、世界が直面する技術的課題や現代社会が内包する社会的問題に対し、科学技術者の視点から積極的かつ創造的に取り組み、社会の発展に寄与する志をもった人材を養成することです。
	航空宇宙学科 航空宇宙学専攻	工学部航空宇宙学科航空宇宙学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、飛行機に関わる工学やロケット・人工衛星に関わる工学に加え、宙空環境の科学を含めた学際的複合領域も学修して、幅広い知識・技術を修得するとともに、国際的センスと豊かな人間性を兼ね備えた人材の育成を目指しています。近年の先端科学技術は、多くの課題が生じ困難に直面していますが、航空宇宙学専攻の目的は、学生諸君が自ら問題意識を持ち、考え、主体的に課題に取り組んでこれらの問題を解決出来る能力を持った人材を養成することです。
	航空宇宙学科 航空操縦学専攻	工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、航空機操縦と運航に関する知識と技術を修得し、豊かな人間性と確かな操縦技術を兼ね備えて社会の負託に応え、常に向上心を持った信頼されるプロフェッショナル・パイロットを育成することで、あわせて米国留学の機会も活用し国際性と語学力を身に付けた人材を養成することです。
	機械工学科	工学部機械工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、国際化が進んだ現代社会で積極的に課題解決ができ、かつ独創的な機械エンジニアを養成することであり、また、幅広く社会貢献可能な全人的な教育を行うことです。さらに、アクティブラーニング科目や卒業研究などの実践的教育を通して、機械工学を学ぶ上で必要とされる基礎知識を広く修得すると共に、専門科目の学修を通して高度な専門知識を身に付け、技術者としての倫理観をもった人材を養成することです。
	機械システム工学科	工学部機械システム工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、加速化する高齢化社会を支えながら人と共生する機械システムを創造するために必要な専門知識を習得するとともに、機械工学とシステム工学の融合に立脚した先進的な考え方や確固たる技術者倫理観、そして人と人、人と情報を結びつけるコーディネート力を身に付けることで、生活の質向上に資する機械システムの在り方や社会との関わりを正しく理解し、目まぐるしく変貌する現代社会が抱える諸問題に対し技術的かつグローバルな視点より解決策を導き出すことができる人材を養成することです。
	電気電子工学科	工学部電気電子工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、豊かな人間性を備え、技術者としての使命を理解し、電気電子工学および情報・通信工学分野の技術を活用して、調和のとれた社会の構築に寄与できる能力を備えた人材を育成することです。また、今後ますますグローバル化が進む社会を見据え、論理的な思考によって主体的に課題の発見と解決に取り組むことができる人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
工学部	医工学科	工学部医工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、現代の医療・福祉問題に対して、科学・技術に携わる者としての使命と社会との関係を、工学の規範に則した志をもって考える教育を行います。それを基礎として、先端医療・福祉を支え、さらに発展させるための技術・機器・システムの研究・開発、応用および工学的評価など複眼的視野から、工学分野と医学分野の確かな知識・技術を持ち、社会の変化に柔軟に対応しながら、有機的かつ継続的に問題解決に向かうことができる技術者及び臨床工学技士としての人材を養成することです。
	生物工学科	工学部生物工学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、医薬品・食品等の人間に直に接する産業・業種において、社会に貢献できる人材を育てるとともに、関連する分野の進展に寄与することです。カリキュラムとしては、生物工学基礎科目群をベースに、有機化学・生化学・生命数理の各科目群を学修することで、基本的事項を習得します。その後、応用的な一連の科目で生物学の知識・技術を医薬品・食品等と関連付けて学ぶことで、社会展開に結びつける力を養います。また、習得した知識を現場で利活用できるように、安全面も含めて多様な技能を実験科目・卒業研究科目において身につけます。これらを通して、社会の求めに応じて生物学の知識・技術を提供できる人材を養成します。
	応用化学科	工学部応用化学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、日本の基幹産業である製造業界において、化学の基礎知識や専門知識及び修得した技能に立脚して論理的判断を下すことができるような人材(技術者・研究者etc.)を養成することです。また、グローバル化した社会において活躍しうる国際的なセンスを身につけ、高度情報化が進む科学技術を化学的かつ工学的な視点で理解し問題解決に自ら取り組めるような人材を養成することです。
医学部		医学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、「科学とヒューマンイズムの融和」の精神のもとで、保健・医療の幅広い知識と確かな技能とともに豊かな人間性を有し、創造的な「生命科学研究」を実践できる人材を養成することです。
	医学科	医学部医学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「科学とヒューマンイズムの融合」の精神にもとづいて、幅広い視野に立ち、広範な知識・確かな技能・豊かな創造性を持ち、社会的役割を認識し人に対する尊敬を忘れない人間性豊かな「良医」を育成するとともに、生命倫理に対する高い見識に裏付けられた、創造的かつ先進的な「生命科学研究」を実践できる人材を養成することです。
	看護学科	医学部看護学科の教育目的は、大学・学部の教育目的に沿って、さまざまな健康レベルの人々が、あらゆる生活の場で、その人らしく過ごすことを支援する看護が実践でき、温かな人間性をもつ専門職を育成することです。そのための幅広い教養、知識、技術を持ち、人権擁護を基盤としたヒューマンケアが実践できる人材の育成を目指します。
海洋学部		海洋学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、海洋に関わる社会科学、理工学などの幅広い基礎知識と、高度な専門知識と技術をもって、地球と人類が抱える多様な諸問題に対して、海洋を通じてその全体像を正しく理解し、さらに、これらの問題に対する対処・解決の方策を導き出せる創造力及び実践力をもった人材を養成することです。
	海洋理工学科 海洋理工学専攻	海洋学部海洋理工学科海洋理工学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海洋科学にかかわる幅広い知識と、海洋を利用するための高度な技術をもって、自然科学的な視点とともに、社会科学的な眼差しを兼ね備えた、海洋に関する諸問題の対処と解決の方策を導き出せる思考力及び実践力をもった人材を養成することです。
	海洋理工学科 航海学専攻	海洋学部海洋理工学科航海学専攻の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海事に関わる人文社会学、自然科学などの幅広い基礎知識と、高度な海技士としての専門知識と技術をもって、海運界、海事関連産業が抱える多様な諸問題に対して、その全体像を正しく理解し、さらに、これらの問題に対する対処・解決の方策を導き出せる海技従事者となる人材を養成することです。
	水産学科	海洋学部水産学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、水生生物を食品の源ととらえ、その生態と生活環境、保護育成や増養殖などの水産資源に関する知識を有し、生物の多様性を維持した生物資源の持続的な利用に貢献できる知識と技術を備え、かつ食品の加工・製造、食の安全・安心に関する知識と技術を身に付けた、計画力と実践力に富み、生物と人との関わりを考慮できる社会貢献度の高い人材を養成することです。
	海洋生物学科	海洋学部海洋生物学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海洋生物とそれを取り巻く環境に関する正しい知識を身につけ、それを礎として海洋生物の多様性の維持と海洋環境の保全を目指すことのできる情報リテラシー能力を有し、自らの意見を持って海洋生物の有効利用への寄与と人間社会の発展に貢献し得るような社会的責任感のある人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
人文学部		人文学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、私たちが直面する様々な課題に立ち向かい魅力ある未来社会を創造するため、人文学の基礎的知識を修得するとともに多岐にわたる人文社会系の学問分野をつなぎあわせて、社会変化に対応していく人材を養成することです。人間社会が内包する多様な価値観や文化を相対的・総合的に理解したうえで、地域における課題の解決と新たな価値の創出に貢献し、変化する世界に柔軟に対応しうる発想力と行動力をもった人材の育成を目指します。
	人文学科	人文学部人文学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、現代あるいは将来において生じるであろう問題や変化に対して、新しい価値観を持って対応していく人材を養成することである。人間の多様なあり方を探求する人文学の専門知識を活用して、身近な地域に存在する歴史や文化、自然を基礎に新たな価値を構築し発信する力、グローバル化や技術の進展に伴う諸問題の実態に迫りその解決法を探る思考力、変化する世界に対応したライフスタイルや社会経済活動のあり方を提案する発想力と行動力を持った人材の養成を目指す。
文理融合学部		文理融合学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、超スマート社会「Society5.0」で必要とされる、情報活用能力と、現代の複雑な問題を文系・理系の枠を超えた視点でとらえ、解決できる能力を身につけ、国連が提唱するSDGs (Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標)の達成が不可避となった現在の世界の課題解決や21世紀を通じた社会づくりを地域の視点で研究するとともに、それを実践していく人材を養成することです。
	経営学科	文理融合学部経営学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、「理論と実践」を深化させ、文理融合の学びを生かした複眼的視点から、ビジネスにおける3分野「企業経営分野」、「スポーツビジネス分野」、「アグリビジネス分野」における経営上の「新しい知」を創出していくことです。この目的を踏まえ、経済的利益の向上だけでなく、社会的利益、環境的利益の向上を考える専門的知識と技術を身に付けた上で、地域社会だけではなく、国際社会で貢献できる人材を養成します。
	地域社会学科	文理融合学部地域社会学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、文理融合の複眼的視点を持って地域の諸問題を読み解き、「地域観光」と「心理・広報メディア」の双方から地域の活性化を継続的に推進し、近未来地域づくりを創出していくことです。この目的を踏まえ、急速に変化している高度情報化社会において多様性とグローバル化の中にある地域社会の可能性を見出し、その継続的な活性化に向けて近未来地域づくりをプロデュース・マネジメントしていける人材を養成します。
	人間情報工学科	文理融合学部人間情報工学科の教育研究の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、情報技術による上質な地方社会の実現に向け、自然と調和した快適で健康的な生活環境を構築できる情報及び工学の技術者を養成することです。具体的に、地方の暮らしを文理の枠を超えて深く理解できる知識をもち、さらに、「情報工学」と「医用工学」に関する高度な専門知識と技術を備え、それらの知識と技術を活用し、自然環境に配慮しつつ、地方の暮らしに快適さとし心身の健康をもたらす、工学的なシステムを構築できる人材を養成します。
農学部		農学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、食料の生産と利用、生命の仕組みの理解、生態系との調和への探究等について、それらの理論に加え、「活用する実践的技術」や「応用して問題を解決できる能力」を身に付け、地域や国内はもとより世界の持続的発展に「食の重要性」と「生命の尊さ」をもって貢献できる人材を養成することです。
	農学科	農学部農学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、実験・実習を通じて直接植物に触れ、地域の自然や農業に接する体験型の教育を通して、「地域の持続的発展に貢献するための食料生産に関する専門的知識を実践的に身に付けていくこと」に加え、刻々と変化していく社会に対して「確固たる自然観や生命観を有し、揺るぎなく進むべき道筋を見出す創造性」、「自然環境の保全や人類の未来に対して、責任ある社会貢献を継続できる態度と能力」を身に付けた豊かな人材を養成することです。
	動物科学科	農学部動物科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、生産科学、動物生命科学、人と動物との共生科学に関する確かな専門知識を持ち、地域の生態系や文化を理解し、持続的かつ安全な動物生産、動物にかかわる新たな技術開発、科学的根拠に基づく人と動物との適正な関係の創出を目指して、実践的な対処・解決の方策を導き出せる力と、複眼的な視点に基づく倫理観を持って責任ある社会貢献ができる人材を養成することです。
	食生命科学科	農学部食生命科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、生命現象を科学的に理解し、より良い食品の創造と食を通じた健康について考える力を培うために、「食健康科学・予防医学」、「発酵・食品加工学」及び「生命科学」における専門知識と新しい技術を修得するとともに、様々な課題に対応できる解決能力と向上心や協調性を併せ持つ人材を養成することです。

学部名	学科名	学部・学科の教育研究上の目的及び養成する人材像
国際文化学部		国際文化学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人文科学、社会科学に関する高度な専門的知識に加え、環境適応力、人間関係構築力、高度な外国語運用能力をもち、国籍や文化の差異を超越して良好かつ平和な人間関係を構築できる「国境なき社会人」としての資質をもった人材を養成することです。
	地域創造学科	国際文化学部地域創造学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、学部が掲げるディプロマ・ポリシーである「国境なき社会人の育成」を実現するため、人間同士の結びつきが生み出す身近な社会である「地域」を基本単位として、国際的な視野から地域の発展に資する人材を養成することです。
	国際コミュニケーション学科	国際文化学部国際コミュニケーション学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、高度な外国語運用能力を有し、貧困、環境、健康といったユニバーサルな課題に対する理解を深め、当該課題の解決に対して主体的に取り組むことができる人材を養成することです。
生物学部		生物学部の教育研究上の目的は、建学の精神及びそれらを具現化した4つの力を踏まえ、人類が培ってきた文化・文明と自然・地球環境を一体とした視野を持ち、生物多様性の保全、生物資源の持続可能な利用を目指す行動型国際人であり、さらに地球と人類の抱える諸問題に対して、陸上と海洋のフィールドにおける理解を深め、文理融合の学際的知識と化学物質から生態系に至る専門知識・技術を主体的・複眼的に活用して、自ら課題に取り組み解決する能力をもった人材を養成することです。
	生物学科	生物学部生物学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、分子・細胞レベルから個体群・生態系レベルに至る広範な生物学と生物に関する知識と技術を修得し、社会の中で率先して生物の持続的利用と自然環境維持に貢献できる実践力をもつ人材を養成することです。そのため、生命倫理を理解し、自然の成り立ちと人類の関わり方を考える態度の醸成を目指します。そして、実験・実習とフィールド調査等を通じて、生物の機能を総合的に解明して応用できる能力をのばします。
	海洋生物科学科	生物学部海洋生物科学科の教育研究上の目的は、大学・学部の教育目的に沿って、海洋生物やそれを取り巻く環境に関わる知識と技術を修得し、社会の中で率先して生物の持続的利用と自然環境維持に貢献できる実践力をもつ人材を養成することです。

別表2 入学定員及び収容定員

学部	学科・専攻		入学定員	収容定員
文学部	文明学科		60	240
	歴史学科	日本史専攻	50	200
		西洋史専攻	50	200
		考古学専攻	30	120
	日本文学科		90	360
	英語文化コミュニケーション学科		90	360
計		370	1480	
文化社会学部	アジア学科		70	280
	ヨーロッパ・アメリカ学科		70	280
	北欧学科		60	240
	文芸創作学科		60	240
	広報メディア学科		100	400
	心理・社会学科		90	360
計		450	1800	
教養学部	人間環境学科		120	480
	芸術学科		70	280
	計		190	760
児童教育学部	児童教育学科		150	600
	計		150	600
体育学部	体育学科		120	480
	競技スポーツ学科		170	680
	武道学科		60	240
	生涯スポーツ学科		120	480
	スポーツ・レジャーマネジメント学科		70	280
	計		540	2160
健康学部	健康マネジメント学科		200	800
	計		200	800
法学部	法律学科		300	1200
	計		300	1200
政治経済学部	政治学科		200	800
	経済学科		200	800
	計		400	1600
経営学部	経営学科		230	920
	計		230	920
国際学部	国際学科		200	800
	計		200	800
観光学部	観光学科		200	800
	計		200	800
情報通信学部	情報通信学科		240	960
	計		240	960
理学部	数学科		80	320
	情報数理学科		80	320
	物理学科		80	320
	化学科		80	320
	計		320	1280
情報理工学部	情報科学科		100	400
	コンピュータ応用工学科		100	400
	情報メディア学科		100	400
	計		300	1200
建築都市学部	建築学科		240	960
	土木工学科		100	400
	計		340	1360
工学部	航空宇宙学科	航空宇宙学専攻	90	360
		航空操縦学専攻	50	200
		計	140	560
	機械工学科		140	560
	機械システム工学科		140	560
	電気電子工学科		120	480
	医工学科		80	320
	生物工学科		100	400
	応用化学科		100	400
	計		820	3280

学部	学科・専攻		入学定員	収容定員
医学部	医学科		110	660
	看護学科		95	380
	計		205	1040
海洋学部	海洋理工学科	海洋理工学専攻	130	520
		航海学専攻	20	80
	水産学科		120	480
	海洋生物学科		80	320
	計		350	1400
人文学部	人文学科		180	720
	計		180	720
文理融合学部	経営学科		130	520
	地域社会学科		100	400
	人間情報工学科		70	280
	計		300	1200
農学部	農学科		80	320
	動物科学科		80	320
	食生命科学科		70	280
	計		230	920
国際文化学部	地域創造学科		110	440
	国際コミュニケーション学科		80	320
	計		190	760
生物学部	生物学科		75	300
	海洋生物科学科		75	300
	計		150	600
合計			6855	27640

別科	課程・専修	入学定員	収容定員
	日本語研修課程	200	200
	声楽専修	6	18
	器楽専修	3	9
	彫刻専修	10	30
	工芸専修	10	30
	絵画専修	10	30
	計	239	317

東海大学 学費一覧表 (令和6年度)

単位:円

	学年	文学部		文化社会学部		教養学部				
		考古学 専攻	考古学 専攻以外	広報メディア 学科、心理・ 社会学科	広報メディア 学科、心理・ 社会学科 以外	人間環境 学科 (社会環境 課程)、国際 学科	人間環境 学科 (自然環境 課程)	芸術学科 (音楽学 課程)	芸術学科 (美術学 課程)	芸術学科 (デザイン 学課程)
入学金	1年	200,000	200,000	200,000	200,000					
授業料	1年	1,216,000	1,216,000	1,216,000	1,216,000					
	2年	1,216,000	1,216,000	1,216,000	1,216,000					
	3年	1,216,000	1,216,000	1,216,000	1,216,000					
	4年	770,000	770,000	770,000	770,000	855,000	855,000	855,000	855,000	855,000
	5年									
	6年									
教育運営費	1年									
	2年									
	3年									
	4年	157,000	146,000	157,000	146,000	157,000	199,000	448,000	309,000	309,000
	5年									
	6年									
実習実技費	1年									
	2年									
	3年									
	4年							50,000	20,000	
	5年									
	6年									
教育充実費	1年									
	2年									
	3年									
	4年									
	5年									
	6年									
施設設備費	1年									
	2年									
	3年									
	4年	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
	5年									
	6年									
合計	1年	1,416,000	1,416,000	1,416,000	1,416,000					
	2年	1,216,000	1,216,000	1,216,000	1,216,000					
	3年	1,216,000	1,216,000	1,216,000	1,216,000					
	4年	1,177,000	1,166,000	1,177,000	1,166,000	1,262,000	1,304,000	1,603,000	1,434,000	1,414,000
	5年									
	6年									

単位:円

	学年	教養学部 (令和4年度以降)		児童教育 学部	体育学部		健康学部	法学部	政治経済 学部(令 和4年度 経営学科 を除く)	経営学部 (令和4年 度以降)	国際学部
		人間環境 学科	芸術学科		生涯 スポーツ 学科	生涯 スポーツ 学科以外					
入学金	1年	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
授業料	1年	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,216,000	1,227,000	1,227,000	1,227,000
	2年	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,216,000	1,227,000	1,227,000	1,227,000
	3年	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,216,000	1,227,000	1,227,000	1,227,000
	4年				821,000	821,000	770,000	770,000	770,000		
	5年										
	6年										
教育運営費	1年										
	2年										
	3年										
	4年				157,000	157,000	157,000	146,000	157,000		
	5年										
	6年										
実習実技費	1年										
	2年				55,000						
	3年										
	4年										
	5年										
	6年										
教育充実費	1年										
	2年										
	3年										
	4年										
	5年										
	6年										
施設設備費	1年										
	2年										
	3年										
	4年				250,000	250,000	250,000	250,000	250,000		
	5年										
	6年										
合計	1年	1,469,000	1,469,000	1,469,000	1,469,000	1,469,000	1,469,000	1,416,000	1,427,000	1,427,000	1,427,000
	2年	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,324,000	1,269,000	1,269,000	1,216,000	1,227,000	1,227,000	1,227,000
	3年	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,269,000	1,216,000	1,227,000	1,227,000	1,227,000
	4年				1,228,000	1,228,000	1,177,000	1,166,000	1,177,000		
	5年										
	6年										

単位:円

	学年	観光学部	情報通信学部 (令和4年度以降は情報通信学科のみ)	理学部	情報理工学部 (令和4年度以降情報メディア学科を含む)	建築都市学部	工学部		医学部	
							航空操縦学専攻 (注)	航空操縦学専攻以外 (令和4年度以降建築学科、土木工学科を除く)	医学科	看護学科
入学金	1年	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	1,000,000	200,000
授業料	1年	1,227,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,655,000	1,354,000	2,148,000	1,379,000
	2年	1,227,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,655,000	1,354,000	2,148,000	1,379,000
	3年	1,227,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,655,000	1,354,000	2,148,000	1,379,000
	4年	770,000	855,000	855,000	855,000		855,000	855,000	2,148,000	855,000
	5年								2,148,000	
	6年								2,148,000	
教育運営費	1年								632,000	
	2年								632,000	
	3年								632,000	
	4年	157,000	199,000	199,000	199,000		600,000	199,000	632,000	199,000
	5年								632,000	
	6年								632,000	
実習実技費	1年									
	2年									
	3年									
	4年									
	5年									
	6年									
教育充実費	1年								520,000	
	2年								840,000	
	3年								840,000	
	4年								840,000	
	5年								840,000	
	6年								840,000	
施設設備費	1年								2,100,000	
	2年								2,100,000	
	3年								2,100,000	
	4年	250,000	250,000	250,000	250,000		250,000	250,000	2,100,000	250,000
	5年								2,100,000	
	6年								2,100,000	
合計	1年	1,427,000	1,554,000	1,554,000	1,554,000	1,554,000	1,855,000	1,554,000	6,400,000	1,579,000
	2年	1,227,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,655,000	1,354,000	5,720,000	1,379,000
	3年	1,227,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,354,000	1,655,000	1,354,000	5,720,000	1,379,000
	4年	1,177,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000		1,705,000	1,304,000	5,720,000	1,304,000
	5年								5,720,000	
	6年								5,720,000	

(注) 留学費用等は別途個人で支払うものとする。

単位:円

	学年	海洋学部(令和3年度入学生まで)			海洋学部 (令和4年度入学生 より)	人文学部	経営学部	基盤工学 部	文理融合 学部	農学部	国際文化 学部
		海洋文明 学科	環境社会 学科	海洋文明学 科、環境社 会学科以外							
入学金	1年				200,000	200,000			200,000	200,000	200,000
授業料	1年				1,354,000	1,216,000			950,000	1,345,000	1,107,000
	2年				1,354,000	1,216,000			950,000	1,345,000	1,107,000
	3年				1,354,000	1,216,000			950,000	1,345,000	1,107,000
	4年	770,000	770,000	855,000			600,000	785,000		785,000	700,000
	5年										
	6年										
教育運営費	1年										
	2年										
	3年										
	4年	146,000	157,000	199,000			150,000	199,000		199,000	157,000
	5年										
	6年										
実習実技費	1年				81,000						
	2年				81,000						
	3年				81,000						
	4年	81,000	81,000	81,000							
	5年										
	6年										
教育充実費	1年										
	2年										
	3年										
	4年										
	5年										
	6年										
施設設備費	1年										
	2年										
	3年										
	4年	250,000	250,000	250,000			200,000	250,000		250,000	250,000
	5年										
	6年										
合計	1年				1,635,000	1,416,000			1,150,000	1,545,000	1,307,000
	2年				1,435,000	1,216,000			950,000	1,345,000	1,107,000
	3年				1,435,000	1,216,000			950,000	1,345,000	1,107,000
	4年	1,247,000	1,258,000	1,385,000			950,000	1,234,000		1,234,000	1,107,000
	5年										
	6年										

単位:円

	学年	生物学部	
		生物学科	海洋生物科学科
入学金	1年	200,000	200,000
授業料	1年	1,234,000	1,234,000
	2年	1,234,000	1,234,000
	3年	1,234,000	1,234,000
	4年	785,000	785,000
	5年		
	6年		
教育運営費	1年		
	2年		
	3年		
	4年	199,000	199,000
	5年		
	6年		
実習実技費	1年		40,000
	2年		41,000
	3年		
	4年		
	5年		
	6年		
教育充実費	1年		
	2年		
	3年		
	4年		
	5年		
	6年		
施設設備費	1年		
	2年		
	3年		
	4年	250,000	250,000
	5年		
	6年		
合計	1年	1,434,000	1,474,000
	2年	1,234,000	1,275,000
	3年	1,234,000	1,234,000
	4年	1,234,000	1,234,000
	5年		
	6年		

学則の変更の趣旨等を記載した書類 医学部医学科

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

医学部医学科の入学定員 110 名、収容定員 660 名について、2024（令和 6）年度から 2029（令和 11）年度までの入学定員及び収容定員は次の通りとする。

年度	2024(令和 6)年度	2025(令和 7)年度	2026(令和 8)年度	2027(令和 9)年度	2028(令和 10)年度	2029(令和 11)年度
入学定員	118	110	110	110	110	110
収容定員	708	700	692	684	676	668

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

救急医療の整備、産科・小児科の医師不足対策、病院勤務医の就労環境の改善等を目的として、「経済財政改革の基本方針 2008」（平成 20 年 6 月 27 日閣議決定、以下「骨太の方針 2008」）により、従来の閣議決定に代わる新たな医師養成の在り方を確立する方針が明示された。この骨太の方針 2008 に基づき、本学医学部医学科において、2009 年度より入学定員を 110 名とし、これらの対策の実現を図ってきた。

その後、「新成長戦略」（平成 22 年 6 月 18 日閣議決定）により、地域医師確保の必要性に関する方針が示されたことにより、地域医療を担う医師の養成を図ることを目的として、神奈川県の実施する地域医療再生計画と連携し、2012 年度より入学定員を 113 名、2014 年度より入学定員を 115 名とした。

さらに、静岡県から本学医学部に対し、地域の医師確保を目的とした定員増（地域枠）の設定について打診がなされ、協議を重ねた結果、静岡県における医療環境（医師不足状況）の現状を鑑み、静岡県と連携し、2016 年度より入学定員を 118 名に変更した。

（2023 年度まで）

このたび、政府の決定を受け、神奈川県・静岡県と協議の結果、現状の地域医師確保を目的とした 2023 年度までの措置である入学定員 118 名について、2024 年度まで継続する。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の収容定員の変更に伴い、教育課程、教育方法及び履修指導方法、教員組織、施設・設備に変更は生じない。

エ 2 以上の校地において教育研究を行う場合の具体的計画

本学医学部医学科の学生は、1 年次の春学期のみ次の体制で授業を受講する。

週の 2 日（月曜・木曜）と半日（水曜午前）は、湘南校舎（神奈川県平塚市）におい

て教養科目（「現代教養講義」を除く科目区分Ⅰ～Ⅲ）を受講し、週の残り2日（火曜・金曜）と半日（水曜午後）は、伊勢原校舎（神奈川県伊勢原市）において、教養科目（「現代教養講義」のみ）及び専門科目（科目区分Ⅳ）を受講する。

1年次の秋学期以降は、すべて伊勢原校舎での授業となる。

以上の体制により、医学部医学科の校舎ごとの収容定員は、湘南校舎118名、伊勢原校舎708名である。

また、湘南校舎で開講される教養科目は、すべて湘南校舎所属の教員が授業を担当し、専門科目は、すべて医学部がある伊勢原校舎所属の教員が授業を担当することから、医学部医学科教員の校舎間移動は生じない。

医学部医学科の学生について、1年次の春学期水曜日のみ校舎間移動が生じるが、湘南校舎・伊勢原校舎間は電車で2駅の距離であり、移動時間として150分間を確保して午後の授業を開始することから、教育に支障のない体制となっている。

以 上

令和6年度
医学部入学定員増員計画

MCO23-3C13号

令和5年8月18日

文部科学省高等教育局長 殿

学校法人東海大学

理事長 松前 義昭

「地域の医師確保等の観点からの令和6年度医学部入学定員の増加について（令和5年8月8日文部科学省高等教育局長・厚生労働省医政局長通知）」を受けて、標記に関する資料を提出します。

<連絡先>

責任者連絡先	職名・氏名	メディカルサイエンスカレッジオフィス 課長 齊藤 成広
	TEL	0463-93-1121 内線4035
	FAX	0463-93-1157
	E-mail	prtokai@tsc.u-tokai.ac.jp

大学名	国公立
東海大学	私立

1. 現在（令和5年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
118	0	0	708

↑
(収容定員計算用)

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	計
(ア) 入学定員	118	118	118	118	118	118	708
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	118	118	118	118	118	118	708

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和6年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	660

↑
(収容定員計算用)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
(ア) 入学定員	110	110	110	110	110	110	660
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	110	110	660
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和6年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
118	0	0	668

↑
(収容定員計算用)

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	計
(ア) 入学定員	118	110	110	110	110	110	668
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	118	110	110	110	110	110	668
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 8

↑
(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	8
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	8

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 8

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

	都道府県名	増員希望人数
大学が所在する都道府県	神奈川県	5
	静岡県	3
大学所在地以外の都道府県		
計		8

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R4地域枠定員 (※1)	R4貸与者数 (※2)	R5地域枠定員 (※1)	R5貸与者数 (※2)	R4とR5の貸与 者数のうち多い 方の数
神奈川県	5	5	5	5	5
静岡県	3	3	3	3	3
					0
					0
					0
					0
計	8	8	8	8	8

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和6年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和4年度に実施した地域枠学生(令和5年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の限定の有無	(診療科の限定(推奨)がある場合)その診療科名	開始年度	備考
			うち臨時定員分							
医学部神奈川 県地域枠選抜	(iii) 一般選抜 地域枠(前期・ 後期)	別枠(区別 型)	5		第一次選考 本学所定の書類による書類審査、学科試験(大学入学共通テスト利用) <学科試験> 「英語」(リーディング、リスニングの双方を解答する)、 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」、 「物理」・「化学」・「生物」から2科目選択 第二次選考 小論文、面接試験(2回)	次の1.～3.のいずれかに該当し、かつ、医学部神奈川県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、神奈川県が定める県内出身者の条件(※)を満たし、卒業後、一定期間、神奈川県指定する地域医療機関への従事を希望する者。また、医学部静岡県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、一定期間、静岡県の指定する地域医療機関への従事を希望する者。 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2023年3月修了見込みの者。 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもので2023年3月31日までに18歳に達するもの。 (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。 ※【 神奈川県が定める県内出身者の条件】 次のいずれかに該当する者 (イ) 大学入学した時点において、神奈川県内に1年以上居住したことがある者。 (ロ) 神奈川県内に所在する高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。	有	産科 産科の診療を行なう人科を含む。)、小児科、麻酔科、外科※、内科、救急科、脳神経外科及び総合診療を担う科 ※外科とは、日本専門医機構の外科の基本領域とし、具体的には外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳癌外科、消化器外科、小児外科、内分必、甲冑外科がこれに当たります。	H24	
医学部静岡県 地域枠選抜	(iii) 一般選抜 地域枠(前期・ 後期)	別枠(区別 型)	3		第一次選考 本学所定の書類による書類審査、学科試験(大学入学共通テスト利用) <学科試験> 「英語」(リーディング、リスニングの双方を解答する)、 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」、 「物理」・「化学」・「生物」から2科目選択 第二次選考 小論文、面接試験(2回)	次の1.～3.のいずれかに該当し、かつ、医学部静岡県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、一定期間、静岡県指定する地域医療機関への従事を希望する者。 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2023年3月修了見込みの者。 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもので2023年3月31日までに18歳に達するもの。 (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。 ※【 静岡県が定める県内出身者の条件】 次のいずれかに該当する者 (イ) 大学入学した時点において、静岡県内に1年以上居住したことがある者。 (ロ) 静岡県内に所在する高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。	無		H28	
合計			8	8						

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

②令和5年度に実施する地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の限定の有無	(診療科の限定(推奨)がある場合)その診療科名	開始年度	備考
			うち臨時定員分							
医学部神奈川県地域枠選抜	(iii)一般選抜地域枠(前期、後期)	別枠(区別型)	5	5	第一次選考 本学所定の書類による書類審査、学科試験(大学入学共通テスト利用) <学科試験> 「英語」(リーディング、リスニングの双方を解答する)、 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」、 「物理」・「化学」・「生物」から2科目選択 第二次選考 小論文、面接試験(2回)	次の1.～3.のいずれかに該当し、かつ、医学部神奈川県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、神奈川県が定める県内出身者の条件(※)を満たし、卒業後、一定期間、神奈川県内の指定する地域医療機関への従事者希望する者。また、医学部静岡県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、一定期間、静岡県の指定する地域医療機関への従事者希望する者。 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者。 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月修了見込みの者。 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2024年3月修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2024年3月31日までに合格見込みの者で、2024年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもので2024年3月31日までに18歳に達するもの。 (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。 ※【神奈川県が定める県内出身者の条件】次のいずれかに該当する者 (イ) 大学入学した時点において、神奈川県内に1年以上居住したことがある者。 (ロ) 神奈川県内に所在する高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者。	有	産科(産科の診療を行う産婦人科を含む)、小児科、麻酔科、外科、内科、救急科、脳神経外科及び総合診療を担う科 ※外科とは、日本専門医機構の外科の基本領域とし、具体的には外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳癌外科、消化器外科、小児外科、内分泌・甲狀腺外科がこれに当たります。	H24	
医学部静岡県地域枠選抜	(iii)一般選抜地域枠(前期、後期)	別枠(区別型)	3	3	第一次選考 本学所定の書類による書類審査、学科試験(大学入学共通テスト利用) <学科試験> 「英語」(リーディング、リスニングの双方を解答する)、 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」、 「物理」・「化学」・「生物」から2科目選択 第二次選考 小論文、面接試験(2回)	次の1.～3.のいずれかに該当し、かつ、医学部神奈川県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、神奈川県が定める県内出身者の条件(※)を満たし、卒業後、一定期間、神奈川県内の指定する地域医療機関への従事者希望する者。また、医学部静岡県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、一定期間、静岡県の指定する地域医療機関への従事者希望する者。 1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者。 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2024年3月修了見込みの者。 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。 (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。 (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者。 (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2024年3月修了見込みの者。 (4) 文部科学大臣の指定した者。 (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2024年3月31日までに合格見込みの者で、2024年3月31日までに18歳に達するもの(大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。 (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもので2024年3月31日までに18歳に達するもの。 (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。 ※【神奈川県が定める県内出身者の条件】次のいずれかに該当する者 (イ) 大学入学した時点において、神奈川県内に1年以上居住したことがある者。	無		H28	
合計			8	8						

(※1) 貴大学において、PRのために作成した文書(リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等)に記載の内容(貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容)をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒業に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和6年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

1年次は「早期医学実習」の科目において院内配属の実習、2年次に「人間関係学」において、「福祉施設実習」を組み込んでおり、全員が地域施設への配属実習を体験する。2～3年次には、医学専門選択科目で「僻地医療の実態」を開設しており、希望者が履修できるようにしている。3年次では「社会医学1」において、地域保健や地域医療を学び、5年次の「5年次がニカルクラークシップ」においては、地域の市中病院に協力を	（参考：記入例） 1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和4年度からは、■●を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。
---	--

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成24年度から神奈川県地域枠で3名の増員を開始し、平成26年度に5名に増員、平成27年度から静岡県地域枠として3名の増員を実施してきた。令和5年度までに73名の地域枠学生を確保し、28名が卒業。そのうち22名が現在、神奈川県及び静岡県の施設で医師として勤務し、地域医療に貢献している。	（参考：記入例） 平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■●などの取組を行ってきた。令和4年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。
---	--

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 （※1）	必修／選択の別		講義／実習の別	単位数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1年	早期医学実習	全員	必修	必修	実習	2	R4
2年	大卒後研修等	全員	必修	必修	実習	1	H21以前
2・3年	福祉施設実習	全員	選択	選択	講義	1	H21以前
3年	社会医学1	全員	必修	必修	講義	5	H28
5年	5年次がニカルクラークシップ	全員	必修	必修	実習	2	R2
6年	遠く臨床実習（医師会コース、市中病院コース、在宅医療コース）	全員	選択必修	選択必修	実習	最大240時間	H21以前

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみ場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 （※1）	都道府県との連携	期間 （例：○週間）	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。（令和4年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度

※空欄がある場合は、何も記入せずにご提出ください。

2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。
なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定主体	貸与人数	貸与対象	貸与額（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の限定の有無	（診療科の限定（推奨）がある場合）その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の問与の有無（※1）			
神奈川県	5	新入生	100,000	7,200,000	大学卒業後、神奈川県内の臨床研修病院で初期臨床研修を受け、指定された期間（初期臨床研修を含む9年間）勤務することにより、貸付された修学研修資金金額の返還が免除されます。（神奈川県キャリア形成プログラム）	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	有	産科（産科の診療を行う産婦人科を含む。）、小児科、麻酔科、外科※、内科、救急科、脳神経外科及び総合診療を担う科 ※外科とは、日本専門医機構の外科の基本領域とし、具体的には外科、呼吸器外科、心血管外科、乳癌外科、消化器外科、小児外科、内分泌・甲状腺外科がこれに当たります。	大学教員が地域医療の観点で面接試験を実施
静岡県	3	新入生	200,000	14,400,000	大学卒業後、静岡県内の臨床研修病院で初期臨床研修を受け、初期臨床研修件数を含む指定された期間（履行期限16年のうち9年間）静岡県内病院に勤務することにより、貸付された修学研修資金金額の返還が免除されます。（静岡県キャリア形成プログラム）	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	無		大学教員が地域医療の観点で面接試験を実施

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
県内医師との交流会（神奈川県）	主に在学1年次、6年次を対象に、将来地域医療を担う医師となる	H27
自治医大夏期研修報告会（神奈川県）	主に在学2年次を対象に、地域医療を担う修学生同士の仲間意識	H29
病院見学（神奈川県、静岡県）	主に在学3年次、4年次を対象に、地域医療を担う人材育成のため	H30

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

3. その他

1～2に記入したものを以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

県と協力しながら、これまでも全学年に展開している学内カリキュラム・企画、学外企画を更に充実させ、地域医療に従事する者の確保と継続的な意識向上に努める。

2. 研究医養成のための入学定員増について

増員希望人数

(1) 令和6年度研究医養成のための入学定員増について 大学が講ずる措置

※令和5年度までの取組を継続して行う場合には、必要に応じて見直しを行ったうえで、当該取組も記載すること。

1. コンソーシアムの形成

①以下をご記入ください。複数のコンソーシアムを形成している場合には、コンソーシアムごとにご記入ください。

	連携大学	取組の概要（1～3行程度）	(連携先大学が研究医枠による増員を行っている場合) 連携大学との役割分担（※1）	開始年度
No.1				
No.2				
No.3				

2. 特別コース（※）の設定

（※）「特別コース」とは、学部・大学院教育を一貫して見通した研究医養成のための重点的プログラムを指します。

①特別コースの概要について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。その際、平成22年度～令和5年度に実施した取組で継続して行うもののほか、令和6年度に新たに行おうとする取組についてもご記入ください。

（選抜の時期、授業内容、特別コースに入ることにより大学院進学が促進される仕組み（MD-PhD、単位の先行履修、論文認定、キャリア支援の取組など）

--

（参考：記入例）

MD-PhDコースや▲年次での大学院進学を促すとともに、○年次に選抜を行い、「○○」という科目等を開講して～～を学んでいる。学部・大学院での一貫した研究を促すため、△△、□□を行っている。またキャリア支援として、～～を実施している。令和5年度からは、■ ■を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②研究医養成のための一貫した特別コースについて、以下をご記入ください。併せて、概要がわかる資料をご提出ください。

選抜の時期（※1）	コースの名称	年次	募集定員（※2）	大学院への進学時期（※3）	開始年度	備考
選抜入試						
特定の学年次に希望者を募集						
その他（備考欄に詳細を記入）						

（※1）複数段階に分けて選抜を行っている場合には、該当する全てに○をご記入ください。

（※2）最低人数を定めている場合には、「○名以上」という形でご記入ください。

（※3）特別コースの学生の大学院進学時期について全てご記載ください。（例：5年次（MD-PhD）／卒後直後に進学／卒後、臨床研修後に進学／卒後、臨床研修と並行して進学）

③研究医養成のための選抜入試について、以下をご記入ください。

研究医養成のために特別な入試を実施しているか。

（「○」を選択した場合）以下をご記入するとともに、募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	募集人数		選抜方法（※1）	開始年度	備考
			うち臨時定員分			
合計		0	0			

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

④研究医養成のための教育内容（正規科目）について、以下をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実 習の別	単位数	開始年度
			研究医コース 学生	その他の 学生			

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。(研究医コース学生の希望者のみの場合は、対象者を「研究医コース学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。)

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑤大学の正規科目以外で、研究医養成プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	期間 (例：○週)	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「研究医コース学生」「全員」のうちから選択ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑥特別コースに関する取組のうち、以下の項目に関連するものについてご記入ください。なお、必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

（項目：専用の入試枠の設定による選抜の実施、学生が研究活動を実施するために必要となる研究費の予算措置、学生の学会発表、論文発表の機会の設定及び指導体制の構築、臨床研修により研究活動が中断されることのないようにするための配慮、研究医となった際の常勤ポストの確保、海外での研修の機会（1か月以上））

（項目）	概要（1～2行程度）	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑦上記②～⑥以外に、研究医養成の特別コースに関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。

（令和5年度以前から継続する取組を含む）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

⑧特別コースの履修者の確保状況について、以下をご記入ください。

	R3	R4	R5	直近3年間の平均
人数（名）				#DIV/0!

※当該年度の新規履修者のみを計上してください。

3. 奨学金の設定

①卒後一定期間の研究医としての従事を要件とする奨学金の設定について、以下をご記入ください。

複数の奨学金を設定している場合には、それぞれについてご記入ください。

	名称	設定主体 (例：大 学、〇〇財)	給付／貸与 の別	支給対象	募集人数	選抜の有無	支給期間 (例：大学院1～3年次 (3年間))
No.1							
No.2							
No.3							

(続き)

	支給額 (例：200,000)		返還免除要件	開始年度	備考
	月額	総支給額			
No.1					
No.2					
No.3					

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

(2) 研究医養成拠点として相応しい実績

①-1. 継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(入学年度)	R3	R4	R5	直近3年間の平均
基礎・社会系大学院進学者数 (【A】)				#DIV/0!
臨床系大学院進学者数 (【B】)				#DIV/0!

(博士課程修了年度)	R2	R3	R4	直近3年間の平均
【A】の修了者数 (【C】)				#DIV/0!
【B】のうち、基礎・社会学系の論文 (又は共著論文) を執筆した修了者数 (【D】)				#DIV/0!
合計	0	0	0	0

①-2. その他、継続的に大学院生を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)

②-1. 継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績について、以下をご記入ください。

(博士課程修了年度)	R2	R3	R4	直近3年間の平均
【C】【D】のうち、基礎・社会学研究分野の就職者数				#DIV/0!
【C】【D】のうち、臨床系に就職したが基礎・社会学研究に従事する者等の数 (※1)				#DIV/0!
合計	0	0	0	0

(※1) 一度臨床系 (基礎系以外) に進んだものの実態としては研究に従事している又は従事する見込みがある者の数。

(例: 臨床医として働きながら研究活動を行っている者、常勤ポストではないが大学の身分を有し研究活動を行っている者、現在臨床医として勤務しているが将来的に研究に従事する意思を大学が確認している者)

②-2. その他、継続的に研究医を輩出してきた客観的な実績があれば、簡潔にご記入ください。(1~3行程度)



③大学教育改革の支援に関する補助事業の採択実績等

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

採択事業名	採択年度 (○年度 ～○年 度)	概要(1～3行程度)

④他大学と比較した際に研究医養成拠点として相応しいと考えられる客観的な実績(科学研究費採択率等)

※必要に応じて内容がわかる資料をご提出ください。

概要(1～3行程度)

(3) 過去に研究医枠による入学定員増を実施した場合の令和5年度における状況

①過去に入学定員増を実施した際に計画していた研究医養成に関する取組について、その有効性が高いことを確認している旨を、確認方法等とともにご記入ください。

(例：第三者による評価、学内委員会による評価)

--

大学別医学部入学定員一覧

大学名	属性 (国公私)	R5年度定員	本増員計画による 入学定員増を行わ ない場合の令和4 年度の入学定員	R6年度 増員数	R6年度 定員 (計画)
東海大学	私立	118	110	8	118

大学名	令和5年度定員	本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和6年度の入学定員	令和6年度増員計画			令和6年度定員(計画)	令和6年度増員計画	
			増員数	都道府県ごとの内訳			教育内容の概要	
東海大学	118	110		地域枠	8	神奈川県	5	118
			静岡県			3		
			0			0		
			0			0		
			0	0				
研究医枠	0			0				

2023

東海大学 入学試験要項

- 一般選抜 [医学部医学科]
- 大学入学共通テスト利用選抜 [医学部医学科]
- 医学部神奈川県地域枠選抜 ※申請予定
(大学入学共通テスト利用型)
- 医学部静岡県地域枠選抜 ※申請予定
(大学入学共通テスト利用型)



建学の精神

創立者松前重義は、青年時代に「人生いかに生きるべきか」について思い悩み、内村鑑三の研究会を訪ね、その思想に深く感銘を受けるようになりました。特にデンマークの教育による国づくりの歴史に啓発され、生涯を教育に捧げようと決意して「望星学塾」を開設しました。ここに東海大学の学園の原点があります。

創立者松前はこの「望星学塾」に次の四つの言葉を掲げました。

若き日に汝の思想を培え
若き日に汝の体軀を養え
若き日に汝の智能を磨け
若き日に汝の希望を星につなげ

ここでは、身体を鍛え、知能を磨くとともに、人間、社会、自然、歴史、世界等に対する幅広い視野をもって、一人ひとりが人生の基盤となる思想を培い、人生の意義について共に考えつつ希望の星に向かって生きていこうと語りかけています。

本学園は、このような創立者の精神を受け継ぎ、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を育てることにより、「調和のとれた文明社会を建設する」という理想を高く掲げ、歩み続けていきます。

アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」と教育理念に共鳴する以下の者を国内外から広く受け入れます。

1. 大学で学ぶに相応しい学力を有し、明日の歴史を担う強い使命感のある者
2. 豊かな心と健やかな体の育成に努めると共に、自分の個性を伸ばす意志のある者
3. 時代の変化に合わせて積極的に社会を支え、社会に貢献する志のある者

■ アドミッションポリシー

東海大学は、「建学の精神」に基づき、専門だけにとらわれることなく幅広い視野をもち、自ら考えることで未来を切り拓く多様な人材の育成を目指しています。東海大学はこのことに共鳴し自ら学ぶ意欲をもった人を求めています。

「一般選抜」は、「建学の精神」「アドミッションポリシー」を十分に理解していただき、基礎学力を評価する入学試験です。この入学試験では、志望する学部・学科・専攻に関連する学力に優れているかについて、文理融合教育を行う建学の精神を踏まえて、英語・国語・数学・理科・社会等の多様な基礎学力を身につけているかを入学後の皆さんへの期待度とともに総合的に判断して、入学者を選抜します。

■ 医学部医学科のアドミッションポリシー

強い使命感をもち、医学科の教育研究上の目的及び養成する人材像を理解し、これらを達成するために自ら学ぶ意欲を持った人を求めます。

- 求める学生像

医学科で定めている学位授与のために求められている能力を身に付けることができることが期待でき、基礎学力が十分にある人材。

- 医学科の入学者に求める知識・技能・思考力・判断力・表現力・態度

(1)知識・技能

英語では、高校での英語の科目を通して英語の文章理解力、表現力、コミュニケーション能力を身につけておくことが望ましい。

数学では、高校での数学の科目の履修を通して公式や計算方法を理解した上で、それらを応用できる能力を身につけておくことが望ましい。

理科では、高校での理科（物理、化学、生物）の科目の中から数科目を選択し、個々の項目の内容を理解していることが望ましい。

(2)思考力・判断力・表現力

他者の意見を傾聴でき、自身の知識・体験を通じて共感でき、相手を尊重しながら自身の考えを発信できる能力を身につけていることが望ましい。

(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

周囲と協調しながら、目標に向かって継続した努力や挑戦する姿勢を持てることが望ましい。

所在地 (2023年度入学生の各学部・大学院の授業校舎は下記のとおりです)

湘南校舎

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

電話：0463-58-1211 (代表)

文学部・文化社会学部・教養学部・児童教育学部・体育学部・健康学部・法学部・政治経済学部・経営学部・国際学部・観光学部・情報通信学部・理学部・情報理工学部・建築都市学部・工学部

大学院文学研究科・政治学研究科・経済学研究科・法学研究科・人間環境学研究科・芸術学研究科・体育学研究科・健康学研究科・理学研究科・工学研究科 (医用生体工学専攻を除く)

② 政治経済学部の3年次 (第5セメスター) 以降の科目については、**高輪*** 渋谷校舎において授業を行います。

*当初、渋谷校舎で案内をしておりましたが、高輪校舎に変更となりました。

② 経営学部・国際学部・観光学部・情報通信学部の3年次 (第5セメスター) 以降の科目については、高輪校舎において授業を行います。

② 工学部医工学科の3年次 (第5セメスター) 以降の科目については、伊勢原校舎において授業を行います。

渋谷校舎

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4

電話：03-3467-2211 (代表)

高輪校舎

〒108-8619 東京都港区高輪2-3-23

電話：03-3441-1171 (代表)

大学院情報通信学研究科

伊勢原校舎

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143

電話：0463-93-1121 (代表)

医学部

大学院医学研究科・工学研究科医用生体工学専攻

② 医学部の主専攻科目以外の科目については、湘南校舎において授業を行います。

清水校舎

〒424-8610 静岡県静岡市清水区折戸3-20-1

電話：054-334-0411 (代表)

海洋学部・人文学部

大学院海洋学研究科

熊本校舎

〒862-8652 熊本県熊本市東区渡鹿9-1-1

電話：096-382-1141 (代表)

文理融合学部・農学部

大学院農学研究科

※農学部、農学研究科の教育・研究については「阿蘇くまもと臨空校舎 (2023年4月開設予定)」、「熊本校舎」及び「阿蘇実習フィールド」にて充実を図ります。

札幌校舎

〒005-8601 北海道札幌市南区南沢5条1-1-1

電話：011-571-5111 (代表)

国際文化学部・生物学部

大学院生物学研究科

※大学院：総合理工学研究科・生物科学研究科の入学後の校舎 (配属校舎) は、研究指導教員の所属する校舎となります。

所属校舎が「熊本校舎」の研究指導教員については「阿蘇くまもと臨空校舎 (2023年4月開設予定)」、「熊本校舎」及び「阿蘇実習フィールド」にて教育・研究の充実を図ります。

目次

1	募集人員	A- 2
2	日程	A- 3
3	選抜方法	A- 4
4	出願資格	A- 4
5	東海大学医学部医学科特別貸与奨学金について	A- 5
6	出願手続	A- 5
7	身体機能等に障がいのある志願者への特別配慮	A- 7
8	第一次選考 試験教科・科目	A- 8
9	第一次選考 試験上の注意 (一般選抜)	A- 9

10	第二次選考 試験科目	A-11
11	第二次選考 試験上の注意	A-11
12	合格発表・入学手続	A-13
I	学費・諸会費	B- 1
II	奨学金制度	B- 2
III	個人情報の活用について	B- 3
	東海大学医学部医学科特別貸与奨学金 (特定地域医療機関従事者)に 関する規程／運用細則【抜粋】	C- 1

2 日程

入試種別	出願期間	第一次選考		第二次選考			入学 手続期間
		試験日	合格発表日	試験日	試験場	合格発表日	
一般選抜	Web登録 2023年 1月 4日(水) 〃 1月20日(金) 23:59厳守	2023年 2月 2日(木) 〃 2月 3日(金) 受験日自由選択	2023年 2月 9日(木)	2023年 2月11日(土・祝) 〃 2月12日(日) 受験日は 出願時に選択*	東海大学 伊勢原校舎	2023年 2月18日(土)	Web登録 2023年 2月18日(土) 〃 2月24日(金) 17:00厳守
	出願書類郵送期限 2023年 1月23日(月) 締切日必着	(試験場) 下表参照	2023年 2月18日(土)				
大学入学 共通テスト 利用選抜	Web登録 2023年 1月 4日(水) 〃 1月13日(金) 23:59厳守	2023年 1月14日(土) 〃 1月15日(日)	2023年 2月 9日(木)	東海大学 伊勢原校舎	2023年 2月18日(土)	Web登録 2023年 2月18日(土) 〃 2月24日(金) 17:00厳守	
医学部 神奈川県 地域枠選抜	出願書類郵送期限 2023年 1月17日(火) 締切日必着	(試験場) 大学入試 センターから 指定された会場			2023年 2月18日(土)	手続書類郵送期限 2023年 2月24日(金) 消印有効	
医学部 静岡県 地域枠選抜							

*第二次選考試験日の指定は、志願者が出願時に選択します。

*一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、医学部神奈川県地域枠選抜、医学部静岡県地域枠選抜を併願し、複数の選抜の第一次選考に合格した場合は、第二次選考を同一日で受験することも可能です。その場合の試験方法等については、試験当日大学が指示します。

注意 新型コロナウイルス感染症の状況により、入試日程、内容等が変更になる可能性があります。最新情報は、本学オフィシャルサイトを必ずご確認ください。

一般選抜 受験日自由選択について

第一次選考では試験日を2月2日(木)・3日(金)と2日間設けていますので、志願者は受験日を自由に選択することができます。

単願 2日間のうち都合のよい日を1日選んで受験する。

2併願 2日間とも受験する(この場合、3科目の合計点が高得点となる日の結果を合否判定に採用します)。

一般選抜 試験場

第一次選考の試験場は、下表のとおりです。受験地区・試験場は以下の中から志願者が選択できます。

志願者が選択した受験地区・試験場名が受験票に記載されます。

受験地区	試験場	収容人数(名)	2月2日(木)	2月3日(金)
東京	TOC有明コンベンションホール	1300	○	○
横浜	TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい	200	○	○
名古屋	名古屋コンベンションホール	300	○	○
大阪	CIVI研修センター新大阪東	250	○	○
福岡	福岡県中小企業振興センター	300	○	○
湘南	東海大学湘南校舎	制限なし	予備	予備

○印は志願者が選択できる受験地区・試験場です。

注意 1) 受験地区・試験場については、志願者の選択となりますが、収容人数が定員に達したときには、その試験場を選択できなくなります。

2) 各試験場の収容人数の状況によって、「東海大学湘南校舎」が選択できるようになります。

3) 入学検定料支払い後は、試験日(第二次選考含む)及び試験場の変更は一切できません。

受験生に対する傷害保険について

本学は、入学試験に際し、試験当日の受験生の偶発的な傷害・災害について、一定の補償をする傷害保険に加入しています。

3 選抜方法

1. 第一次選考

一般選抜

本学所定の書類による書類審査、学科試験（詳細はp. A-8参照）

大学入学共通テスト利用選抜 医学部神奈川県地域枠選抜 医学部静岡県地域枠選抜

本学所定の書類による書類審査、学科試験（「令和5年度（2023年度）大学入学共通テスト」の結果を利用（詳細はp. A-8参照））

2. 第二次選考

小論文、面接試験

4 出願資格

次の1.～3.のいずれかに該当し、かつ、医学部神奈川県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、神奈川県が定める県内出身者の条件(※)を満たし、卒業後、一定期間、神奈川県の指定する地域医療機関への従事を希望する者。また、医学部静岡県地域枠選抜は、地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、一定期間、静岡県の指定する地域医療機関への従事を希望する者。

※【神奈川県が定める県内出身者の条件】次のいずれかに該当する者

- (イ) 大学入学した時点において、神奈川県内に1年以上居住したことのある者。
- (ロ) 神奈川県内に所在する高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2023年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2023年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2023年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、次の(1)～(7)のいずれかに該当する者。
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者。
 - (3) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月修了見込みの者。
 - (4) 文部科学大臣の指定した者。
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達する者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）。
 - (6) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者で2023年3月31日までに18歳に達する者。
 - (7) その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者。

出願要件

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」について、これに関する経験を志願者本人が出願時に入力。

経験時期は中学校卒業後から現在に至るまでの期間とし、文字数は50～300字（日本語のみ）

- 注意**
- 1) 大学入学共通テスト利用選抜、医学部神奈川県地域枠選抜、医学部静岡県地域枠選抜を受験する際には、「令和5年度（2023年度）大学入学共通テスト」において本学が指定する教科・科目を受験していること。
 - 2) 下記「医師法」の条項により、医師免許取得に際し、制限を受ける場合がありますので注意してください。

「医師法」(抜粋)

- 第3条 未成年者には、免許を与えない。
- 第4条 次の各号のいずれかに該当する者には、免許を与えないことがある。
- 1 心身の障害により医師の業務を適正に行うことができない者として厚生労働省令で定めるもの
 - 2 麻薬、大麻又はあへんの中毒者
 - 3 罰金以上の刑に処せられた者
 - 4 前号に該当する者を除くほか、医事に関し犯罪又は不正の行為のあった者

5 東海大学医学部医学科特別貸与奨学金について

この奨学金は、人物・学業成績ともに優れ、特定地域医療機関への就職を希望する医学部医学科学生に対して貸与します。本学が指定する特定地域医療機関（臨床研修を本学医学部付属病院とし、その後本学医学部付属病院群）において、原則として卒業後ただちに6年間の勤務を果たした場合、返還が免除されます。

貸与を希望する場合は、必ず貸与希望者（志願者）本人が、p. C-1～2『東海大学医学部医学科特別貸与奨学金（特定地域医療機関従事者）に関する規程及び東海大学医学部医学科特別貸与奨学金（特定地域医療機関従事者）に関する運用細則【抜粋】』をよく読み、内容を理解したうえで申請してください。なお、この貸与希望の有無は、入学後の奨学金貸与希望を確認するためのみに使用します。

※毎年、学業成績を確認します。特に2年次・3年次終了時の学業成績で継続審査を行います。日頃の学修が大切となりますので、学業成績の上位を維持することが求められます。

※付属病院群に勤務するためには、採用試験（マッチング）があり、合格することが必要です。採用されなかった場合は、免除になりませんので、奨学金を返還していただきます。また、臨床研修修了後に専門医取得を目指す医師を「専攻医」と呼び、本学では臨床助手として採用します。各診療科に採用定員があり、採用されなかった場合は、免除になりませんので、奨学金を返還していただきます。

採用人数	①総合型選抜医学部医学科（希望の星育成） 2名 ②一般選抜 5名 ③大学入学共通テスト利用選抜 2名
貸与額	年間200万円（6年間で1,200万円）
申請方法	Web出願時に「奨学金を希望する」の欄にチェックをしてください。 一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜を併願する場合、それぞれに申請することができます。
結果通知	本奨学金の採用者には、合格発表時に採用通知を郵送します。 （奨学金の採否については、本通知をもって採用者の発表に代えさせていただきます。） ※詳細な手続方法等については、入学後にご案内します。
貸与方法	入学後、半期毎に100万円を本人の指定口座に入金します。

※その他の奨学金制度は、p. B-2『Ⅲ 奨学金制度』を参照してください。

6 出願手続

出願はWebでの手続となります。本学オフィシャルサイトの「Web出願」のバナーから「Web出願ガイダンスサイト」にアクセスし、新規出願手続より、画面の指示にしたがって、出願手続を行ってください。

Web出願ガイダンスサイトURL ▼

<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-tokai/>



1. 出願方法

出願期間 〔Web登録及び出願書類郵送期限〕 p. A-3を参照

- 「Web出願ガイダンスサイト」へアクセスし、個人情報等の入力や顔写真登録を行ってください。
- 顔写真登録後、画面の指示にしたがい、入学検定料をお支払いください。入学検定料支払い後は、入力内容の変更ができません。入力内容をよく確認してからお支払いください。支払い後、「提出書類チェックシート」と「医学部調書」の印刷をしてください。
- 医学部神奈川県地域枠選抜**、**医学部静岡県地域枠選抜**に出願する場合は、「同意書〔所定用紙〕」を印刷し、作成してください。同意書は、出願登録完了前であっても印刷できます。
- 「宛名ラベル〔所定用紙〕」を貼った封筒に出願書類を入れ、簡易書留で郵送してください。出願書類は、**出願書類郵送期限までに到着するよう郵送してください**。郵送先は「宛名ラベル」に明記してありますが、次のとおりです。

出願書類郵送先

〒134-8585 東京都江戸川区臨海町5-2-2 葛西郵便局留
東海大学 出願・入学手続書類受付センター

2. 入学検定料

「Web出願サイト」にて、お支払いください。

詳細については、p. A-5のURLまたはQRコード等から「Web出願ガイダンスサイト」にアクセスし、確認してください。

入試種別	入学検定料	
一般選抜	単願	¥57,000
	2併願	¥97,000
大学入学共通テスト利用選抜	¥37,000	
医学部神奈川県地域枠選抜	¥37,000	
医学部静岡県地域枠選抜	¥37,000	

3. 出願書類

出願書類	
1	<p>提出書類チェックシート [所定用紙]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Web出願サイト」にて顔写真データの登録及び入学検定料の支払い後、マイページから印刷できるようになります。記載内容を確認のうえ提出してください。 チェックシートには、提出すべき書類が記載されていますので、不足や不備がないことを確認のうえ、提出してください。 大学入学共通テスト利用選抜、医学部神奈川県地域枠選抜、医学部静岡県地域枠選抜に出願する者は、大学入試センターから交付された「令和5年度（2023年度）共通テスト成績請求票（私立大学・公私立短期大学用）」を貼付してください。 <p>注意 Web出願登録時に共通テスト成績請求票の番号を入力していただきます。</p>
2	<p>調査書（最近3か月以内に発行された出身校所定の用紙で、厳封されたもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> 高等学校卒業程度認定試験合格（見込）の志願者は、合格（見込）成績証明書を提出してください。 ※大学入学資格検定に合格した者を含みます。 卒業後5年以内の志願者は、「調査書」を提出してください。 卒業後5年が経過しており、出身校での調査書等の保存期間が終了した場合は、下記の証明書を提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> ①卒業後6～20年経過している場合：「卒業証明書」及び「成績証明書」 ※「成績証明書」が発行されない場合は、「単位取得証明書」を提出してください。 ②卒業後21年以上経過している場合：「卒業証明書」及び「成績証明書・単位取得証明書のいずれも発行できない旨を記した出身校の証明書」 <p>廃校・被災等の事情により上記の証明書が提出できない場合は、「東海大学 出願・入学手続きヘルプデスク」にお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国の学校を修了の場合は、「修了（見込）証明書」及び「成績証明書」を提出してください。また、諸外国の統一試験（大学入学資格試験等）を受けた場合は、「資格証明書の写し」及び「成績評価証明書」を提出してください。 <p>注意 申請から入手まで時間がかかる場合があるため、調査書等については早めに申請手続きをしてください。</p>
3	<p>医学部調書 [所定用紙]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Web出願サイト」にて入力及び入学検定料の支払い後、マイページから印刷できるようになります。
4	<p>神奈川県が定める県内出身者の条件を満たしていることがわかる書類</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学部神奈川県地域枠選抜に出願する者は、最近3か月以内に発行された神奈川県内に1年以上居住した（大学入学時までの期間を有効とする）ことがわかる住民票（原本）または住民票の除票（原本）を提出してください。戸籍の附票は不可。 住民票等による証明が難しい場合は、神奈川県が受験資格を認定する書類の提出が必要となります。詳細については「神奈川県医療課」（電話045-210-4877）にお問い合わせください [2023年（令和5年）1月10日（火）までに受験資格の承認を受けてください]。 <p>注意 神奈川県内に所在する高等学校もしくは中等教育学校の調査書等を提出する場合は、提出不要です。</p>
5	<p>医学部地域枠入学に関する同意書 [所定用紙] *本学オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学部神奈川県地域枠選抜に出願する者は、「医学部地域枠入学に関する同意書」の提出が必要です。「神奈川県地域医療医師修学資金貸付制度の手引き」を確認後、署名・捺印の上、提出してください。
6	<p>同意書（誓約書） [所定用紙] *本学オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学部静岡県地域枠選抜に出願する者は、「同意書（誓約書）」の提出が必要です。署名・捺印のうえ、提出してください。

※出願時に健康診断書を提出する必要はありません。健康診断は入学後、本学において実施しますので必ず受診してください。

- 注意**
- 1) 出願書類に不備があった場合は、受付けることはできません。
 - 2) 出願後の入学検定料及び出願書類の返還は、いかなる理由があっても認めません。
 - 3) 出願後の申請内容の変更については、いかなる理由があっても認めません。
 - 4) 電話で入学検定料の振込みをお願いすることは一切ありません。
 - 5) 出願書類に不正な記載をした場合、入学後でも合格取消しとなり入学資格を失います。

募集人員

日程

選抜方法

出願資格

東海大学
医学部医学科
に特別
優遇
を
与
え
て

出願
手
続

身体
機能
等に
関係
する
障害
を
有
す
る
者
に
対
し

第一
次
選
考
の
試
験
科
目

第一
次
選
考
の
試
験
上
の
注
意

第一
次
選
考
の
試
験
科
目

第二
次
選
考
の
試
験
上
の
注
意

合
格
発
表
・
入
学
手
続

4. 受験票

第一次選考 出願書類を本学にて確認した後、受験票が印刷できるようになります。「Web出願サイト」にログインし、マイページから印刷してください。

第二次選考 第一次選考合格者は、本学オフィシャルサイトの合否発表ページより、合格した入試種別ごとに印刷してください。

(1) 受験票を印刷次第、記載項目を必ず確認してください。

- ・本人に関する項目：カナ氏名、氏名、電話番号、生年月日、性別、出身高校、課程、学科、卒業（見込）・取得年月
- ・試験に関する項目：試験日、受験番号、志望学部・学科、略名、試験場、時間割、奨学金希望有無、共通テスト成績請求票番号、第二次選考試験日等
*記載項目は、入試種別及び第一次選考または第二次選考かによって異なります。

注意 1) 「試験に関する項目」についての出願後の変更は、いかなる理由があっても認めません。

2) 漢字氏名については、原則としてJIS（日本産業規格）で定義される第1水準及び第2水準漢字を使用します。規格にない漢字は、入力することができません。

第一次選考は2023年1月27日（金）、第二次選考は2023年2月9日（木）までに受験票が確認できない場合や、受験票記載の「本人に関する項目」の間違ひについては、「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク」にお問い合わせください。

お問い合わせ先

東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク 電話 03-5679-3388
平日 9:00～17:00（土日祝は休み）

7 身体機能等に障がいのある志願者への特別配慮

身体機能等に障がいがあり、受験（本学で実施が行われる入学試験のみ）及び入学後の授業、キャンパスライフ等で特別配慮を必要とする志願者は、配慮希望について下記期日までに、必ず「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク」にお問い合わせください。必要とする配慮の内容について十分な検討をしたうえで、本学の特別配慮内容を回答します。検討に時間を要する場合がありますので、可能な限り早めにお問い合わせください。また、申請の内容によっては、希望する配慮や支援を講じることができない場合がありますので、ご了承ください。

志願者は、本学の特別配慮内容を了承のうえ出願していただきます。期日までに問い合わせがない場合には、本学の回答を確認できないうえでの受験または入学手続となり、十分な対応ができない場合があります。

なお、出願書類提出後、不慮の事故等により、特別な配慮が必要となった場合は、速やかに相談してください。

お問い合わせ期日

2022年12月 6日（火）

お問い合わせ先

東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク 電話 03-5679-3388
平日 9:00～17:00（土日祝は休み）

8 第一次選考 試験教科・科目

1. 一般選抜

■ 試験教科・科目及び試験時間割

	時間割	教科	科目	配点	合計
1	10:00～11:10 (70分)	英語	「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」	100点	300点
2	12:10～13:20 (70分)	数学	「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B（数列・ベクトル）」	100点	
3	13:50～15:00 (70分)	選択科目	「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目選択（試験当日選択）	100点	

注意 解答は、マークシート解答用紙を使用します。ただし、科目によりマーク解答のみの場合、記述解答のみの場合、マーク解答と記述解答を併用する場合があります。

■ 標準化（偏差値）採点について

本学は、適正な選抜をするために、各科目ごとの採点結果を標準偏差を用いて標準化します。したがって、点数は素点ではなく、相対得点（標準的な得点分布に変換した値）となります。

2. 大学入学共通テスト利用選抜 医学部神奈川県地域枠選抜 医学部静岡県地域枠選抜

「令和5年度大学入学共通テスト」において、本学医学科が指定する教科・科目を受験してください。

■ 指定科目

教科	科目	配点	合計
外国語	「英語」*	200点	600点
数学	「数学Ⅰ・数学A」	100点	
	「数学Ⅱ・数学B」	100点	
理科	「物理」「化学」「生物」から2科目選択	100点・100点	

※「英語」については原則として、リーディングとリスニングの双方を解答してください。リーディング100点×1.6、リスニング100点×0.4で換算します。ただし、「大学入学共通テスト」の受験においてリスニングを免除されている場合は、「リーディング」の得点（満点：100点）を換算して配点を200点とします。

- 注意**
- 1) 本学が指定した教科・科目を受験していない場合は、合否判定の対象となりません。
 - 2) 本学での個別学力試験は行いません。

募集人員

日程

選抜方法

出願資格

東海大学医学部
奨学金に特別
奨励金あり

出願手続

身体機能等に
特別な配慮
が必要な者第一次選考
試験教科・科目第一次選考
試験上の注意第二次選考
試験科目第二次選考
試験上の注意合格発表・
入学手続

9 第一次選考 試験上の注意（一般選抜）

1. 試験について

- (1) 試験当日は、受験票を必ず持参し、試験場入場時に提示してください。
- (2) 試験当日は、試験中も含め「マスク」を必ず着用してください。ただし、本人確認の際は、一時的に「マスク」を外していただく場合があります。
- (3) 試験場及び試験室入場時には、必ず手指消毒（アルコール消毒）をしてください。
- (4) 他者との身体的距離をとり、接触や会話を極力控えてください。
- (5) 試験開始時間の10分前までに試験場に入場し、着席してください。
- (6) 試験日、試験開始時間及び試験場間違いの受験は一切認めませんので、受験票の記載事項をよく確認してください。
- (7) 試験開始後20分までに試験場にて受付をしない場合は、受験を認めません。なお、1時限目を受験した場合で、2時限目以降において試験開始後20分までに試験室へ入室をしない場合は、当該時限以降の受験は認めません。
- (8) 試験当日、受験生以外は試験場内に入れません。
- (9) 学科試験の科目・時間・配点は、p. A-8 『8』第一次選考 試験教科・科目』を参照してください。
- (10) 学科試験の選択科目は、試験当日、試験場で選択してください。
- (11) 試験中は、中途退室を許可しません。中途退室した場合は、以後の受験は認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合は、手を挙げて試験監督者の指示にしたがってください。
- (12) 指定された試験科目をすべて受験していない場合は、合否判定の対象となりません。
- (13) 試験場においては、すべて試験監督者等の指示にしたがってください。したがわなない場合は、退場させることがあります。
- (14) 試験室内の室温の調整には留意しますが、快適に感じる室温には個人差があることや、座席位置により温度差が生じる場合がありますので、試験当日は温度調節の可能な服装を心掛けてください。ただし、帽子、マフラー、ストールは原則として使用できません。

2. 試験当日の持参品及び所持品の取扱いについて

■ 試験当日の持参品

- (1) 第一次選考受験票、筆記用具（HBの黒鉛筆、HBの黒芯シャープペンシル、プラスチック製消しゴム）。
- (2) 昼食は持参してください。

■ 所持品の取扱い

- (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるもの及び使用を認めるものは、次のとおりです。
 - ・HBの黒鉛筆、鉛筆キャップ、HBの黒芯シャープペンシル、プラスチック製消しゴム
 - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
 - ・時計（辞書、電卓、通信機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
- (2) 上記以外の物品の使用は原則として認めません。以下に試験時間中に使用を認めない物品の一例を示します。
 - ・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・耳栓、消毒液等の除菌用品、飲食物（ペットボトル飲料、飴、ガム等を含む）
 - ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
 ＊上記電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、試験監督者の指示で電源が切られているか確認した後、かばんに収納してください。

注意 病気・負傷や障がい等により机の上に置けるもの以外の物品を使用したい場合は、受験上の特別配慮申請が必要です。詳細は、p. A-7 『7』身体機能等に障がいのある志願者への特別配慮』を参照してください。

3. 不正行為について

本学では、すべての受験者が公平に受験できるよう入学試験を厳正に実施します。公正な入学試験の実施を妨げる不正行為があったと認められた場合は、以後の受験は認められず、また、当該年度の本学におけるすべての入学試験について無効とします（入学検定料の返還はいたしません）。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

■ 不正行為と判断される行為

- ・カンニング(カンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する・他の受験生の答案を見る)をすること。
- ・他の受験生に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ・使用を認めていない物品や機器を使用、操作すること。
- ・試験監督者の指示にしたがわなないこと。
- ・受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

募集人員

日程

選抜方法

出願資格

東海大学
医学部医学科
特別選抜
医学部

出願手続

者が身体
機能等に
障がい等
に特別配
慮願第一次選考
試験教科・科目第一次選考
試験上の注意第二次選考
試験科目第二次選考
試験上の注意合格発表
入学手続

4. 試験場案内図

東京

TOC有明コンベンションホール

東京都江東区有明3-5-7

- りんかい線 国際展示場駅より(パナソニックセンター内通行) 徒歩約3分
- ゆりかもめ 東京ビッグサイト駅より徒歩約4分
- ゆりかもめ 有明駅より(パナソニックセンター内通行) 徒歩約4分

名古屋

名古屋コンベンションホール

愛知県名古屋市中村区平池町4-60-12 グローバルゲート3・4階

- あおなみ線 ささしまライブ駅より歩行者デッキにて2F エントランスに直結
- JR名古屋駅(広小路口)より徒歩約12分

福岡

福岡県中小企業振興センター

福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15

- JR吉塚駅(東口)より徒歩約1分
- 地下鉄箱崎線 馬出九大病院前駅(3番出口)より徒歩約10分

横浜

TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい

神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3 MMパークビル5階

- みなとみらい線 みなとみらい駅(4a出口)より徒歩約1分
- JR京浜東北線 桜木町駅(北1出口)より徒歩約15分

大阪

CIVI研修センター新大阪東

大阪府大阪市東淀川区東中島1-19-4 ルーシッドスクエア新大阪5・6・7階

- JR新大阪駅(東口)より徒歩約1分
- 大阪メトロ御堂筋線 新大阪駅より徒歩約5分

湘南

東海大学湘南校舎(予備試験場)

神奈川県平塚市北金目4-1-1 電話 0463-58-1211(代表)

- 小田急線(急行で新宿より約70分、小田原より約25分) 東海大学前駅(南口)より徒歩約15分または、秦野駅行き、下大槻団地行きバス(約5分)にて「東海大学北門」下車すぐ
- JR東海道線 平塚駅より東海大学行き、または秦野駅行きバス(約30分)にて「東海大学正門前」下車 徒歩約5分で南門に到着(交通事情により時間がかかる場合があります)

募集人員

日程

選抜方法

出願資格

東海大学医学部
奨学金に特別
貸付と特別
貸付と特別
貸付と特別

出願手続

身体機能等に
障害のある
者への特別
配慮

第一次選考
試験教科・科目

第一次選考
試験上の注意

第二次選考
試験科目

第二次選考
試験上の注意

合格発表
入学手続

5. その他

- (1) 本学からの入学試験の実施に関する情報提供は、本学オフィシャルサイトより行います。
- (2) 電車遅延等による、試験当日のお問い合わせは、東海大学入試実施本部にご連絡ください。
電話 0463-63-4630（試験当日のみ連絡可能）

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

10 第二次選考 試験科目

試験科目及び試験時間割

時間割		内容	
1	9:30～10:15 (45分)	小論文 (500字)	
2	10:45～ (時間・場所は) 当日指示	一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜	} 一人10分～20分程度 } 一人10分～20分程度×2回
		医学部神奈川県地域枠選抜 医学部静岡県地域枠選抜	

- ・第二次選考では、小論文と面接試験を実施します。
- ・面接開始時刻は受験生によって異なります。面接開始まで長時間お待ちいただく場合がありますので、試験当日の指示にしたがってください。
- ・**一般選抜**、**大学入学共通テスト利用選抜** における面接では、本学に対する志望動機や医学部医学科に関する一般的な内容等を問います。
- ・**医学部神奈川県地域枠選抜**、**医学部静岡県地域枠選抜** における面接は、2回に分けて各々異なる内容で実施します。2回の面接のうち、一方で本学に対する志望動機や医学部医学科に関する一般的な内容等を問い、他方では地域枠に関する内容を問います。

注意 一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜、医学部神奈川県地域枠選抜、医学部静岡県地域枠選抜を併願し、複数の選抜の第一次選考に合格した場合は、第二次選考を同一日で受験することも可能です。その場合の試験方法については、試験当日に大学が指示します。

11 第二次選考 試験上の注意

1. 試験について

- (1) 試験当日は、第二次選考受験票を必ず持参し、試験場入場時に提示してください。第二次選考受験票は、本学オフィシャルサイトの可否発表ページより、合格した入試種別ごとに各自印刷してください（本学から第二次選考受験票を郵送することはありません）。
- (2) 試験開始時間の10分前までに試験場に入場し、着席してください。なお、試験日は、第二次選考受験票に記載されていますので、よく確認してください。
- (3) 試験日、試験開始時間及び試験場間違いの受験は一切認めませんので、第二次選考受験票の記載事項をよく確認してください。
- (4) 試験開始後20分までに試験場にて受付をしない場合は、受験を認めません。
- (5) 試験当日、受験生以外は試験場内に入れません。
- (6) 試験中は、中途退室を許可しません。中途退室した場合は、以後の受験は認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合は、手を挙げて試験監督者の指示にしたがってください。
- (7) 小論文を受験していない場合は、面接試験を受けることができません。

- (8) 試験場においては、すべて試験監督者、面接担当教員等の指示にしたがってください。したがわない場合は、退場させることがあります。
- (9) 試験室内の室温の調整には留意しますが、快適に感じる室温には個人差があることや、座席位置により温度差が生じる場合がありますので、試験当日は温度調節の可能な服装を心掛けてください。ただし、帽子、マフラー、ストールは原則として使用できません。

2. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る注意事項

- (1) 試験当日は、試験中も含め「マスク」を必ず着用してください。ただし、本人確認の際は、一時的に「マスク」を外していただく場合があります。
- (2) 試験場及び試験室入場時には、必ず手指消毒（アルコール消毒）をしてください。
- (3) 付添者の控室は、設置いたしません。付添者は、構内での滞在をお控えください。
- (4) 他者との身体的距離をとり、接触や会話を極力控えてください。
- (5) 次の状態の場合、入学試験を受験することはできません（本学への入構を認めません）。
- ① 試験当日の朝、各自検温を実施してください。この際、発熱（測定体温が平熱より0.5℃以上の上昇があった、あるいは、37.5℃以上）のある方。
 - ② 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状^{*}を自覚している方。
 ※強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ、のどが痛い、咳や痰がでる、味覚、嗅覚がない、風邪の症状が続いている、普段と違って下痢や軟便である等。
 - ③ PCR検査で「陽性」と判定された方で、発症日から10日間^{**1}経過していない、あるいは、症状軽快^{**2}後72時間を経過していない、いずれか一方でも該当する方。
 ※1 本学医学部独自のルールで設定しています。
 ※2 解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸器症状が改善傾向である場合をいう。
 - ④ 医療機関等から濃厚接触者に該当するとされ、指定の期間を経過していない方。
- (6) 上記の事由により受験できなかった場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。試験前や試験当日の自己管理・体調管理については、十分注意をしてください。

注意 上記注意事項は、今後、変更する可能性があります。変更が生じた場合は、随時本学オフィシャルサイトでお知らせしますので、必ずご確認ください。

3. 試験当日の持参品及び所持品の取扱いについて

■ 試験当日の持参品

- (1) 第二次選考受験票、筆記用具（HBの黒鉛筆、HBの黒芯シャープペンシル、プラスチック製消しゴム）。
- (2) 昼食は持参してください。

■ 所持品の取扱い

- (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるもの及び使用を認めるものは、次のとおりです。
- ・HBの黒鉛筆、鉛筆キャップ、HBの黒芯シャープペンシル、プラスチック製消しゴム
 - ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）
 - ・時計（辞書、電卓、通信機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可）
 - ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）
- (2) 上記以外の物品の使用は原則として認めません。以下に試験時間中に使用を認めない物品の一例を示します。
- ・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 - ・耳栓、消毒液等の除菌用品、飲食物（ペットボトル飲料、飴、ガム等を含む）
 - ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
- * 上記電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、試験監督者の指示で電源が切られているか確認した後、かばんに収納してください。

注意 病気・負傷や障がい等により机の上に置けるもの以外の物品を使用したい場合は、受験上の特別配慮申請が必要です。詳細は、p. A-7 『[Z](#) 身体機能等に障がいのある志願者への特別配慮』を参照してください。

4. 不正行為について

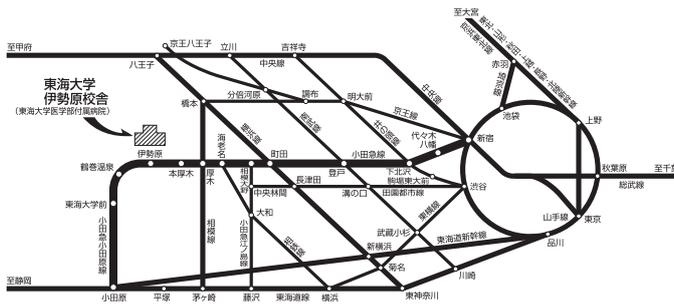
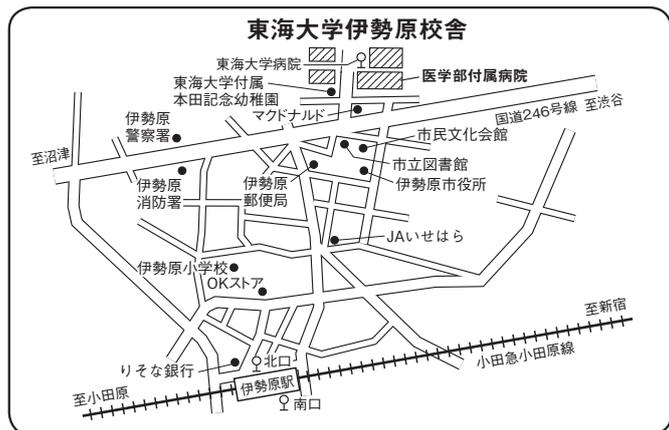
本学では、すべての受験者が公平に受験できるよう入学試験を厳正に実施します。公正な入学試験の実施を妨げる不正行為があったと認められた場合は、以後の受験は認められず、また、当該年度の本学におけるすべての入学試験について無効とします（入学検定料の返還はいたしません）。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

■ 不正行為と判断される行為

- ・カンニング(カンニングペーパー・参考書等を隠し持つ・使用する・他の受験生の答案を見る)をすること。
- ・他の受験生に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- ・使用を認めていない物品や機器を使用、操作すること。
- ・試験監督者の指示にしたがわないこと。
- ・受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けること。
- ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

5. 試験場案内図

東海大学伊勢原校舎



神奈川県伊勢原市下糟屋143 電話 0463-93-1121(代表)

- 小田急小田原線（快速急行で新宿より約55分、急行で約60分、小田原より約30分）伊勢原駅より徒歩約15分またはバス約10分
- 南口より 4番のりば、東海大学病院行き「東海大学病院」下車
- 北口より 2番のりば、東海大学病院経由愛甲石田駅行き「東海大学病院」下車

- ・新宿方面から乗車の場合は、小田原方面行きに乗車してください。
- ・同じホームから行先の異なる電車も発車していますので、行先表示を確認のうえ乗車してください。
- ・伊勢原校舎は、「伊勢原」駅が最寄り駅です。「東海大学前」駅ではありません。

6. その他

- (1) 本学からの入学試験の実施に関する情報提供は、本学オフィシャルサイトより行います。
- (2) 電車遅延等による、試験当日のお問い合わせは、試験場にご連絡ください。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等）に罹患し治療していない場合は、他の受験生等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染の恐れがないと認められた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験の実施や入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

12 合格発表・入学手続

1. 合格発表

合格発表日

第一次選考 2023年 2月 9日(木)

第二次選考 2023年 2月18日(土)

合否結果はインターネットのみでお知らせします（大学から通知を郵送することはありません）。 合格発表日の午前9時30分より本学オフィシャルサイトで確認いただけます。

※合格通知は「Web入学手続サイト」よりダウンロード（印刷）できます。

合否に関する問い合わせには、一切応じません。

インターネットに接続できない、または誤操作等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は認めません。

繰り上げ合格発表日 2023年 3月 1日(水) 以後は随時

- (1) 合格者の入学手続の結果、欠員が生じた場合に限り「補欠者」の中から、繰り上げて合格を決定することがあります。**繰り上げ合格者には、インターネットでお知らせします（大学から通知を郵送することはありません）。**
- (2) 合格者（繰り上げ合格者含む）の最終入学手続が終了した時点で、「補欠者」全員に繰り上げ合格を出さない旨の通知をいたします。

募集人員

日程

選抜方法

出願資格

東海大学
医学部医学科
特選
医学部
特選
医学部

出願手続

身体機能等
特別な配慮
を要する
者

第一次選考
試験教科・科目

第一次選考
試験上の注意

第二次選考
試験科目

第二次選考
試験上の注意

合格発表・
入学手続

■ インターネットによる合格発表利用可能期間

第一次選考 2023年 2月 9日(木) 9:30～ 2月13日(月) 17:00

第二次選考 2023年 2月18日(土) 9:30～ 2月24日(金) 17:00

東海大学オフィシャルサイト <https://www.u-tokai.ac.jp/>

2. 入学手続

入学手続期間 2023年 2月18日(土)～ 2月24日(金) 17:00厳守 * 提出書類は締切日消印有効

入学手続はWebでの手続となります。本学オフィシャルサイトより「Web入学手続サイト」にアクセスし、上記の入学手続期間内に手続を行ってください。

なお、「学費・諸会費」は「一括して全額納入する方法」と「2回に分割して納入する」方法の2つがあります。その概要は次のとおりです。

〔一括して全額納入する方法〕

「Web入学手続サイト」より、画面の指示にしたがい、必要な情報を登録してください。「学費・諸会費」は一括で納入してください。

〔2回に分割して納入する方法〕

①分割1回目

分割を希望する合格者は、「入学金」のみを入学手続期間内に納入してください。

②分割2回目

「Web入学手続サイト」より、分割2回目（入学金を除く）のWeb振込用紙を印刷し、「学費・諸会費（入学金を除く）」を納入してください。「Web入学手続サイト」の画面の指示にしたがい、必要な情報を登録してください。

3. 学費・諸会費の返還について

いったん納入した学費・諸会費の返還は、原則として認めません。

ただし、特段の事情により本学への入学を辞退する者は、2023年3月31日(金) 午後5時〔締切日必着〕までに入学辞退手続を完了した場合に限り、入学辞退を認め、「入学金」を除く学費・諸会費を返還します（詳細については、合格発表後に入学手続要項を参照してください）。

なお、いったん納入した入学手続の学費・諸会費のうち「入学金」についての返還は、いかなる理由があっても認めません。

4. その他の注意

- (1) 出願後、現住所を変更した場合は、「東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク」にお問い合わせください。
- (2) 指定の期日までに入学手続をしない場合は、入学を許可しません。
- (3) 電話で学費・諸会費の振込みをお願いすることは一切ありません。
- (4) 出願資格のうち、卒業（修了）見込み、高等学校卒業程度認定試験に合格見込みで受験し合格した者で、2023年3月末日までに大学入学資格を取得できなかった者は、合格取消となり入学資格を失います。
- (5) **医学部神奈川県地域枠選抜** を、p. A-4 『4 出願資格 (イ)』で出願し、大学に入学した時点において神奈川県内に居住した期間が1年に満たなかった者は、入学後でも合格取消となり入学資格を失います。
- (6) 入学年次は、第1セメスター（1年次）とします。
- (7) 出願書類ならびに入学手続上、不正があった場合は、入学後でも合格取消となり入学資格を失います。

■ お問い合わせ先

東海大学 出願・入学手続ヘルプデスク 電話 03-5679-3388
平日 9:00～17:00（土日祝は休み）

I 学費・諸会費

下表に、2023年度学費・諸会費を掲載いたしました。

(単位：円)

学部 学科等	入学手続と同時納付金（春学期）							納付金（秋学期）						総合計	
	学 費						諸会費	合計	学 費						総合計
	入学金	授業料	特別 実技費	海洋 実習費	小計	合計			授業料	特別 実技費	海洋 実習費	小計	諸会費		
文学部	200,000	608,000	0	0	808,000	40,200	848,200	608,000	0	0	608,000	19,000	627,000	1,475,200	
文化社会学部	200,000	608,000	0	0	808,000	40,200	848,200	608,000	0	0	608,000	19,000	627,000	1,475,200	
教養学部	200,000	634,500	0	0	834,500	40,200	874,700	634,500	0	0	634,500	19,000	653,500	1,528,200	
児童教育学部	200,000	634,500	0	0	834,500	40,200	874,700	634,500	0	0	634,500	19,000	653,500	1,528,200	
体育学部	200,000	634,500	0	0	834,500	40,200	874,700	634,500	※1	0	634,500	19,000	653,500	1,528,200	
健康学部	200,000	634,500	0	0	834,500	40,200	874,700	634,500	0	0	634,500	19,000	653,500	1,528,200	
法学部	200,000	608,000	0	0	808,000	40,200	848,200	608,000	0	0	608,000	19,000	627,000	1,475,200	
政治経済学部	200,000	613,500	0	0	813,500	40,200	853,700	613,500	0	0	613,500	19,000	632,500	1,486,200	
経営学部	200,000	613,500	0	0	813,500	40,200	853,700	613,500	0	0	613,500	19,000	632,500	1,486,200	
国際学部	200,000	613,500	0	0	813,500	40,200	853,700	613,500	0	0	613,500	19,000	632,500	1,486,200	
観光学部	200,000	613,500	0	0	813,500	40,200	853,700	613,500	0	0	613,500	19,000	632,500	1,486,200	
情報通信学部	200,000	677,000	0	0	877,000	40,200	917,200	677,000	0	0	677,000	19,000	696,000	1,613,200	
理学部	200,000	677,000	0	0	877,000	40,200	917,200	677,000	0	0	677,000	19,000	696,000	1,613,200	
情報理工学部	200,000	677,000	0	0	877,000	40,200	917,200	677,000	0	0	677,000	19,000	696,000	1,613,200	
建築都市学部	200,000	677,000	0	0	877,000	40,200	917,200	677,000	0	0	677,000	19,000	696,000	1,613,200	
工学部	航空宇宙学科航空操縦学	200,000	827,500	0	0	1,027,500	40,200	1,067,700	827,500	0	0	827,500	19,000	846,500	1,914,200
	上記以外	200,000	677,000	0	0	877,000	40,200	917,200	677,000	0	0	677,000	19,000	696,000	1,613,200
医学部	看護学科	200,000	689,500	0	0	889,500	40,200	929,700	689,500	0	0	689,500	19,000	708,500	1,638,200
海洋学部		200,000	677,000	0	40,500	917,500	40,200	957,700	677,000	0	40,500	717,500	19,000	736,500	1,694,200
人文学部		200,000	608,000	0	0	808,000	40,200	848,200	608,000	0	0	608,000	19,000	627,000	1,475,200
文理融合学部		200,000	475,000	0	0	675,000	40,200	715,200	475,000	0	0	475,000	19,000	494,000	1,209,200
農学部		200,000	672,500	0	0	872,500	40,200	912,700	672,500	0	0	672,500	19,000	691,500	1,604,200
国際文化学部		200,000	553,500	0	0	753,500	40,200	793,700	553,500	0	0	553,500	19,000	572,500	1,366,200
生物学部		200,000	617,000	※2	0	817,000	40,200	857,200	617,000	※2	0	617,000	19,000	636,000	1,493,200

※1 体育学部のうち生涯スポーツ学科は、特別実技費が必要となります。(1年次秋学期48,000円、2年次春学期55,000円)

※2 生物学部のうち海洋生物科学科は、特別実技費(乗船実習費)が必要となります。(1年次春学期20,000円、秋学期20,000円、2年次春学期20,500円、秋学期20,500円)

学部 学科	費目	入学手続と同時納付金（春学期）							納付金（秋学期）						総合計		
		入学金	授業料	教育 運営費	教育 充実費	施設 設備費	小計	諸会費	合計	授業料	教育 運営費	教育 充実費	施設 設備費	小計		諸会費	合計
医学部	医学科	1,000,000	1,074,000	316,000	100,000	1,050,000	3,540,000	50,200	3,590,200	1,074,000	316,000	420,000	1,050,000	2,860,000	23,000	2,883,000	6,473,200

諸会費 内訳

	春学期					秋学期			総合計
	学園費	学生会費	学生健康保険 互助組合費	保護者 会費	合計	学園費	保護者 会費	合計	
医学部医学科	22,000	6,000	18,200	4,000	50,200	19,000	4,000	23,000	73,200
上記以外	22,000	6,000	12,200	—	40,200	19,000	—	19,000	59,200

《諸会費について》

- ・学園費は、後援会の入会金・会費、同窓会費です。
- ・学生会費には、入会金3,000円が含まれています。
- ・学生健康保険互助組合費は、入会金200円を含め4年間分(医学部医学科は6年間分)です(入学手続時一括納付)。
- ・保護者会費は、医学部医学科保護者会の連絡費です。

注意

- 文化社会学部心理・社会学科において、公認心理師試験の受験資格を取得するためには、所定科目を履修し単位を修得する必要があります。所定科目の履修者のみにかかる経費については、別途費用が必要となります。なお、心理実習の履修にあたっては選抜を予定しています。
 - 海洋学部のうち海洋理工学科航海学専攻の乗船実習課程進学希望者及び乗船実習科目の履修者については、上表の他に乗船実習費が必要となりますが、その金額は乗船実習実施年次に決定します。(参考：2022年度 3年次秋学期79,000円、4年次秋学期474,000円)
 - 工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻への入学生については、上表の他に
 - 航空無線通信士受験料(1年次)、航空従事者学科試験手数料(1年次)等、30,000円程度の費用がかかります。
 - 留学費用として、2～3年次の留学中における授業料(2022年度は約\$100,739相当)や生活費及び渡米費用、航空燃料費等がかかります。その際、訓練の進捗状況、もしくは米国内での物価、航空燃料費上昇及び為替レートの変動により変更・追加費用が発生する場合があります。
 - ノースダコタ大学の実機訓練課程履修者全員に対して奨学金制度があります。※詳細は、p. B-2『奨学金制度』を参照してください。
 - 医学部看護学科において、保健師国家試験受験資格を取得するためには、所定科目を履修し単位を修得する必要があります(選抜あり)。所定科目の履修者のみにかかる経費については、別途費用が必要となります。
 - この他に履修する科目等に応じて、実習費を徴収する場合があります。
- ※2年目以降在学中の学費については、諸般の事情及び社会情勢を勘案し、改定することがあります。
- ※在学中の学費・諸会費については、毎年度春学期分は3月下旬から4月上旬頃、秋学期分は8月から9月上旬頃、在籍する校舎の各担当部署(伊勢原校舎を除く)より学費払込案内書を郵送いたします。
- ※伊勢原校舎の学費・諸会費については、自動口座振替になります。毎年度春学期分は4月頃、秋学期は10月頃、東海大学病院運営企画室(財務ユニット)より口座振替事前通知書を郵送いたします。
- ※寄付金に関するお知らせ
教育・研究環境の充実を図るため、任意の寄付をお願いしております。ご入学後、改めてお願いをさせていただきますので、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。
- 寄付金のお問い合わせは下記にお願いいたします。
学校法人 東海大学 学園事務センター 募金・寄付金担当
電話 03-3467-2211 (代表)

II 奨学金制度

1. 東海大学奨学金

東海大学では、将来ある優秀な学生に対し、本学独自の奨学金を給付・貸与します。奨学金の種類は下表のとおりです。

(下表は2023年度の予定)

奨学金名	内容	種別	奨学金額 (給付または貸与額)
【松前重義記念基金】 学部奨学金 (1種)	学部学生(医学部医学科を除く)を対象に、前学期までの学業成績、人物等を審査し、特に優秀な学生に対して奨学金を給付します。1年次生は秋学期から、2年次生以降は学期毎に大学が選考します。	給付	学期 20万円
【松前重義記念基金】 学部奨学金 (2種)	学部学生(医学部医学科を除く)より募集を行い、前学期までの学業成績、人物等を審査し、優秀な学生に対して奨学金を給付します。1年次生は秋学期から、2年次生以降は学期毎に募集します。	給付	学期 10万円
【松前重義記念基金】 松前重義留学生奨学金 (1種)	入学試験(留学生一般入試のみ)の成績が特に優秀な私費外国人留学生に対して、学費を減免します。1年次秋学期以降は、前学期までの学業成績、人物等を審査し、優秀な留学生に対して学費を減免します。学期毎に大学が選考します。	給付 (学費減免)	入学金、授業料、教育運営費、施設設備費相当額
【松前重義記念基金】 松前重義留学生奨学金 (2種)	入学試験(留学生一般入試のみ)の成績が優秀な私費外国人留学生に対して、学費を減免します。1年次秋学期以降は、前学期までの学業成績、人物等を審査し、優秀な留学生に対して学費を減免します。学期毎に大学が選考します。	給付 (学費減免)	学期 15万円
【松前重義記念基金】 自己研鑽奨学金	文化活動、スポーツ活動、社会活動、ボランティア活動などの各分野において優れた計画をもち、その実現に努力している学生に対して奨学金を給付します。	給付	個人：30万円以内 グループ：50万円以内
【松前重義記念基金】 建学記念奨学金 (建学記念論文)	本学が指定する課題について独創力豊かな論文を提出した学生に対して、審査のうえ、優秀者に奨学金を給付します。	給付	最優秀賞 20万円 優秀賞 10万円 入選 5万円
ワークスタディ奨学金	人物・学業成績に優れ、経済的理由により修学困難な学生に対して、本学内でのさまざまな学内関連業務を行うことにより奨学金を給付します。	給付	月額 2万5千円 (年額30万円)
キャンパス間留学 奨学金	キャンパス間留学が許可され、人物・学業成績ともに優れた学生に対して奨学金を給付します。	給付	28万円もしくは14万円(留学タイプまたは居住形態による) 2万円(短期)
国際交流奨学金	本学と協定を結んだ外国の大学への留学が許可され、人物・学業成績ともに優れた学生に対して奨学金を給付します。	給付	派遣先大学及び留学期間により異なる
応急奨学金	天災や火災等により家屋が被災または主たる家計支持者の死亡・失職等で家計が急変し、修学困難な第5セメスター以上(医学部医学科は5年次生以上)の学生に対して奨学金を貸与します。	貸与	当該学期に納付すべき学費相当額以内(60万円以内) 次学期に限り再申請可、貸与金は無利子
工学部航空宇宙学科 航空操縦学専攻 留学奨学金	ノースダコタ大学の実機訓練課程履修者全員に対して奨学金を給付します。	給付	ノースダコタ大学への留学期間中の各セメスターにつき50万円(総額150万円)
医学部医学科奨学金 (1種)	2年次以上の医学部医学科学生を対象に、人物、学業成績ともに特に優秀な学生に対して奨学金を給付します。	給付	年額 120万円(各学期60万円) ※医学部医学科奨学金(ひまわり)との併用不可
医学部医学科奨学金 (2種)	2年次以上の医学部医学科学生より募集を行い、応募者より人物、学業成績ともに優秀な学生に対して奨学金を給付します。	給付	年額 120万円(各学期60万円) ※医学部医学科奨学金(ひまわり)との併用不可
医学部医学科奨学金 (ひまわり) (公募枠)	学費納入が困難な2年次以上の医学部医学科学生に対して、その援助を目的に奨学金を給付します。	給付	年額 120万円(各学期60万円) ※医学部医学科奨学金との併用不可
佐藤兼蔵 貸与奨学金	医学部医学科・看護学科に在籍する学生で家計支持者の死亡・失職等で家計が急変し、修学困難となった学生に対して奨学金を貸与します。	貸与	医学科は年額300万円、看護学科は年額100万円を限度として貸与します。 (無利子、長期返還)
望星奨学金	医学部看護学科に在籍し、健康にして、学業成績、人物ともに優れ、経済的支援を必要とする学生に対して奨学金を貸与します。	貸与	月額 3万円(年額36万円)

※上表奨学金のうち、学部奨学金(2種)・自己研鑽奨学金・建学記念奨学金(建学記念論文)・ワークスタディ奨学金・キャンパス間留学奨学金・応急奨学金・医学部医学科奨学金(2種)・〈ひまわり〉・佐藤兼蔵貸与奨学金・望星奨学金は公募し、応募者の中から大学が選考します。募集時期については、入学後にお知らせします。

学部奨学金(1種)・松前重義留学生奨学金(1種・2種)・国際交流奨学金・医学部医学科奨学金(1種)は学業成績・人物・活動内容等を考慮して大学が選考します。

※上表奨学金のほか、大学が指定する学生に対して給付する奨学金に、スポーツ奨学金などがあります。

2. 東海大学後援会奨学金

本学には、学生の保護者で組織している後援会という組織があります。天災や火災などで家計が急変したときに後援会が応急的に生活費等を給付する奨学金制度です。

- ・給付金 一時金として5万円または10万円もしくは月額1万円～5万円（最長1年間）

3. 日本学生支援機構貸与奨学金（2022年度実績）

成績優秀であって経済的理由により修学困難な学生に対して、奨学金を貸与します。

- ・第一種奨学金（無利子貸与制度）

貸与月額 自宅通学者：2万円、3万円、4万円、5.4万円^{※1}から選択できます。

自宅外通学者：2万円、3万円、4万円、5万円、5.4万円^{※1}、6.4万円^{※1}から選択できます。

- ・第二種奨学金（有利子貸与制度）

貸与月額 2万円～12万円（1万円単位）から選択できます。 *利子：在学中は無利子、卒業後は年3%を上限とする利子つき。

※1 申込時の家計が一定額以下の場合のみ選択可能です。

※2 第一種奨学金と第二種奨学金との併用貸与ができます。修学支援新制度による給付奨学金と併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、併給調整として貸与を受けられる月額の上限額が調整されます。

※3 医学部医学科については、第二種奨学金で12万円貸与者は希望により、さらに4万円の増額貸与を受けることができます。

4. 高等教育の修学支援新制度

非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して、授業料等減免・給付奨学金の支援を行います。

- ・授業料等減免

入学金減免額：年額上限 26万円（1回限り）

授業料減免額：年額上限 70万円

- ・給付奨学金（日本学生支援機構より給付）

自宅通学者：月額上限 38,300円

自宅外通学者：月額上限 75,800円

※住民税非課税世帯に準ずる世帯の学生は、上記の額の2/3または1/3の支給額となります。

※入学手続き時には、所定の金額を納付していただき、入学後に減免額を還付する予定です。詳細については、本学オフィシャルサイトを必ずご確認ください。

5. 地方公共団体・一般育英団体奨学金

地方公共団体（都道府県・市町村）や、企業・財団などでも独自の奨学金制度を設けています（本学をとおして取り扱っている団体約50団体）。

下記の「日本の翼 育英奨学金」・「未来のパイロット」もそのひとつとして取り扱っています。（2023年度の実施については未定）

日本の翼 育英奨学金	東海大学をはじめ指定する日本国内の私立大学のパイロット養成課程に在籍し、一定の要件を満たす学生に対して、所定の選考を行い給付します。	給付	在学中、訓練の段階に応じて3回に分けて計500万円支給します。
未来の パイロット	東海大学をはじめ指定する日本国内の私立大学や専門学校のパイロット養成課程に在籍し、成績や英語能力評価等の要件を満たして審査に合格した学生に対し、奨学金を貸与します（東海大学の学生は、本専攻を通じて応募します）。	貸与	実機訓練費用として500万円の奨学金を一括貸与します（卒業後10年間の返済となります）。

■ お問い合わせ先

奨学金制度については、東海大学奨学金担当にお問い合わせください。

電話 0463-50-2504（直通）

〔医学部の奨学金については、メディカルサイエンスカレッジオフィス（教学ユニット）にお問い合わせください。〕

〔電話 0463-93-1121（代表）〕

III 個人情報情報の活用について

本学で取得した個人情報の利用方法は、以下のとおりといたします。

- ・入学選抜、学生証交付等、出願から入学までの一連の業務とそれらの各種連絡通知及び統計集計（本学における教育改善、学術研究を目的とした利用を含む）。
- ・入学後の修学（履修登録、名簿作成、学業成績等）、学籍（学籍処理、証明書発行、学位記（卒業証書）発行等）、学生生活（奨学生選考、健康診断、各種登録申請、施設利用等）に関する業務とそれらの各種連絡通知及び統計集計（本学における教育改善、学術研究を目的とした利用を含む）。
- ・統計集計結果の公表は、個人が特定されないよう匿名化された情報に限ります。

※上記、一連の業務を外部に委託する場合は、委託業務運営が健全に行われていることを事前に確認し、機密保持の守秘義務を定めた契約を締結して適正に管理・監督いたします（統計処理にあたり、外部の個人情報を活用する、または本学が取得した個人情報を外部に委託し、統計集計を行うことを含む）。

東海大学医学部医学科特別貸与奨学金（特定地域医療機関従事者）に関する規程

〈2022年度適用〉

制定 2009年4月1日

改訂 2011年4月1日 2014年4月1日 2017年4月1日 2018年4月1日 2020年4月1日 2021年4月1日 2021年10月1日

（目的）

第1条 この規程は、東海大学建学の精神に立脚した優秀な医師の養成及び医師不足地域における医療の充実に寄与することを目的とし、東海大学医学部医学科特別貸与奨学金（以下「奨学金」という。）制度について定める。

（奨学生の応募資格）

第2条 奨学生は、東海大学医学部医学科1年次に在籍し、健康にして、学業、人物ともに優れ、医師となる優れた資質を有すると認められた者で、卒業後医師の資格を取得し、ただちに本学医学部付属病院群（特定地域医療機関）で、定められた期間、医師又は医学部医学科教員として勤務する意志を有する者とする。

（奨学金の額及び採用人数）

第3条 奨学金の貸与は、年間1人200万円とする。

2 奨学生の採用人数は、毎年度12名（合計72名）とする。

（奨学金の貸与期間）

第4条 奨学金の貸与期間は、奨学生に採用した学年から、卒業までの最短修業年限とする。

（奨学金の貸与時期）

第5条 奨学金は、春学期と秋学期の2回に分けて貸与する。

ただし、新入生については、秋学期に一括貸与する。

（奨学生の採用）

第6条 奨学生を志望する者は、連帯保証人と連署した奨学生願書を提出しなければならない。

2 連帯保証人は、父母兄弟又はこれに代わる者にして、独立の生計を営む者とし、いつでも本人と連絡可能な者で奨学生に関する一切の責任を負う者でなければならない。

3 奨学生の採用は、「東海大学医学部医学科特別貸与奨学生選考委員会（特定地域医療機関従事者）」（以下「選考委員会」という。）の議を経て理事長が決定する。

4 選考委員会は、次の委員をもって構成する。なお、委員長は、医学部長とする。

- (1) 医学部長
- (2) 入試判定委員
- (3) 伊勢原事務部長
- (4) メディカルサイエンスカレッジオフィスマネージャー職以上の者
- (5) その他、委員長が必要と認めた者。

5 奨学生に採用された者は、誓約書及び奨学金借用証書を連帯保証人連署の上、提出しなければならない。

（奨学生の異動届出）

第7条 奨学生は、次の各号の一に該当する場合は、連帯保証人と連署の上、直ちに届け出なければならない。

- (1) 連帯保証人を変更した場合
- (2) 本人又は連帯保証人の住所、氏名、その他重要な事項に変更があった場合

（奨学金の休止及び復活）

第8条 奨学生が、留年した場合は、奨学金の貸与を休止する。

2 奨学金の貸与を休止された者が、進級し願い出たときは、

奨学金の貸与を復活する。

（奨学金の中止）

第9条 奨学生が、次の各号の一に該当する場合は、奨学金の貸与を中止する。

- (1) 本学医学部医学科または医学部付属病院群（特定地域医療機関）へ勤務する意志がなくなった場合。
- (2) 学業成績又は素行が著しく不良になったと認められる場合。
- (3) その他奨学金中止要件が生じた場合。

（奨学生の取消し）

第10条 奨学生が、次の各号の一に該当する場合は、奨学生の取消しを行う。

- (1) 転学科、退学、除籍により医学部医学科の学籍を失った場合。
- (2) 奨学生願書に虚偽の記入をしたことにより、奨学生となることが判明した場合。

（奨学金の返還等）

第11条 第9条及び第10条の適用により、奨学金の中止又は奨学生の取り消しを受けた場合は、奨学金を一括返還するものとする。

2 奨学生は、卒業に伴い奨学金の貸与が終了した時は、翌年に奨学金を一括返還するものとする。ただし、卒業後医師の資格を取得し、ただちに本学医学部付属病院群（特定地域医療機関）において、奨学金の貸与期間と同じ期間を医師又は医学部医学科教員として勤務した場合は返還を免除する。なお、貸与期間が3年に満たない場合は、3年以上勤務した場合、返還を免除する。

第12条 奨学生であった者が、次の各号の一に該当する場合には、願い出により、奨学金の返還を猶予又は免除することがある。

- (1) 前条2項のただし書き以降の条件に該当する期間及び勤務を前提に猶予を願い出た場合。
- (2) 死亡又は傷病疾病によって、返還が困難になったと認められる場合。
- (3) その他やむを得ない事由によって、返還が著しく困難になった場合。

第13条 前条の規定により、奨学金の返還猶予又は免除を受けようとするときは、本人又は相続人は、連帯保証人と連署の上、死亡によるときは、戸籍抄本、重度の身体障害又は疾病その他の障害によるときは、その事実及び程度を証する診断書、その他の場合は、返還不能の事情を証する書類を添付し、奨学金返還猶予願又は奨学金返還免除願を速やかに提出しなければならない。

（返還の強制）

第14条 奨学金の返還をする者が、6か月以上これを延滞したときは、民事訴訟法の定める強制執行の手に従い、これに要した費用を含め、本人又は連帯保証人は、直ちに支払う義務を負うものとする。

（奨学生であった者の届出）

第15条 奨学生が卒業又は学籍を離れたときは、直ちにその住所及び職業を届け出なければならない。

2 奨学金返還完了以前に氏名、住所、職業又はその他重要な

事項に変更があったときは、直ちに届け出なければならない。

- 3 奨学金返還完了以前に、届け出た連帯保証人の住所、氏名又は連帯保証人その他重要な事項に変更があったときには、直ちに届け出なければならない。

(奨学金の事務担当)

第16条 奨学金に関する事務は、メディカルサイエンスカレッジオフィスが行う。

第17条 この規程の施行についての必要な事項は、内規に定める。
(規程の改廃)

第18条 本規程の改廃は医学部教授会の議を経て施行する。

付 則

この規程は、2009年4月1日から施行する。

付 則

- 1 この規程は、2014年4月1日から施行する。
2 2013年度までに医学部特別貸与奨学生として採用された学生は、旧規程（2011年4月1日付改訂）を適用する。

付 則

- 1 この規程は、2017年4月1日から施行する。
2 2016年度までに入学した者は、最短修業年限まで旧規程（2014年4月1日付改訂）を適用する。

付 則

- 1 この規程は、2018年4月1日から施行する。
2 2017年度に入学した者は、最短修業年限まで旧規程（2017年4月1日付改訂）を適用する。

付 則

この規程は、2021年10月1日から施行する。

東海大学医学部医学科特別貸与奨学金（特定地域医療機関従事者）に関する運用細則【抜粋】

〈2022年度適用〉

制定 2017年4月1日

改訂 2018年4月1日 2019年4月1日 2020年4月1日 2021年4月1日 2021年10月1日

学業、人物ともに優秀で医師不足地域における医療の充実へ寄与する意志のある学生に貸与される医学部医学科特別貸与奨学金について、提出された願書にもとづき本学が指定する地域医療機関への就業意志を面接により確認し、成績・人物について審査する。提出された願書にもとづき成績・人物評価・地域枠の主旨及び理解の3点を主眼に審査し、採用候補者を東海大学医学部医学科特別貸与奨学金（特定地域医療機関従事者）選考委員会において審議し、これを原案として医学部教授会に推薦するものとする。

1. 採用定員：医学部医学科1年次12名（全体で72名以内）
内訳は一般選抜5名、大学入学共通テスト利用選抜2名、附属学校推薦型選抜3名、総合型選抜2名とする。
2. 採用期限：採用した学年から、最短修業年限までとする。
3. 貸与金額：半期100万円（年間200万円）
4. 継続審査：2年次並びに3年次終了時の成績が上位1/2以上（カラーコード緑色）であること。
 - 1) 2年次並びに3年次終了時の成績が上位1/2以上に達しない場合は、次年度の奨学金貸与を停止する。但し、停止を受けた年度の終了時の成績が上位1/2以上であれば、次年度奨学金の貸与を再開する。
 - 2) 1)の再審査で成績が上位1/2未満の場合、採用期限内は毎年再審査を行う。
5. 成績不振による本学医学部付属病院群臨床研修医採用試験アンマッチの処置について
臨床研修医採用試験におけるマッチング順位付けは、臨床研修部の定める基準で決定する。本学臨床研修に採用されない場合、また、臨床研修修了後に専攻医として、本学臨床助

手として採用されなかった場合は、医学部医学科特別貸与奨学金第9条3項に基づき「中止」とし、その処置として翌年奨学金を原則として一括返還するものとする。

6. 返還猶予について

医学部医学科特別貸与奨学金第12条に基づき返還猶予を申請したものは、年度初めに業務従事届を勤務先に提出し勤務状況の証明を得る。同書類を4月20日までにメディカルサイエンスカレッジオフィスへ提出し、返還猶予の期間に換算する。

医師の資格を取得後、ただちに本学医学部付属病院群（特定地域医療機関）において、奨学金の貸与期間と同じ期間を医師又は医学部医学科教員として勤務した場合は返還免除の書類を送付する。ただし、業務従事届により奨学金の貸与期間と同じ期間を医師又は医学部医学科教員として勤務していないことが判明した時点で返還に伴う書類を送付する。

7. 医師国家試験不合格の場合の措置

同奨学金の貸与を受けた者が、本人の責に帰さない事由もしくは疾病等により本人の実力が十分発揮できず、大学を卒業する日の属する年度に実施される医師国家試験で不合格となった場合の取扱いは、当分の間、次に掲げるところにより行うこととする。

- (1) 同奨学金の貸与を受けた者が、卒業年度の翌年度に実施される医師国家試験に合格後、本学の指定する地域医療機関へ就業し同規程第11条2項に定める期間に達するまで業務従事する意志を有するときは、本人の責に帰さない事由もしくは疾病等を証明する書類を添えて、大学へ文書で申し出ることとする。
- (2) 本項に掲げる期間に医師国家試験に合格しない場合は、翌年に奨学金を一括返還するものとする。

東海大学
TOKAI UNIVERSITY

入試情報
2024



TOKAI
UNIVERSITY

医学部医学科 入学選抜

総合型選抜 医学部医学科(希望の星育成)

現役のみ

本学の「建学の精神」、医学科のアドミッション・カリキュラム・ディプロマの各ポリシーを理解し、本学医学科への入学を強く希望する方を対象に行う「人物重視型」の入試です。

一般選抜

大学入学共通テスト利用選抜

全国一斉に実施される大学入学共通テストの結果を基に選抜する入試です。高校までに習得すべき能力が備わっているかを判断します。

医学部神奈川県地域枠選抜※(大学入学共通テスト利用型)

出身等の条件有

地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後一定期間、神奈川県内の指定する地域医療機関への従事を希望する方を対象とする入試です。

医学部静岡県地域枠選抜※(大学入学共通テスト利用型)

出身地不問

地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後一定期間、静岡県内の指定する地域医療機関への従事を希望する方を対象とする入試です。

医学部医学科特別選抜(展学のすすめ)

出願資格要確認

これまでの自身の学びと背景を生かし、自ら積極的に学ぶ強い意欲を持ち、他の学生とともに成長できる人材を求める社会人向けの入試です。

※申請計画中。詳細は東海大学オフィシャルサイトをご確認ください。

医学部医学科 入試日程

入試制度	出願期間	第一次選考	合格発表日	第二次選考	合格発表日	入学手続期間
総合型選抜 医学部医学科 (希望の星育成)	2023年 9/20(水)▶ 10/10(火)(必着)	2023年 10/22(日)	2023年 11/1(水)	出願期間	2024年 2/8(土)	2024年 2/8(土) (締切・消印有効)
				2023年 12/11(月)▶12/20(水)(必着)		
				試験日 大学入学共通テスト 2024年 1/13(土)・14(日)		
一般選抜	2024年 1/4(土)▶ 1/20(土)23:59まで ※Web登録後、書類を提出。 2024年1/23(火)(必着)	2024年 2/2(金)・3(土) いずれでも受験可能			2024年 2/17(土)▶ 2/24(土) (締切)	
大学入学共通テスト 利用選抜				2024年 2/11(日・祝)・12(月・休) 受験日は出願時に選択 ※2つ以上の試験で第一次選考 を合格した場合には、第二次 選考を同日にして受験する ことが可能。	2024年 2/17(土)	2024年 2/17(土)▶ 2/24(土) (締切・消印有効)
医学部 神奈川県地域枠選抜※ (大学入学共通テスト利用型)	2024年 1/4(土)▶ 1/12(金)23:59まで ※Web登録後、書類を提出。 2024年1/16(火)(必着)	大学入学共通テスト 2024年 1/13(土)・14(日)	2024年 2/8(土)			
医学部 静岡県地域枠選抜※ (大学入学共通テスト利用型)						
医学部医学科特別選抜 (展学のすすめ)	2023年 9/11(月)▶ 9/29(金)(必着)	2023年 10/28(土)	2023年 11/6(月)	2023年 11/19(日)	2023年 12/1(金)	2023年 12/1(金)▶ 12/14(土) (締切)

医学部医学科 神奈川県地域枠選抜※ (大学入学共通テスト 利用型)

1月・2月 入試 Web 出願 Web 入学試験要項 9月頃 /

入学検定料

37,000円

入試結果2023 ▶ p.74

2023年度 小論文課題について ▶ p.81

※申請計画中。詳細は東海大学オフィシャルサイトをご確認ください。

入学試験要項は本学
オフィシャルサイト内に
ある入試情報特設ページ
よりご確認ください。



特色

- ◆ 地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、神奈川県の指定する地域医療機関で一定期間以上勤務する医療従事者の育成を目的とする入試です。
- ◆ この入試に合格し、入学した方には神奈川県地域医療医師修学資金(6年間で720万円/月額10万円)の貸与を予定しています。卒業後、一定期間(9年間)以上、神奈川県の指定する地域医療機関へ従事した場合には、貸与した資金全額の返還が免除されます。

▶ 入試日程・試験場

	第一次選考	第二次選考
出願期間	2024年 1/4(木) ▶ 1/12(金) 23:59まで ※Web登録後、書類を提出。2024年1/16(日)(必着)	
試験日	大学入学共通テスト 2024年 1/13(土)・14(日)	2024年 2/11(日・祝)・12(月・休) ※受験日は、出願時に選択
試験場	大学入試センターから指定された会場	伊勢原キャンパス
合格発表日	2024年 2/8(木)	2024年 2/17(土)
入学手続期間		2024年 2/17(土) ▶ 2/24(土) (締切・消印有効) *

注意 第一次選考合格発表日については、入学試験要項(Web)を必ずご確認ください。
*入学手続には、学費・諸会費を2回に分割して納入する方法もあります。その場合の分割2回目の入学手続締切日は2024年3月8日(日)(締切・必着)とします。

▶ 出願資格

地域医療等に従事する明確な意思を有し、神奈川県が定める県内出身者の条件を満たし、卒業後、一定期間、神奈川県の指定する地域医療機関への従事を希望する者で、かつp.19の出願資格に該当する者。

[県内出身者] 次のいずれかに該当する者

- ① 大学入学した時点において、神奈川県内に1年以上居住したことがある者。
- ② 神奈川県内に所在する高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者。

▶ 出願要件

p.19の出願要件参照。

▶ 選抜方法

- | | |
|-------------------|---------|
| [第一次選考] | [第二次選考] |
| 1. 本学所定の書類による書類審査 | 1. 小論文 |
| 2. 大学入学共通テスト | 2. 面接試験 |

▶ 試験科目及び時間・配点など

	試験教科	試験科目	配点	満点	
第一次選考	大学入学共通テスト	外国語	「英語」(リスニング含む)※	200点 (リーディング 100点×1.6) (リスニング 100点×0.4)	600点
		数学	「数学Ⅰ・数学A」	100点	
			「数学Ⅱ・数学B」	100点	
		理科	「物理」「化学」「生物」	2科目選択 100点・100点	
第二次選考		小論文(500字) 9:30 ~ 10:15 (45分) <p.81を参照> 面接試験 10:45 ~ (1人10~20分程度×2回)			

※「大学入学共通テスト」の受験においてリスニングを免除されている場合は、「リーディング」の得点(満点:100点)を換算して配点を200点とする。

よくある質問及び回答(Q&A) [医学部神奈川県地域枠選抜について]

- | | |
|--|---|
| Q 出身地や居住地が神奈川県でない受験できないのでしょうか? | A 上記、出願資格の[県内出身者]の条件に該当すれば受験可能です。 |
| Q 一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜、医学部静岡県地域枠選抜を併願することはできますか? | A 可能です。複数の試験の第一次選考を合格した場合は、第二次選考の受験日を同一日にすることも可能です。 |

医学部医学科
静岡県地域枠選抜※
 (大学入学共通テスト
 利用型)

1月・2月 入試 Web 出願 Web 入学試験要項

入学検定料
 37,000円

出身地
 不問

入試結果2023 ▶ p.74
 2023年度 小論文課題について ▶ p.81

※申請計画中。詳細は東海大学オフィシャルサイトをご確認ください。



- ◆ 地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、静岡県の指定する地域医療機関で一定期間以上勤務する医療従事者の育成を目的とする入試です。
- ◆ この入試に合格し、入学した方には静岡県医学修学研修資金(6年間で1,440万円/月額20万円)の貸与を予定しています。卒業後、一定期間(16年間のうち、9年間)以上、静岡県の指定する地域医療機関へ従事した場合には、貸与した資金全額の返還が免除されます。

入学試験要項は本学
 オフィシャルサイト内に
 ある入試情報特設ページ
 よりご確認ください。

▶ 入試日程・試験場

	第一次選考	第二次選考
出願期間	2024年 1/4(木) ▶ 1/12(金) 23:59まで ※Web登録後、書類を提出。2024年1/16(日)(必着)	
試験日	大学入学共通テスト 2024年 1/13(土)・14(日)	2024年 2/11(日・祝)・12(月・休) ※受験日は、出願時に選択
試験場	大学入試センターから指定された会場	伊勢原キャンパス
合格発表日	2024年 2/8(木)	2024年 2/17(土)
入学手続期間		2024年 2/17(土) ▶ 2/24(土) (締切・消印有効) *

注意 第一次選考合格発表日については、入学試験要項(Web)を必ずご確認ください。
 * 入学手続には、学費・諸会費を2回に分割して納入する方法もあります。その場合の分割2回目の入学手続締切日は2024年3月8日(日)(締切・必着)とします。

▶ 出願資格

地域医療等に従事する明確な意思を有し、卒業後、一定期間、静岡県の指定する地域医療機関への従事を希望する者で、かつp.19の出願資格に該当する者。

▶ 選抜方法

- [第一次選考]
1. 本学所定の書類による書類審査
 2. 大学入学共通テスト
- [第二次選考]
1. 小論文
 2. 面接試験

▶ 出願要件

p.19の出願要件参照。

▶ 試験科目及び時間・配点など

試験教科	試験科目	配点	満点	
第一次選考 大学入学 共通テスト	外国語	「英語」(リスニング含む)※	600点	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」		200点 (リーディング 100点×1.6) (リスニング 100点×0.4)
		「数学Ⅱ・数学B」		100点
	理科	「物理」「化学」「生物」		100点・100点
第二次選考	小論文(500字) 9:30～10:15 (45分) <p.81を参照> 面接試験 10:45～ (1人10～20分程度×2回)			

※「大学入学共通テスト」の受験においてリスニングを免除されている場合は、「リーディング」の得点(満点：100点)を換算して配点を200点とする。

よくある質問及び回答(Q&A) [医学部静岡県地域枠選抜について]

- Q 出身地や居住地が静岡県でないと受験できないのでしょうか？
- A いいえ。出身地・居住地に関わらず受験可能です。卒業後に静岡県の指定する地域医療機関において、一定期間以上、従事する意思を持っている方を募集します。
- Q 一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜、医学部神奈川地域枠選抜を併願することはできますか？
- A 可能です。複数の試験の第一次選考を合格した場合は、第二次選考の受験日を同一日にすることも可能です。

総合型選抜 ▶ p.9 ~ 14

学校推薦型選抜 ▶ p.15 ~ 18

医学部医学科以外
 学力選抜 ▶ p.19 ~ 41

編入学選抜 ▶ p.42

留学生選抜 ▶ p.43

医学部医学科
 入学選抜 ▶ p.44 ~ 51

早期医学実習 [EM] *Early Medical Training*

科目担当責任者 津田 万里(緩和医療学)

[科目のねらい]

良医になる第一歩として、医学部・病院においてどのような診療・基礎医学研究が行われているかを学修する。医学生になった自分の置かれた状況、立ち振る舞い、延いては責任感の社会からの要求度が一般の大学生と全く違うということを再認識する。

[キーワード]

プロフェッショナリズム、病院実習、基礎研究、感染対策、BLS

[授業で育成する力・スキル]

医師を志す学生に値する資質・能力を有しているかを評価する講座である。医学的知識を持たない1年生が病棟実習・基礎医学研究に参加できることに感謝し、真摯に向き合い、積極的に参加し、周囲のスタッフに不快な思いをさせないという医療者として最低限必要な資質・能力を有しているかを確認する。

[具体的な学修目標(コンピテンシー小項目)]

- 医学部1年生として感染対策を含めた責任のある態度がとれる
- 実際に働いている医療従事者に不快な思いをさせずに行動できる
- 実習前に事前学習し、時と場所に応じて自ら行動できる
- チーム医療に医学部1年生として参加する
- 社会が医師に何を求めているかを認識する
- BLSを実践できる

[科目の要旨・概要]

重要な伝達事項は Open LMS のメッセージで送信する。対象者は後日面談を行う可能性がある
ので、必ず Open LMS を平日は毎日確認すること。48 時間以内に返信のない場合は再履修の対象となるので必ず平日は毎日確認すること。

臨床実習、基礎研究、講義および BLS(Basic Life Support) 実習で構成される授業である。

5・6月に2度、東海大学医学部附属病院の診療科の外来において、見学型臨床実習を行う。病棟実習に向けての講義を行う。夏季に3週間集中の実習期間を設ける。そのうち1週間は基礎医学研究に参加し、2週間は各診療科をローテーションする。

5・6月の見学型臨床実習では医師がどのように患者さんに接しているかを見学することで将来自分なるべき姿を思い描く。

講義では病棟実習に際しての最低限の知識・技能を修得する。

夏季の基礎医学研究では、医学部ではどのような基礎研究が行われ、臨床に繋がっているかを体験する。臨床の実習では、臨床医に帯同し、医師の1日を体験する(シャドウイング)。「チーム医療の体験」「医師の社会的役割の認識」「患者中心の医療への参加」を体験する。

BLS 実習(心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置)では、BLS 技能を修得する。BLS 実習の日程は個別に設定される。

[成績評価の方法および基準]

100 点満点で 80 点以上を合格とする。

診療科； 毎日の感想レポート(2点 x8回)、中間発表で自分が経験した診療科についてプレゼンテーションし、情報共有する。学生間 peer review を行う(15 点 x2回)。最終日にも small group discussion を行い、自分の将来の医師像についてレポートを提出する(8点)。指導担当教員からルーブリック評価(2点 x8回)が行われる。

基礎医学研究； 毎日の感想レポート(2点 x5回)、指導教員からのルーブリック評価(15 点)、終了後振り返りレポート(3点)で評価する。

講義；課題のレポート(2点)で評価する。

BLS 実習； 実習終了時に実技試験を行い、合否判定する。不合格の場合はその場で再試験を行う。合格するまで繰り返す。

・再履修

以下の場合、翌年度再履修の対象となる

- ・診療科と基礎医学の合計が 80 点以下、もしくは無断欠席があった場合
- ・BLS 実習の無断欠席
- ・アンプロフェッショナル行為(周囲に不快な思いをさせる行為)があった場合
- ・1年次の留年者

[アクティブラーニング科目]

該当する 該当しない

[地域志向による学修内容]

有 無

[課題・試験・レポート等のフィードバック方法]

Open LMS で科目責任者が適宜フィードバックする。実習期間に限らず必ず平日はログインすること。48 時間以内に返信がない場合は再履修の対象となる。

[教科書]

診療科実習の際はあらかじめ病院公式ホームページなどで実習先の科の概要を把握しておくこと。また、実習前日に必ず翌日の集合場所を確認しておくこと。

[参考図書・その他の教材]

特になし

[教員への連絡先]

mm1_em@tsc.u-tokai.ac.jp

人間関係学 [HB] *Human Behavior*

科目担当責任者 山本 賢司(精神科学)

[科目のねらい]

臨床医にふさわしい態度、コミュニケーションを修得する。医学の修得に当たるためには、人間の尊厳に対する畏敬の念と人間性に対する真摯な関心を有していることが要求される。医療や福祉の現場の実際を知り、そこに携わる人々がいかに現場を支え、課題に対してどのように立ち向かっているかを学び、医師になるために必要な態度、コミュニケーションとは何かを各自考える。

[キーワード]

「コミュニケーション」「医師としての態度・姿勢」「人間の尊厳」

[授業で育成する力・スキル]

1. 豊かな人間性
2. 医師として人間関係構築に必要な社会常識や姿勢
3. 医療連携の実際の認識

[具体的な学修目標(コンピテンシー小項目)]

1. 医師として人間関係構築に必要な社会常識や姿勢を理解し、実践する。
2. 福祉の機構の概略を把握し、施設利用者や職員の立場、状況を説明できる。
3. 介護や援助を必要とする人々に対する接し方を実践できる。
4. 将来医療に従事する者として、医療連携の実際を概説できる。
5. 家族や同年輩の友人以外の人とのコミュニケーションを理解し、実践する。

[科目の要旨・概要]

1. 講義

医療領域において第一線の活躍をしている講師陣の、それぞれ最も専門としている領域の講義を聴講し、医療に携わる上での基本姿勢や心構えなどについて学ぶ。それぞれの講義はその回ごとに完結するので、系統的な講義ではない。各講義終了後に、講義で学んだことや感じたことをレポートで提出する。

2. 福祉施設研修

①オリエンテーション

福祉施設の種類やその特徴を理解する。

人の行動やコミュニケーションについて学び、グループワークを通じて自らのコミュニケーション・スキルを振り返り、医療者として必要なコミュニケーション・スキルを身に付ける。

②福祉施設実習

福祉の現場を見学し、可能な範囲で実際の業務を体験する。

[成績評価の方法および基準]

成績の評価は、講義の出席率、講義レポートの提出率、福祉施設研修オリエンテーションのレポート、グループワークの学生間相互評価(ピアレビュー)、福祉施設実習での評価、施設研修のレポート提出(必須)を総合して行う。なかでも福祉施設実習の評価を最も重視する。レポート内容や福祉施設実習評価が不良の者には面接や追加課題及び再度の福祉施設実習を行うことがある。加えて、評価における不正行為や福祉施設実習における著しく不適切な行動は「アンプロフェSSIONナル・レポート」の対象となり、進級判定会議において審査を受ける。

評価レベル	評価内容
Sレベル	講義出席率・レポート提出率が 100%。福祉施設実習オリエンテーションでの評価、グループワークの学生間相互評価が一定の基準を満たすもの。福祉施設実習で、マナー、利用者への態度など職員からの評価が非常に良い。
Aレベル	講義出席率・レポート提出率が 80%以上。福祉施設実習オリエンテーションでの評価、グループワークの学生間相互評価が一定の基準を満たすもの。福祉施設実習で、マナー、利用者への態度など職員からの評価が良い。
Bレベル	講義出席率・レポート提出率が 80%以上。福祉施設実習オリエンテーションでの評価、グループワークの学生間相互評価が一定の基準を満たすもの。福祉施設実習で、マナー、利用者への態度など職員からの評価がやや良い。
Cレベル	講義出席率・レポート提出率が 80%以上。福祉施設実習オリエンテーションでの評価、グループワークの学生間相互評価が一定の基準を満たすもの。福祉施設実習で、マナー、利用者への態度など職員からの評価が良いとは言えないが不可とする程ではない。
Dレベル	講義出席率・レポート提出率が 80%以上。福祉施設実習オリエンテーションでの評価、グループワークの学生間相互評価が一定の基準に達しないもの。福祉施設実習で、マナー、利用者への態度など職員からの評価が不可のもの。

【アクティブラーニング科目】

該当する 該当しない

福祉施設研修のオリエンテーションでコミュニケーションに関するグループワークを行い、学生間相互評価を行う。

【地域志向による学修内容】

有 無

【課題・試験・レポート等のフィードバック方法】

- ・各レポートは担当教員が評価を行う。評価上で一定基準を満たさないレポート、もしくは記載に問題があるレポートに関しては記載学生と対面で面談を行い、評価をフィードバックし、改善点を話し合った上で再提出を求める。
- ・福祉施設研修では、オリエンテーションで学生間評価、福祉施設実習では外部評価として各福祉施設の実習担当者が学生の評価を行う。評価に問題や疑義のある学生にはその内容をフィードバックし、問題点を話し合った上でレポートの提出、再実習を求める。

【教科書】

該当なし

【参考図書・その他の教材】

教科書や参考図書の指定は特になし。なお、今後諸君は、医師として諸外国の人々と人間関係を構築する機会を経験することになると思う。その際、日本とは何か、日本人とは何かについて考えておくことは、諸君が国際人として人間関係を深める一助となる。以下は、それらについて考えるヒントとなる参考図書である(著者 50 音順)。興味ある図書について、学生時代にぜひ紐解いてみてほしい。

- 1.『日本文化史』家永三郎 岩波新書
- 2.『自由と規律』池田潔 岩波新書
- 3.『日本文化論』梅原猛 講談社学術文庫

4. 『もういちど読む山川世界現代史』 木谷勤 山川出版社
 5. 『明治維新と近代化—現代日本を産みだしたもの』 桑原武夫 小学館
 6. 『日本医学教育史』 坂井建雄編 東北大学出版会
 7. 『世界のなかの日本—十六世紀まで遡って見る』 司馬 遼太郎、ドナルド キーン 中公文庫
 8. 『もういちど読む山川日本近代史』 鳥海靖 山川出版社
 9. 『私の個人主義』 夏目漱石 講談社学術文庫
 10. “Bushido: The Soul of Japan” Inazo Nitobe, Wilder Publications (『武士道』 新渡戸稲造、矢内原忠雄翻訳 岩波文庫)
 11. 『私とは何か—「個人」から「分人」へ』 平野啓一郎 講談社現代新書
 12. “The Chrysanthemum and the Sword” Ruth Benedict, Mariner Books (『菊と刀』 ルース・ベネディクト、長谷川松治翻訳 講談社学術文庫)
- ※2と9は推薦図書として図書館に所蔵

配布される福祉施設実習ノートを参考に、事前に実習先の施設について調べ、どんなことを学びたいか考えてから実習に臨むこと。

[教員への連絡先]

mm2_hb@tsc.u-tokai.ac.jp

2023年度 木曜開講科目

学年	手引 番号	登録科目名	科目責任者	実施 形態	認定 時間	履修 人数	申告 番号	①	②	③	④	⑤	使用教室(初回集合教室) ※対面形式の場合
								4/27 5/11 5/18	5/25 6/1 6/8	6/15 6/22 6/29	11/9 11/16 11/30	12/7 12/14 12/21	
2 ・ 3	1	生活習慣病の成り立ちと予防～栄養と運動の重要性について～	西崎 泰弘	遠隔	10	15	5101					○	
	2	がんとはどんな病気なのか	小林 広幸	遠隔	10	40	5102					○	
	3	臓器・組織移植と人工臓器	中村 道郎	遠隔	10	15	5103		○				
	4	HIV感染症の臨床	柳 秀高	遠隔	10	30	5104			○			
	5	血圧	小澤 秀樹	遠隔	10	30	5105		○				
	6	動脈硬化	小澤 秀樹	遠隔	10	30	5106			○			
	7	心血管インターベンションの最前線	伊莉 裕二	対面	10	15	5107		○				1-7D01
	8	不整脈の診断と治療	吉岡公一郎	遠隔	10	20	5108	○					
	9	僻地医療の実態	海老原明典	遠隔	10	5	5109		○				
							5110				○		
	10	認知症のすべて	今関 良子	遠隔	10	40	5111			○			
	11	呼吸器外科領域のABC	岩崎 正之	遠隔	10	10	5112		○				
	12	小児外科学	渡辺 稔彦	遠隔	10	15	5113					○	
	13	スポーツと整形外科	内山 善康	遠隔	10	16	5114				○		
	14	運動器疾患の診断手技	佐藤 正人	遠隔	10	16	5115					○	
	15	形成外科学ハンズオンテクニカルセミナー	赤松 正	対面	10	4	5116		○				1号館8階-形成外科学CR(8G06)
							5117			○			
							5118				○		
							5119					○	
	16	口腔の構造と疾患	鈴木 崇嗣	遠隔	10	20	5120	○					
							5121					○	
	17	臨床児童青年精神医学入門	三上 克央	対面	10	20	5122					○	1-5FC
	18	基礎から考える眼科学	鈴木 崇弘	対面	10	4	5123				○		1号館9階-眼科医局
	19	脳・脊髄障害のリハビリテーション	児玉 三彦	遠隔	10	36	5124		○				
	20	酸素分圧の環境生理-低酸素、高気圧酸素、宇宙	木ノ上高章	対面	10	10	5125					○	1-8E08、HBO室
	21	運動器障害のリハビリテーション	児玉 三彦	遠隔	10	36	5126					○	
	22	家庭医療 / 総合診療について	小澤 秀樹	対面	10	12	5127				○		1号館画像カンファレンスルーム3
23	口腔外科手術学	伊澤 和三	対面	10	5	5128			○			1号館5階5G19教室、口腔外科外来、手術室	
						5129				○			
						5130					○		
24	基礎から学ぶ神経疾患	永田栄一郎	遠隔	10	20	5131					○	1号館6階6D01教室など	
25	歯科口腔外科学	唐木田一成	遠隔	10	20	5132			○				
26	肝線維化と再生の科学	柳川 享世	対面	10	2	5133	○					1号館6階6C16	
27	人工構造体(人工皮膚)を用いる再生医療の基礎研究	住吉 秀明	対面	10	2	5134		○				1号館6階6C17	

2023年度 木曜開講科目

学年	手引 番号	登録科目名	科目責任者	実施 形態	認定 時間	履修 人数	申告 番号	①	②	③	④	⑤	使用教室(初回集合教室) ※対面形式の場合	
								4/27 5/11 5/18	5/25 6/1 6/8	6/15 6/22 6/29	11/9 11/16 11/30	12/7 12/14 12/21		
2 ・ 3	28	小児診療から学ぶ医師の基本的価値観	山田 佳之	対面	10	20	5135			○			1-7D01	
	29	鍼灸学	野上 達也	対面	10	10	5136					○	1-8E07	
	30	補完代替医療(アロマセラピー)	野上 達也	対面	10	10	5137	○					1-8E07	
	31	疫学研究の実践(木曜開講科目)	立道 昌幸	対面	10	3	5138				○		1号館2階2F12(衛生学公衆衛生学)	
	32	画像診断学に必要な臨床画像解剖学	岡崎 隆	遠隔	10	8	5139	○						
	5140							○						
	5141								○					
33	Beyond 良医入門	津田 万里	対面	10	12	5142	○					1-8E08,1-8E09		
34	脳神経外科	重松 秀明	対面	10	3	5143		○					1号館8階脳神経外科医局	
						5144			○					
						5145				○				
						5146					○			
35	血液型・DNA検査実習	大澤 資樹	対面	10	4	5147			○			1号館1階-法医学領域		
36	EBM実習	古屋 博行	遠隔	10	6	5148					○			
37	内分泌病理学Update	梶原 博	遠隔	10	12	5149				○				
38	法医解剖実習	垣本 由布	対面	10	4	5150				○			1号館1階-法医学研究室	
						5151					○			
39	漢方医学 I	野上 達也	遠隔	10	60	5152				○				
40	脊髄腫瘍・馬尾腫瘍の病態と治療	渡辺 雅彦	遠隔	10	10	5153						○		
41	EBMに基づく内科診療とシミュレーターによる胸部診察の実習	小澤 秀樹	対面	10	10	5154						○	1週目画像C.R.③、2・3週目スキルクリニック	
42	免疫学アドバンスコース	穂積 勝人	対面	10	4	5155		○					1号館2階-2E40教室	
43	臨床倫理学・臨床遺伝学	竹下 啓	対面	10	2	5156			○				医療倫理学会議室及び遺伝子診療科外来	
						5157				○				
44	婦人科腫瘍エクスターン	平澤 猛	対面	10	2	5158			○				1号館5F産婦人科学研究室	

2023年度 冬期集中開講科目

学年	手引 番号	登録科目名	科目責任者	実施 形態	認定 時間	履修 人数	申告 番号	1月					2月					使用教室(初回集合教室) ※対面形式の場合			
								29	30	31	1	2	5	6	7	8	9				
								月	火	水	木	金	月	火	水	木	金				
2 ・ 3	45	脊椎動物発生における脊索シグナル	阿部幸一郎	対面	60	2	5201	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1号館1階-分子生命科学研究室	
	46	救命処置(一次・二次)マスターコース	浦野 哲哉	対面	30	6	5202	○	○	○	○	○								スキルクリニックトレーニングルーム1	
	47	病理診断学(冬期集中実習)	梶原 博	対面	30	3	5203	○	○	○	○	○									病理診断センター・1号館鏡検室
							5204						●	●	●	●	●				
	48	臓器線維症の治療戦略	柳川 享世	対面	30	1	5205	○	○	○	○	○								1号館6階6C16	
	49	呼吸器外科冬期臨床実習	岩崎 正之	対面	30	5	5206	○	○	○	○	○									1-8D02
							5207						●	●	●	●	●				
	50	医学情報解析のための計算機プログラミング	今西 規	対面	30	3	5208	○	○	○	○	○									1号館7階7G04
	51	法医学における研究	大澤 資樹	対面	30	2	5209	○	○	○	○	○									1号館1階-法医学領域
	52	脳神経発達科学入門	飯島 崇利	対面	30	3	5210	○	○	○	○	○									1号館5階5C区画(5C09, 5C10, 5C11, 5C14)
	53	疫学研究の実践(冬期集中開講科目)	立道 昌幸	対面	30	3	5211									●	●	●	●	●	1号館2F12衛生学公衆衛生学教室
	54	臨床医工学	小路 直	対面	30	20	5212	○	○	○	○	○									1-5FC
	55	遺伝子多型解析演習	鬼塚 真仁	対面	30	10	5213	○	○	○	○	○									再生医療カンファレンス室
5214																●	●	●	●	●	
56	はじめての／それからのウイルス学	野田 敏司	対面	30	8	5215									●	●	●	●	●	1-8F08	
57	緩和ケア内科冬期集中エクスターン	津田 万里	対面	30	2	5216	○	○	○	○	○									1-3G14	
						5217										●	●	●	●		●
3	58	薬の受容体に関する研究	吉川 正信	対面	30	2	5218								●	●	●	●	●	1号館5階-臨床薬理学研究室	
	59	神経内科エクスターン	安部 貴人	対面	60	2	5219	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1号館6階脳神経内科医局
	60	口腔外科エクスターン	青木 隆幸	対面	30	4	5220	○	○	○	○	○									1号館5階-口腔外科学教室 口腔外科外来 14A病棟 手術室
							5221										●	●	●	●	
61	IVFエクスターン	佐藤 健二	対面	30	2	5222	○	○	○	○	○									5号館産婦人科外来または体外受精培養室(中央手術室内)	

9. 僻地医療の実態

担当領域：呼吸器内科学 <2・3年次>

科目責任者：海老原明典
 責任者以外の担当者：なし
 開講期間：第2クール、第4クール
 履修時間数：10時間
 履修人数：5人
 授業形態：遠隔

概要：

「僻地医療」という言葉のイメージはどのようなものでしょうか。今、マスコミ等では盛んに、地方の医師不足を報じており、地域医療の崩壊や診療科毎の医師偏在に大きな関心が寄せられています。しかし、現実には問題の解決につながる根本的な案はありません。原因の一つに、現場の声が反映されず、真実が伝わっていないことが挙げられます。是非皆さんと一緒に本当の現場の状況を検証してみましょう。

評価方法：

講義はディスカッション形式で行います。その中で自分の意見や感想を述べてもらい、参加者各自がそれらの意見に対する考えや自分の意見との比較検討を行ってもらいます。積極的な発言や多岐に渡る問題に対する解決能力を成績評価の基準とします。

コンピテンス・コンピテンシーのパフォーマンス（修得）レベル：

コンピテンシー コンピテンス	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x
I 豊かな人間性	C	C	C	-						
II 社会的役割の認識	D	D	D	-	D	D	D	D	D	D
III 論理的・創造的思考力	D	D	D	D						
IV 応用可能な医学的知識	D	-	D	D	-	-	-	D	D	D
V 総合的医療実践技能	D	-	-	-	-	-	D	D	D	D
VI グローバルな視点	A	D	-							

社会医学1 [PS1] *Public Health and Social Medicine 1*

科目担当責任者 立道 昌幸(衛生学公衆衛生学)

[科目のねらい]

「社会医学」には公衆衛生学・衛生学・疫学と法医学が含まれます。学習目的を以下に示します。

1. 公衆衛生学は、各ライフステージにおける予防策、公共施策のみならず、医療費の仕組みや今後直面する高齢化社会に向けての医療費、介護費の課題、地域、国際での取り組みなどを社会における医療の役割を広く学習します。衛生学は、人とそれを取り巻く環境との相互関係の中で、健康の保持・増進および疾病の予防に関する理論、手法、制度の理解を深めることを目的とします
2. 疫学は、全ての臨床医学の基本になる大切な評価方法を学びます。特に医師として必要なEBMを実践するために科学的根拠(エビデンス)への理解を深めます。
3. 臨床医以外に社会医学分野で活躍する、行政官(医系技官)、保健所、産業医などの実態を学習します。
4. 法医学は、人の死をめぐる問題点を理解し、適切に対応できることを最大の目的として学習を進めます。

[キーワード]

「健康増進」「疾病予防」「保健医療」「環境医学」「死因」

[授業で育成する力・スキル]

1. 自ら考える力
2. 挑み力
3. 豊かな人間性
4. 社会的役割の認識
5. 医学的知識
6. 実践的技能
7. グローバルな視点

[具体的な学修目標(コンピテンシー小項目)]

1. 我が国の医療・保健・福祉体制(法規を含む)を説明できる。
2. 健康に影響を与える環境要因について説明できる。
3. 疫学という学問を説明でき、手法について実践できる。
4. 予防と健康管理・増進について概説できる。
5. 外因死や突然死の病態を概説できる。

[科目の要旨・概要]

衛生学・公衆衛生学・疫学

1. 健康に影響をおよぼす社会的・環境的諸要因を、多角的に、特に疫学的手法により明らかにします。
2. 個々の患者を対象として接近する方法を学ぶ臨床医学に対して、社会医学はその患者が属する集団(地域社会、職場、学校)を対象として接近し、対策をたてるための方法を学びます。
3. 医学、医療を実践するための社会の仕組みや問題に対して多面的に取り組みます。特に高齢化社会における医療・保健・福祉のあり方について学びます。
4. 医療を実践し、継続するための社会の仕組みについて学びます。

衛生学・公衆衛生学は、急激な社会の変化とともに毎年のように統計値の更新、特に衛生法規の改正が相次ぎ、教科書がなく、授業中に配布する資料が重要ですので注意して下さい。

講義内容は、

- 医の倫理
- 我が国の医療体制、保険制度、社会福祉、関連する法規など
- 母子保健、学校保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、食品保健、栄養問題、感染症対策、など
- 産業現場における健康障害とその防止、労働衛生行政など
- 環境要因による健康障害とその予防対策など
- 行動科学
- 疫学の基礎的知識、ならびに演習、統計学の再確認
- 災害時の公衆衛生
- 国際保健

講義以外に、小グループに分かれ、テーマを選び調査を行う実習や、講義で学んだことを実際に体験し、理解を深めるため施設見学を行います。その経験をもとに、最後に、発表と討論会を実施します。

法医学

1. 異状死を理解し、的確な判断できるように授業を進めます。
2. 死亡診断書を適切に記載できるように演習を行います。
3. 外因死や突然死の病態の理解と診断について学びます。
4. 外因死の疫学統計について学びます。

法医学も、授業中に配布する資料が重要ですので注意して下さい。また、法医解剖の見学を希望する者は、個別に申し出を行って下さい。

[成績評価の方法および基準]

1. 上記の到達目標に達したかどうかは、試験によって判定します。衛生学・公衆衛生学の試験は、1回。再試験は1回だけ行います。法医学は講義終了後に1度試験を行い、再試験は1回です。
2. 最終評価は、1. 公衆衛生学領域、衛生学・疫学領域、2 法医学の各領域で、それぞれ基準点以上であることと。3. 実習参加、4. 講義への積極的参加やレポート、討論などを総合して行います。なお、通常講義の出席要件に加え、公衆衛生学では実習参加と発表会における出席が単位取得の必須条件です。

[アクティブラーニング科目]

該当する 該当しない

[地域志向による学修内容]

有 無

神奈川県、東京都の保健所医師を招聘し、両地域に特徴的な地域保健の講義を行う

[課題・試験・レポート等のフィードバック方法]

社会医学実習において、スモールグループにおいて発表会を行い、その発表内容について教員と学生が評価してフィードバックする。

[教科書]

該当なし

[参考図書・その他の教材]**参考書**

「初めて学ぶやさしい疫学」南江堂（改定第3版）

「標準法医学・医事法」石津日出雄・高津光洋編、医学書院

「臨床のための法医学」澤口彰子他編、朝倉書店

その他の教材

「国民衛生の動向」、厚生統計協会

[教員への連絡先]

tatemichi@tokai-u.jp

(mm3_ps1@tsc.u-tokai.ac.jp)

2023年度5年次クリニカルクラークシップ巡回計画

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
診療科	リウマチ内科	画像診断科	呼吸器外科	心臓血管外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	学外病院							救命救急科		麻酔科	脳神経外科	腎・泌尿器科	学外病院	整形外科	皮膚科	臨床検査/放射線治療科	眼科	形成外科	乳腺・腫瘍科/リハビリテーション科												
実習期間	2W	2W	2W	2W	2W	2W							4W		2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W	2W
人数	7	7	7	7	7	7							14		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	4	7	7	7	7	7	7	7	4
1 04/03 ~ 04/08	A	B	C	D	E	F							G/H		I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R												
2 04/10 ~ 04/15													G/H		J	I	L	K	N	M	P	O	R	Q												
3 04/17 ~ 04/22	B	A	D	C	F	E									I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R												
4 04/24 ~ 04/28															J	I	L	K	N	M	P	O	R	Q												
05/01 ~ 05/06	休暇 (5/6多職種連携チーム医療演習)																																			
5 05/08 ~ 05/13	E	F	A	B	C	D							K/L		G	H	I	J	Q	R	M	N	O	P												
6 05/15 ~ 05/20													K/L		H	G	J	I	R	Q	N	M	P	O												
7 05/22 ~ 05/27	F	E	B	A	D	C									I	J	K	L	O	P	Q	R	M	N												
8 05/29 ~ 06/03															J	I	L	K	P	O	R	Q	N	M												
9 06/05 ~ 06/10	C	D	E	F	A	B									K	L	G	H	O	P	Q	R	M	N												
10 06/12 ~ 06/17															L	K	H	G	P	O	R	Q	N	M												
11 06/19 ~ 06/24	D	C	F	E	B	A																														
12 06/26 ~ 07/01																																				
13 07/03 ~ 07/08	M	N	O	P	Q	R									C	D	E	F	G	H	I	J	K	L												
14 07/10 ~ 07/15															D	C	F	E	H	G	J	I	L	K												
15 07/18 ~ 07/22	N	M	P	O	R	Q																														
16 07/24 ~ 07/29																																				
07/31 ~ 08/05	休暇																																			
08/07 ~ 08/12	休暇																																			
08/14 ~ 08/19	休暇																																			
17 08/21 ~ 08/26	Q	R	M	N	O	P									A	B	C	D	K	L	G	H	I	J												
18 08/28 ~ 09/02															B	A	D	C	L	K	H	G	J	I												
19 09/04 ~ 09/09	R	Q	N	M	P	O																														
20 09/11 ~ 09/16																																				
09/19 ~ 09/22	休暇・5年次総合試験(前半)																																			
21 09/25 ~ 09/30	O	P	Q	R	M	N									E	F	A	B	I	J	K	L	G	H												
22 10/02 ~ 10/07															F	E	B	A	J	I	L	K	H	G												
23 10/10 ~ 10/14	P	O	R	Q	N	M																														
24 10/16 ~ 10/21																																				
25 10/23 ~ 10/28	G	H	I	J	K	L									O	P	Q	R	A	B	C	D	E	F												
26 11/06 ~ 11/11																																				
27 11/13 ~ 11/18	H	G	J	I	L	K									P	O	R	Q	B	A	D	C	F	E												
28 11/20 ~ 11/25																																				
29 11/27 ~ 12/02	K	L	G	H	I	J									M	N	O	P	E	F	A	B	C	D												
30 12/04 ~ 12/09																																				
31 12/11 ~ 12/16	L	K	H	G	J	I									N	M	P	O	F	E	B	A	D	C												
32 12/18 ~ 12/23																																				
12/25 ~ 12/30	休暇																																			
01/01 ~ 01/06	5年次総合試験(後半)																																			
33 01/09 ~ 01/13	I	J	K	L	G	H									Q	R	M	N	C	D	E	F	A	B												
34 01/15 ~ 01/20																																				
35 01/22 ~ 01/27	J	I	L	K	H	G									R	Q	N	M	D	C	F	E	B	A												
36 01/29 ~ 02/03																																				
02/05 ~ 02/10	5年次総合試験(再試験)																																			
02/13 ~ 02/17	5年次総合試験(再試験)																																			

伊勢原協同病院

所在地：〒259-1187 伊勢原市田中 345

電話番号：0463-94-2111

病院長名：鎌田 修博

実習科：内科、外科

特 色： 当院は東海大学病院と同じ伊勢原市にあって設立は昭和43年になります。以来、この地域に根ざした病院として存続し平成26年8月に新病院へ移転しています。大学病院と当院の臨床実習を体験することで地域医療の実態を総合的に理解でき、医師としての資質をみがくことができます。すなわち当院ではより一般的で日頃遭遇することの多い疾患を診療の最前線で体験することができます。また診療所との連携も良好になされ多くの紹介患者さんの診療を行っています。

昨今、医療行政上、在宅医療促進の方向性が示されるなか、今後の課題が何であるか将来の医療を担う者として考えるよい機会にもなるでしょう。

内科は消化器、循環器、呼吸器、血液、神経、内分泌・糖尿病、腎・透析、総合内科の常勤医とリウマチ・膠原病の非常勤医がおり専門性を活かした診療を行っています。外科は一般消化器（上下部消化管、胆肝膵）と乳腺外科の専門外科があり慶応義塾大学の卒後教育施設としても充実しています。

以上、それぞれの専門性を活かしつつ一人の患者さんに対してチーム医療の観点から病院の総合力をあげて質の高い医療を目指しています。

実習の実際についてはカンファレンスへの出席、臨床の現場で指導医とマンツーマンによる体験、初期臨床研修医との相談の場などありますが、なにより意欲的に学ぶ姿勢があれば実り多き実習となることでしょう。

なお、居室は研修医室にあり、空き時間にはパソコンを使用して国家試験の勉強も可能です。

臨床実習初日に関して

集合時間	内科：午前8時30分、	外科：午前8時30分
集合場所	内科：総合医局（3階）	外科：外科医局（3階）
担当医師名	内科：田爪 圭	外科：柏木 浩暢
連絡先	内科：院内 PHS 6007	外科：院内 PHS 6041

臨床実習全般に関して

学生教育担当医	柏木 浩暢
遅刻・欠席時連絡先	0463-94-2111（内科：田爪）（外科：柏木）
必要器具等	白衣・聴診器・ペンライト・筆記用具
宿泊施設等	無
食 事	食堂 昼使用可
駐 車 場	使用不可
特 記 事 項	Gパン・サンダル不可 ネクタイまたはケーシースタイル

けいゆう病院

所在地：〒220-8521 横浜市西区みなとみらい3-7-3

電話番号：045-221-8181

病院長名：藤井 芳明

実習科：内科、外科、放射線科、小児科

特 色：当院は昭和9年に横浜市中区山下町に開設されましたが、平成8年1月に横浜市の新しい街づくりの中核である「みなとみらい21地区」に移転した近代的病院です。

病院はアメニティを考慮した斬新なデザインで、病床数410床、外来患者数1,200/日を超える多忙な地域中核・職域病院です。症例も偏ることなく急性疾患から慢性疾患まで多岐にわたっています。

当院の基本理念は

1. 患者様の中心の医療
2. 高度で良質な医療
3. 安全で信頼される医療

であり、常に基本理念に沿った医療を心掛けています。

内科では消化器・循環器・呼吸器・腎内分泌代謝疾患・神経疾患を中心に診療を行っています。実習に関しては、マンツーマン方式でライターの先生の指導の下で充実した実習が行われるように心がけています。

外科は、消化器、乳腺、血管、呼吸器の専門医が診療にあたっています。実習では手術の見学や病棟回診などについていただきます。

小児科は常勤医師4名で構成され、それぞれが循環器・感染症・アレルギー・神経の専門分野についての知識と経験を有しております。

外来は一般・専門外来に分けており、小児の主要な疾患を診療します。小児病床は18床で、重症アトピー性皮膚炎のスキンケア入院や早産などの院内出生新生児の対応もしております。

放射線科は画像診断部門（血管造影下手技による治療：IVRを含む）と放射線治療部門に分かれており、診断部門の常勤医師が4名、治療部門の常勤医師が1名で構成されています。画像診断部門はCT、MR、超音波、血管造影、RI検査、消化管造影等の画像検査の読影を行っており、放射線治療部門は高エネルギーX線、および電子線による放射線治療を行っています。

●臨床実習初日に関して

集合時間：8時30分

集合場所：2階人事課

担当医師名：(内科)松田 洋人、(外科)関 博章、(小児科)津村 由紀、
(放射線科)鈴木 孝司

連絡先：045-221-8300

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医：岡沢 啓

遅刻・欠席時連絡先：045-221-8300

必要器具等：白衣、院内履き、聴診器、ペンライト、筆記用具

宿泊施設等：無

食 事：食堂 朝・昼・夜とも使用可 ※割引適用

駐 車 場：使用可(有料)

国立病院機構東京医療センター

所在地：〒152-8902 東京都目黒区東が丘2-5-1

電話番号：03-3411-0111

病院長名：新木 一弘

実習科：総合内科、外科、呼吸器科

特色：東京医療センターの特徴

- ①教育病院としての充実した研修環境
- ②教育スタッフの充実
- ③救命救急センターをもつ救急への幅広い対応
- ④総合内科を中心とする、問題指向型医療
- ⑤日本を代表する感覚器センターと臨床研究基盤の充実

以下、当院研修医による感覚器センターと診療緩急基盤の充実

【総合内科】

総合内科は東京医療センターの看板となる科です。スタッフ・レジデントともに多くの先生が在籍しており、患者さんの数も非常に多く、肺炎や尿路感染症といった common disease から専門性の高い疾患まで、非常に幅広い疾患にふれることができます。また、入院した患者さんの家族と話して退院日を決めたり、転院調整に自ら関わったりなど、social 面で活躍の場を与えられることも多く、医療現場を様々な角度から学ぶことができます。

日々の業務としては、総合内科の初診にいらっしゃる患者さんを診察する初診外来、救急車で救急外来にいらっしゃる患者さんを診察する二次救急があります。週間スケジュールに従って、病棟の患者さんの回診や新入院の患者さんを診つつ、これらの業務をこなしていきます。

総合内科の素晴らしい所は、レジデントやスタッフの先生のバックアップ体制がしっかりしている所です。初心外来では、患者さんの主訴をもとに、どのような問診や診察を行うか、どのような疾患を鑑別に挙げるべきかしっかりと打ち合わせをした上で、一人で病歴を聴取し、身体診察を行います。レジデントの先生はカーテンの裏で会話を聞いてくれていて、自分のアセスメントや今後の検査の方針についてアドバイスをくれます。診察の最後に自分でカルテをまとめて、その症例について他の研修医とスタッフの先生一名でディスカッションを行います。このカンファレンスは、自分の診療がどの程度のクオリティであったか見直す非常に良い機会です。他の研修医が普段何を考えて診療にあたっているかを学ぶことのできる、とても有意義なものです。

二次救急でも、サポート体制がしっかりしており、常にレジデントの先生やスタッフの先生についてもらい初療を担当します。中には重症の患者さんもいるため、初診外来より緊迫感があり、全身診察、救急対応の勉強になります。

当院では、研修医向けの講義が充実していますが、総合内科の先生が主導して開催していることが多いです。このように非常に教育熱心な先生が集まっており、総合内科で学べることはとても多いです。

毎年非常に多くの学生さんが見学にいらっしゃる総合内科ですが、毎日多くのカンファレンスが開催されており、学生さんも積極的に参加できるよう、先生方も様々な工夫を凝らしています。当院での研修生活を考えている方は、是非一度総合内科に見学に来て下さい、とても充実した一日をお約束します！

【外科】

外科では胃癌・大腸癌・膵癌から、虫垂炎・鼠径ヘルニア・下肢静脈瘤、またはリンパ節生検・透析シャント造設など多くの症例を幅広く診ることが出来ます。規模の大きい病院ながら、全ての領域を万遍なく、そして common な症例も中心に診ることが出来ます。

また、標準的な手術であればスタッフ指導の下で、レジデントがオペレーターを務めたり、研修医が第一助手を務めることもあり、レジデント・研修医にとって、外科手技を学ぶうえで恵まれた環境にあると言えます。

レジデントやスタッフの先生は親しみやすく、雰囲気はとても良いです。毎週抄読会や症例

カンファレンスがあり、また腹腔鏡や皮膚縫合を練習するラボ室も使用出来るため、学ぶ環境には困りません。そして、日頃の疲れを癒す飲み会も多く開催され、楽しい毎日を送ることが出来ます。

当院外科ローテートで学べる事は外科領域にとどまりません。外科志望のみならず、内科系志望の研修医も有意義な研修生活を送ることが出来ます。

臨床実習初日に関して

診療科	集合場所	集合時間	担当医師（診療科長）
総合内科	外来棟 1 階総合内科カウンター前	8：30	鄭東孝
外科	外来棟 2 階 外科外来	9：00	石志紘

連絡先 03-3411-0111（内線 6020）

臨床実習全般に関して

学生教育担当医 教育研修部長 矢野 尊啓

遅刻・欠席時連絡先 03-3411-0111（内線 6020）

必要器具等 白衣・聴診器・ペンライト・打腱器・筆記用具、学生証

食事 食堂 朝・昼・夜とも使用可、コンビニ、カフェ、キッチンカー（平日昼のみ）

駐車場 使用不可

※履歴書、医学部学生実習ユーザーID申請用紙の事前提出、誓約書、事前レポート、感染に対する免疫の確認、病院実習事前チェックリストの作成が必要なため、履修が決まり次第、MSCO（教学担当）まで申し出てください。

平塚市民病院

所在地：〒254-0065 平塚市南原 1-19-1

電話番号：0463-32-0015

病院長名：山田 健一郎

実習科：循環器内科、消化器内科、外科、整形外科、小児科、産婦人科、泌尿器科

特 色：循環器内科 急性心不全、急性心筋梗塞に対する急性期治療の学習ができます。希望があれば時間外診療の実習も可能です。

消化器内科 消化器の疾患を多く取り扱っている一方、内視鏡あるいはIVRを用いた癌治療も多く手がけています。

外科 手術に参加してもらうことが可能です。

整形外科 部位別には上肢、下肢、脊椎を網羅し、また慢性疾患の他に骨折等の外傷症例も多く、広い範囲を経験できます。平日は、毎日3件以上の手術を行っています。

小児科 小児科一般診療だけではなく、NICUにおける新生児医療も経験できます。

産婦人科 産科、婦人科（良性/悪性、開腹/腹腔鏡）を多岐にわたり経験できます。

泌尿器科 男性泌尿器としてHOLEP手術、女性泌尿器として、TUM、LSC手術、その他、腹腔鏡手術など幅広く診療を行っています。地域中核施設における外来・検査・手術を見学していただきます。

●臨床実習初日に関して

集合時間：午前10時00分

集合場所：本館1階 病院総務課

担当医師名：高木 俊介

連絡先：病院総務課 相原

byoin-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

電話番号：0463-32-0015（内線3197）

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医：高木 俊介

遅刻・欠席時連絡先：病院総務課 相原

byoin-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

電話番号：0463-32-0015（内線3197）

必要器具等：名札、白衣、聴診器

宿泊施設等：なし

食 事：院内に食堂・コンビニあり

駐 車 場：患者用駐車場が利用可能（有料）

特 記 事 項：・本院諸規則を遵守のこと

・個人用のロッカーがあります（貴重品は不可）。

池上総合病院

所在地：〒146-8531 東京都大田区池上 6-1-19

電話番号：03-3752-3151

病院長名：繁田 明義

特 色： 池上総合病院は都内大田区の東急池上線池上駅から徒歩1分という交通便利な立地にあり、25の診療科、384床の二次救急指定病院です。循環器内科と心臓血管外科はハートセンターを設立し、循環器の救急医療の最先端を体験できます。消化器内科と外科も消化器センターを設立しており、消化管内視鏡検査、治療だけでなく、肝・胆道系疾患の外科治療も含めた医療を経験できます。プライマリケアの立場から救急患者を受入れている総合内科や、救急科、脳外科、呼吸器外科、外傷、人工関節症例豊富な整形外科、麻酔科、泌尿器科等、常勤医師がいる科は必要に応じて実習可能です。

●臨床実習初日に関して

集合時間：9時

集合場所：B館8階医局

担当医師名：五月女 昇

●臨床実習全般に関して

問合せ先：医局 杉山 直子（携帯：090-1437-0965）

必要器具等：白衣・名札（東海大学学生証）

宿泊施設等：あり（ただし、早めに申請をしてください）

駐車場：なし

海老名総合病院

所在地：神奈川県海老名市河原口1320

電話番号：046-233-1311

病院長名：服部 智任

特 色：

【眼科】

海老名市唯一の総合病院であり、その眼科としての地域医療の充実、強化をはかり、先進医療を目指しています。手術においては、特に白内障手術に力を入れており、難症例も数多く手がけています。

【麻酔科】

全身管理と実践的な呼吸、循環管理が学べます。

【形成外科】

救急・外傷、皮膚良性腫瘍・悪性腫瘍、軟部腫瘍・肉腫の摘出、再建手術、先天奇形、難治性潰瘍、ケロイド、美容医療まで多岐にわたり対応しており、年間1000件以上もの手術件数を誇ります。

【産婦人科】

産科は35W以降の分娩を取扱っており、自然分娩のみならず無痛分娩も行っており、産科手術については、鉗子分娩も行っております。婦人科は良性のみならず悪性も放射線治療以外の患者さんについても広く診療しています。

【心臓血管外科】

年間100例程の開心術を行っています。AAA、末梢血管の手術も行っています。

【小児科】

色々な common disease を幅広く経験することが可能です。

common disease の中からリスクの高い希少疾患を診断する力をみにつけます。

【泌尿器科】

腹腔鏡の手術。手術中心の実習

【外科】

大学と異なり市中病院のため、比較的 common disease から進行した癌の症例まで幅広い外科疾患を学ぶことが出来ます。

【救急科】

2017年4月1日より神奈川県医療圏で唯一の救命救急センターとして始動しました。年間8,000台を超える救急車を受け入れ、軽傷から重症まで幅広く対応しています。

●臨床実習初日に関して

集合時間： 8時30分

集合場所： 海老名総合病院 1階総合案内（正面玄関入り、左手カウンター）

担当医師名： 未定（担当診療科医）

●臨床実習全般に関して

遅刻・欠席時連絡先： 医局担当 浅井、島

必要器具等： 白衣、聴診器、名札

宿泊施設等： 院内当直室

駐 車 場： 海老名メディカルサポートクリニック第2駐車場（1日500円）

※添付参照ください（第1駐車場と第2駐車場があり、最大料金の設定は第2駐車場のみとなりますのでご注意ください）

座間総合病院

所在地：神奈川県座間市相武台 1-50-1

電話番号：046-251-1311

病院長名：渡 潤

実習科：整形外科

特 色：民間病院の総合診療科ならではの幅広い疾患を経験できるとともに、臨床現場でこそ見つかるクリニカルクエスチョンを一緒に考える機会を設けます。

●臨床実習初日に関して

集合時間：9:00～

集合場所：1階総合案内にて、管理課 宮杉宛にご訪問ください。

担当医師（者）名：整形外科：中脇部長、鈴木部長

●臨床実習全般に関して

遅刻・欠席時連絡先：046-251-1311（代） 管理課 福田宛に連絡をください。

必要器具等：聴診器、ペンライト、白衣（ネームプレート学生用）

宿泊施設等：なし

駐 車 場：あり（出来れば駅より徒歩かバスでの来院をお願いします）

※駐車場について、どうしても必要な場合はご相談ください。

一般の方も使う駐車場しか用意がないので、原則は禁止といたします。

2023 年度

Clinical

Clerkship

Handbook

6年次選択臨床実習

学生証番号

MM

氏名

2023年度6年次選択臨床実習開講リスト(医師会・クリニック)

NO	ケール		①		②		③		④		⑤		⑥		⑦	
	期 間		3/20~4/1		4/3~4/15		4/17~4/28		5/8~5/20		5/22~6/3		6/5~6/17		6/19~7/1	
			人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号
1	市川こどもクリニック	2週	1	3001	0	3002	1	3003	1	3004	1	3005	1	3006	0	3007
2	鶴川医院	2週	1	3011	1	3012	1	3013	1	3014	1	3015	1	3016	1	3017
3	おおたレディースクリニック	2週	1	3021	1	3022	1	3023	1	3024	1	3025	1	3026	1	3027
4	こが医院(小児科・内科)	2週	0	3031	0	3032	0	3033	1	3034	1	3035	1	3036	1	3037
5	新川クリニック(2名ペア)	2週	0	3041	2	3042	2	3043	2	3044	2	3045	2	3046	2	3047
6	関野小児科内科クリニック	2週	1	3051	0	3052	0	3053	0	3054	0	3055	0	3056	0	3057
7	武田クリニック	2週	0	3061	2	3062	2	3063	2	3064	0	3065	2	3066	0	3067
8	鶴巻温泉病院	2週	0	3071	0	3072	0	3073	0	3074	2	3075	0	3076	0	3077
9	ひまわりクリニック	2週	1	3081	1	3082	1	3083	1	3084	1	3085	0	3086	0	3087
10	国立病院機構 神奈川病院	2週	0	3091	0	3092	0	3093	0	3094	2	3095	2	3096	2	3097

・360時間(12週)以上選択してください。

・同一科目を複数回履修することはできません。

2023年度6年次選択臨床実習開講リスト(学外市中病院)

NO	クール 期 間	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		
		3/20~4/1		4/3~4/15		4/17~4/28		5/8~5/20		5/22~6/3		6/5~6/17		6/19~7/1		
		人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	
1	伊勢原協同病院(内科もしくは外科)	2週	0	3501	0	3502	0	3503	0	3504	1	3505	0	3506	0	3507
2	けいゆう病院(外科)	2週	0	3511	0	3512	0	3513	0	3514	0	3515	0	3516	1	3517
3	国立病院機構東京医療センター(外科)	2週	0	3521	0	3522	0	3523	0	3524	2	3525	2	3526	2	3527
	国立病院機構東京医療センター(総合内科)	2週	0	3531	0	3532	0	3533	0	3534	0	3535	0	3536	1	3537
4	平塚市民病院(外科)	2週	0	3541	0	3542	0	3543	0	3544	0	3545	1	3546	1	3547
	平塚市民病院(消化器内科)	2週	0	3551	0	3552	0	3553	1	3554	1	3555	0	3556	0	3557
5	聖隷浜松病院(総合診療内科)	2週	1	3561	1	3562	1	3563	1	3564	1	3565	1	3566	1	3567
	聖隷浜松病院(救急科)	2週	1	3571	1	3572	1	3573	1	3574	1	3575	1	3576	1	3577

2023年度6年次選択臨床実習開講リスト(地域医療)

NO	八王子病院脳神経内科学 期 間	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		
		3/20~4/1		4/3~4/15		4/17~4/28		5/8~5/20		5/22~6/3		6/5~6/17		6/19~7/1		
		人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	人数	申告番号	
1	うむやすみやあす・ん診療所(2名ペア)	2週	2	3581	2	3582	2	3583	2	3584	2	3585	2	3586	2	3587
2	下北医療センター東通村診療所	2週	0	3591	0	3592	1	3593	1	3594	0	3595	0	3596	0	3597
3	深川市立病院(同性ペアのみ) (内科、外科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、整形外科、小児科、眼科)	2週	0	3601	0	3602	0	3603	2	3604	2	3605	2	3606	0	3607
4	金沢医科大学能登北部地域医療研究所	2週	0	3611	2	3612	2	3613	2	3614	2	3615	0	3616	0	3617
5	鹿児島県立大島病院	2週	0	3621	0	3622	1	3623	1	3624	1	3625	2	3626	2	3627
6	国立駿河療養所	2週	2	3631	2	3632	2	3633	2	3634	2	3635	2	3636	2	3637

・360時間(12週)以上選択してください。

・同一科目を複数回履修することはできません。

医師会・クリニックコース

1. 市川こどもクリニック

担当内容	小児科一般
科目担当者名	市川 正孝
履修時間数	2週間(60時間)
履修人数	1名
集合時間	8:20
集合場所	市川こどもクリニック玄関前
所在地	伊勢原市東大竹 1544-3
連絡先	0463-86-5665
必要器具等	白衣・聴診器
休診日	日曜日、祝祭日、水・土曜日午後

実習内容

小児科一般外来を通して、まず common disease についての診かたを学んでいただきたいと思います。感染症が主になりますが、症状、所見、流行などを考え、一部では迅速検査を使用して、いかにしてできるだけ正確な診断に努めるか、他には喘息の治療管理などや、乳幼児に対する適切な診察法、予防接種などについても学んでいただきたい。ありふれた病気でもよく突き詰めていけば、とても勉強になると思います。(実習の前の週に、必ず確認の連絡を行ってください。)

実習手技

- ①感染症迅速診断検査、②レントゲン撮影

2. 鷺川医院

担当内容	消化器科・内視鏡・超音波
科目担当者名	鷺川 邦夫
履修時間数	2週間(60時間)
履修人数	1名
集合時間	午前9:00
集合場所	鷺川医院(駐車場あり)
所在地	伊勢原市上粕屋 1765
連絡先	0463-91-0707
必要器具等	白衣・聴診器
休診日	祝日、木曜・日曜日

希望事項

実習が決まったら、電話、メール(kunioukawa@gmail.com)、LINE(鷺川医院公式 LINE)にご連絡ください。

実習内容

コロナ禍で当院の診療は大きく変化し、可能な限り電話やオンラインでトリアージを行うようになりました。すべての人々がデジタルの利益を享受出来ることが理想ですが、患者さんの医療リテラシー、ITリテラシーのレベルは千差万別であり、それを埋めることも我々医療従事者の仕事になりつつあります。

診断においては検査そのものより検査前に患者を正しく評価することが重要、と以前より強調していましたがますますその重要性が高くなっています。細かい観察の重要性に気づいていただくと良いなと思っております。

実習においては超音波検査のハンズオンが多いのが特徴であり、救急やプライマリ・ケアに不可欠な検査に慣れ親しんで欲しいです。

実習手技

①病歴の聴取②腹部エコーの実習(多数)③内視鏡検査の見学④ミニレクチャー

3. おおたレディースクリニック

担当内容 産婦人科
科目担当者名 太田 篤之
履修時間数 2週間(60時間)
履修人数 1名
集合時間 8:20
集合場所 おおたレディースクリニック
所在地 伊勢原市伊勢原 2-2-12
連絡先 0463-93-0383
必要器具等 白衣・聴診器
休診日 木曜・土曜日の午後、日曜日、祝祭日

実習内容

産婦人科におけるプライマリー対応について

実習手技

問診、分娩見学等

※クリニックの駐車場は利用できませんので、自家用車で
の来院はご遠慮ください。

4.こが医院

担当内容	小児科一般
科目担当者名	古閑 俊浩
履修時間数	2週間(60時間)
履修人数	1名
集合時間	8:50
集合場所	古閑医院
所在地	秦野市柳町 1-4-12
連絡先	0463-88-0030
必要器具等	白衣・聴診器
休診日	祝日、日曜日、木曜午前、土曜午後

実習内容

当院は、小児科(風邪症候群を中心とする感染症、アレルギー性疾患、皮膚疾患)が中心であるが、内科(感染症、高血圧、高脂血症、糖尿病)の患者さんも多い。家庭医としての立場を見て頂きたい。

実習手技

- ①予防接種の実施、②小児の集団健康診断に参加、③訪問診療に参加、④レントゲン撮影と読影、⑤週に2回介護老人福祉施設を回診

5.新川クリニック

担 当 内 容	耳鼻咽喉科一般
科目担当者名	新川 敦
履 修 時 間 数	2週間(60 時間)
履 修 人 数	2名
集 合 時 間	9:50
集 合 場 所	新川クリニック外来
所 在 地	秦野市南矢名 1-6-40
連 絡 先	0463-76-3341
必 要 器 具 等	白衣
休 診 日	祝日、日曜日、土曜日午後
受 入 条 件	2名ペア
希 望 事 項	時間厳守

実 習 内 容

耳鼻科外来における検査・処置・手術の実際を見学する。主たる耳鼻咽喉科検査手技を実習する。耳鼻咽喉科における短期入院手術として、鼓膜チューブ挿入術、鼓膜形成術、鼓室形成術、アブミ骨手術、鼻内内視鏡手術、アデノイド手術、扁桃切除、喉頭手術等を見学する。アレルギー一科としても、検査法を主体に治療に至るまでを体系的に実習する。

実 習 手 技

①耳科領域検査(各種聴力検査法、耳管機能検査等)、②鼻科領域検査(鼻腔通気度・ファイバー、CT等)、③咽喉領域検査(喉頭ファイバースコープ、音声検査)、④アレルギー検査(皮内、RAST、誘発テスト等及び手術法)、⑤耳鼻咽喉科領域の day surgery or 短期入院手術実習

6. 関野小児科内科クリニック

担当内容	小児科一般、内科一般
科目担当者名	関野 高弘
履修時間数	2週間(60時間)
履修人数	1名
集合時間	8:40
集合場所	関野小児科内科クリニック
所在地	秦野市尾尻 942-9
連絡先	0463-84-2580
必要器具等	白衣、聴診器、室内用サンダル
休診日	木曜日、土曜日午後、日曜日、祝祭日

実習内容

当クリニックでは、院長が専門としている小児科を中心に成人の急性疾患や高齢者の慢性期疾患等の内科の診察も行っています。

外来の見学を通じて、

- ①小児の Common disease
- ②小児と成人の診察方法の違い
- ③小児の成長発達(乳児健診)
- ④各種予防接種の実際

について学んでいただきたいと思います。

7.武田クリニック

担当内容	糖尿病専門外来
科目担当者名	武田 浩
履修時間数	2週間(60時間)
履修人数	2名
集合時間	8:30
集合場所	武田クリニック
所在地	伊勢原市伊勢原 2-2-15
連絡先	0463-96-1024
必要器具等	日本糖尿病学会編糖尿病治療ガイド、 白衣
希望事項	日本糖尿病学会編糖尿病治療ガイドを 研修前に読んで来ること
休診日	土曜午後、火曜午後、日曜祭日

実習内容

当院は糖尿病専門医2人、糖尿病療養指導士3人、管理栄養士、臨床検査技師、東海大学から循環器、神経内科の医師による専門外来からなる糖尿病外来診療を行っています。

各スタッフに付いて糖尿病診療をトータルに理解し、体験してもらいます。地域の糖尿病療養指導士の研修会にも参加してもらいます。

実習手技

①腹部超音波、頸部超音波、心臓超音波、②FMD、眼底写真、電子瞳孔計、脈波検査、ECG、ホルター心電図、胸部CXP、③自己血糖測定手技、インスリン自己注射手技

8.鶴巻温泉病院

担当内容	回復期リハビリテーション、高齢者慢性期医療、緩和ケア	
科目担当者名	副院長	今西 剛史
	回復期リハビリテーション	今西 剛史 藤本 浩和 秋山 克徳
	高齢者慢性期医療	蓮江健一郎
	地域包括ケア	蓮江健一郎
	緩和ケア	蓮江健一郎
	神経難病	秋山 克徳
履修時間数	2週間(60時間)	
履修人数	2名	
集合時間	8:45	
集合場所	鶴巻温泉病院ロビー(南館)	
所在地	秦野市鶴巻北 1-16-1	
連絡先	0463-78-1311	
必要器具等	白衣	
休診日	日曜日、祭日	

実習内容

当院は回復期リハの亜急性期から、神経難病、高齢者医療の慢性期、緩和ケアの終末期医療までを担っています。これらに共通するキーワードはリハビリテーションです。現在の医学教育・実習は急性期医療の Cure を研修することが主流ですが、当院では障害者、高齢者、神経難病、終末期の患者さんに人生の満足度(QOLの向上)を感じてもらうことを目的として Cure を含んだ Care を提供する医療を体験します。またチーム医療とは何か、チーム医療はどうして必要なのかについても学びます。

急性期病院とは全く違った慢性期病院の医療を学ぶことで、日本の超高齢社会でこれから望まれる慢性期医療のあり方を研修することができます。

実習手技

- ①チーム医療の実際、②患者に寄りそった医療とは何か、③日常生活動作の客観的測定法、④回復期リハビリテーションの実際、⑤維持期リハビリテーションの実際、⑥緩和期リハビリテーションの実際、⑦がん終末期患者の疼痛緩和の実際⑧地域包括ケア病棟の実際

9.ひまわりクリニック

担当内容 内科一般、小児科一般
科目担当者名 杉山 和子
履修時間数 2週間(60時間)
履修人数 1名
集合時間 初日は 13:00(月曜日が祝日の場合、火曜日 13:00)
集合場所 ひまわりクリニック
所在地 伊勢原市石田 224-11
連絡先 0463-90-2203
必要器具等 白衣
休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

実習内容

小児科・内科の一般外来が研修できます。予防接種や健診なども研修していただけます。

第1週

月曜日 13:00～15:30(オリエンテーション、研修)
火曜日 10:00～13:00(研修)
水曜日 休み
木曜日 10:00～15:30(研修)
金曜日 10:00～13:30(研修&プレゼンテーション)
土曜日 休み

第2週

月曜日 10:00～13:00(研修)
火曜日 10:00～13:00(研修)
水曜日 休み
木曜日 10:00～15:30(研修)
金曜日 10:00～13:30(研修&プレゼンテーション)

10.国立病院機構神奈川病院

担当内容	結核診療、重心診療、呼吸器・小児科診療
科目担当者名	内科及び小児科学会認定指導医
履修時間数	2週間(60時間)
履修人数	1名
集合時間	8:45
集合場所	医局談話室
所在地	秦野市落合 666-1
連絡先	0463-81-1771
必要器具等	白衣・聴診器
休診日	土曜日、日曜日、祝日
希望事項	当院の特徴を理解していただいたうえで、何を学びたいかを事前に知らせてください。

実習内容

結核病棟及び重症心身障害児(者)病棟を中心とした総合的実習。希望があれば、整形外科手術、内視鏡検査の見学も可能。

学外市中病院コース

1. 伊勢原協同病院

所在地 〒259-1187 伊勢原市田中 345

電話番号 0463-94-2111

病院長名 鎌田 修博

特 色

当院は東海大学病院と同じ伊勢原市にあって設立は昭和43年になります。以来、この地域に根ざした病院として存続し平成26年8月に新病院へ移転しています。大学病院と当院の臨床実習を体験することで地域医療の実態を総合的に理解でき、医師としての資質をみがくことができます。すなわち当院ではより一般的で日頃遭遇することの多い疾患を診療の最前線で体験することができます。また診療所との連携も良好になされ多くの紹介患者さんの診療を行っています。

昨今、医療行政上、在宅医療促進の方向性が示されるなか、今後の課題が何であるか将来の医療を担う者として考えるよい機会にもなるでしょう。

内科は消化器、循環器、呼吸器、血液、神経、内分泌・糖尿病、腎・透析、総合内科の常勤医とリウマチ・膠原病の非常勤医がおり専門性を活かした診療を行っています。外科は一般消化器（上下部消化管、胆肝臓）と乳腺外科の専門外科があり慶応義塾大学の卒後教育施設としても充実しています。

以上、それぞれの専門性を活かしつつ一人の患者さんに対してチーム医療の観点から病院の総合力をあげて質の高い医療を目指しています。

実習の実際についてはカンファレンスへの出席、臨床の現場で指導医とマンツーマンによる体験、初期臨床研修医との相談の場などありますが、なにより意欲的に学ぶ姿勢があれば実り多き実習となることでしょう。

なお、居室は研修医室にあり、空き時間にはパソコンを使用して国家試験の勉強も可能です。

実習科 内科、外科

●臨床実習初日に関して

集合時間 内科:午前 8:10
外科:午前 8:10
集合場所 内科:総合医局(3階)
外科:外科医局(3階)
担当医師名 内科:(未定)
外科:(未定)
連絡先 内科:院内 PHS (未定)
外科:院内 PHS (未定)

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 (未定)
遅刻・欠席時連絡先 0463-94-2111
必要器具等 白衣・聴診器・ペンライト・筆記用具
宿泊施設等 無
食事 食堂 昼使用可
駐車場 使用不可
特記事項 Gパン・サンダル不可
ネクタイまたはケーシースタイル

2.けいゆう病院

所在地 〒220-8521 横浜市西区みなとみらい 3-7-3
電話番号 045-221-8181
病院長名 松本 秀年

特 色

当院は昭和9年に横浜市中区山下町に開設されましたが、平成8年1月に横浜市の新しい街づくりの中核である「みなとみらい 21 地区」に移転した近代的病院です。

病院はアメニティを考慮した斬新なデザインで、病床数 410 床、外来患者数 1,200/日を超える多忙な地域中核・職域病院です。症例も偏ることなく急性疾患から慢性疾患まで多岐にわたっています。

当院の基本理念は

1. 患者様の中心の医療
2. 高度で良質な医療
3. 安全で信頼される医療

であり、常に基本理念に沿った医療を心掛けています。

実習は内科が主体であり、内科では消化器・循環器・呼吸器・腎内分泌代謝疾患・神経疾患を中心に診療を行っています。実習に際してはマンツーマン方式でライターの先生の指導の下で充実した実習が行われるように心掛けています。また希望により内科以外の実習も可能です。

病院ホームページアドレス:

<http://www.keiyu-hospital.com>

●臨床実習初日に関して

集合時間 午前 8:30
集合場所 2階 人事課
担当医師名 松田 洋人
連絡先 045-221-8300

●臨床実習全般に関して(外科)

学生教育担当医 岡沢 啓
遅刻・欠席時連絡先 045-221-8300
必要器具等 白衣・聴診器・ペンライト・筆記用具
宿泊施設等 無
食事 食堂 朝・昼・夜とも使用可 ※割引適用
駐車場 使用可(但し有料)

3. 国立病院機構東京医療センター

所在地 〒152-8902 東京都目黒区東が丘 2-5-1

電話番号 03-3411-0111

病院長名 新木 一弘

特 色

東京医療センターの特徴

- ①教育病院としての充実した研修環境
- ②教育スタッフの充実
- ③救命救急センターをもつ救急への幅広い対応
- ④総合内科を中心とする、問題指向型医療
- ⑤日本を代表する感覚器センターと臨床研究基盤の充実

以下、当院研修医による各診療科紹介です。

【総合内科】

総合内科は東京医療センターの看板となる科です。スタッフ・レジデントともに多くの先生が在籍しており、患者さんの数も非常に多く、肺炎や尿路感染症といった common disease から専門性の高い疾患まで、非常に幅広い疾患にふれることができます。また、入院した患者さんの家族と話して退院日を決めたり、転院調整に自ら関わったりなど、social 面で活躍の場与えられることも多く、医療現場を様々な角度から学ぶことができます。

日々の業務としては、総合内科の初診にいらっしゃる患者さんを診察する初診外来、救急車で救急外来にいらっしゃる患者さんを診察する二次救急があります。週間スケジュールに従って、病棟の患者さんの回診や新入院の患者さんを診つつ、これらの業務をこなしていきます。

総合内科の素晴らしい所は、レジデントやスタッフの先生のバックアップ体制がしっかりしている所です。初心外来では、患者さんの主訴をもとに、どのような問診や診察を行うか、どのような疾患を鑑別に挙げるべきかしっかりと打ち合わせをした上で、一人で病歴を聴取し、身体診察を行います。レジデントの先生はカーテンの裏で会話を聞いてくれていて、自分のアセスメントや今後の検査の方針についてアドバイスをくれます。診察の最後に自分でカルテをまとめて、その症例について他の研修医とスタッフの先生一名でディスカッションを行います。このカンファレンスは、自分の診療がどの程度のクオリティであったか見直す非常に良い機会で、他の研修医が普段

何を考えて診療にあたっているかを学ぶことのできる、とても有意義なものです。

二次救急でも、サポート体制がしっかりしており、常にレジデントの先生やスタッフの先生についてもらい初療を担当します。中には重症の患者さんもいるため、初診外来より緊迫感があり、全身診察、救急対応の勉強になります。

当院では、研修医向けの講義が充実していますが、総合内科の先生が主導して開催していることが多いです。このように非常に教育熱心な先生が集まっており、総合内科で学べることはとても多いです。

毎年非常に多くの学生さんが見学にいらっしゃる総合内科ですが、毎日多くのカンファレンスが開催されており、学生さんも積極的に参加できるよう、先生方も様々な工夫を凝らしています。当院での研修生活を考えている方は、是非一度総合内科に見学に来て下さい、とても充実した一日をお約束します！

【外科】

外科では胃癌・大腸癌・膵癌から、虫垂炎・鼠径ヘルニア・下肢静脈瘤、またはリンパ節生検・透析シャント造設など多くの症例を幅広く診ることが出来ます。規模の大きい病院ながら、全ての領域を万遍なく、そして common な症例も中心に診ることが出来ます。

また、標準的な手術であればスタッフ指導の下で、レジデントがオペレーターを務めたり、研修医が第一助手を務めることもあり、レジデント・研修医にとって、外科手技を学ぶうえで恵まれた環境にあると言えます。

レジデントやスタッフの先生は親しみやすく、雰囲気はとても良いです。毎週抄読会や症例カンファレンスがあり、また腹腔鏡や皮膚縫合を練習するラボ室も使用出来るため、学ぶ環境には困りません。そして、日頃の疲れを癒す飲み会も多く開催され、楽しい毎日を送ることが出来ます。

当院外科ローテートで学べる事は外科領域にとどまりません。外科志望のみならず、内科系志望の研修医も有意義な研修生活を送ることが出来ます。

●臨床実習初日に関して

診療科	集合場所	集合時間	担当医師 (診療科長)
総合内科	外来棟 1 階 総合内科カウンター前	8:30	鄭東孝
外科	外来棟 2 階 外科外来	9:00	石志紘

連絡先 03-3411-0111 (内線 6020)

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 教育研修部長 小山田 吉孝

遅刻・欠席時連絡先 03-3411-0111 (内線 6020)

必要器具等 白衣・聴診器・ペンライト・打鍵器・筆記用具、学生証・マスク・フェイスシールド

食事 食堂 朝・昼・夜とも使用可、コンビニ、カフェ、キッチンカー(平日昼のみ)

駐車場 使用不可

※履歴書、医学部学生実習ユーザーID申請用紙の事前提出、誓約書・事前レポート・感染に対する免疫の確認・病院実習事前チェックリストの作成が必要なため、履修が決まり次第、MSCO(教学担当)まで申し出てください。

4.平塚市民病院

所在地 〒254-0065 平塚市南原 1-19-1

電話番号 0463-32-0015

病院長名 山田健一郎

特 色

- ・病床数 410 床(+感染症病床 6 床)
- ・地域の中核病院として、救急医療および高度な医療を担っています。
- ・救急医療：平塚市の三次救急病院
(救急車による搬送、年 9,000 件 前後)
消防救急隊との連携による救急ワークステーションを併設し、24 時間、365 日積極的に救急患者を受入れています。災害医療企画室が行う平塚 DMAT チームやイベント救護所派遣などの院外活動も行っています。
- ・チーム医療：消化器(消化器内科、外科)、循環器(循環器内科、心臓血管外科)、脳神経科(神経内科、脳神経外科)領域では、内科系と外科系の診療科が密接に連携し、高度な医療を行っています。緊急手術へも万全の体制が整っています。

得意分野

- ・消化器：食道・胃・大腸癌に対する内視鏡治療(ESD、EMR)、胆膵疾患に対する内視鏡治療(EST、ステント挿入など)、胃癌・大腸癌・胆石に対する腹腔鏡手術、肝胆膵癌の高難度手術。
- ・循環器：年間 100 例以上の心臓・胸部大血管手術を連続 15 年以上行っている。急性冠症候群に対する PCI、下肢や胸腹部大動脈のステント治療。
- ・脳神経：脳出血、脳梗塞の急性期治療を行うための脳卒中センターを併設し、病棟は看護師、リハビリテーション科と共にストロークユニットとしている。

主な医療設備

血管連続撮影装置、IVR-CT、CT(320 列、80 列×2)、MRI(1.5 テスラ、3 テスラ)、リニアック、マンモグラフィ、手術用顕微鏡、手術支援ロボット(hinotori)

●臨床実習初日に関して

集合時間 10:00
集合場所 本館1階 病院総務課
担当医師名 高木 俊介
連絡先 院内 PHS 5119

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 消化器内科 谷口 礼央
外科 高野 公德
遅刻・欠席時連絡先 院内PHS 谷口(5451)、高野(5131)
必要器具等 白衣・聴診器・ペンライト・筆記用具
宿泊施設等 無
食事 院内に食堂・コンビニあり
駐車場 患者用駐車場が利用可能(有料)
特記事項 ・本院諸規則を遵守のこと
・個人用のロッカーがあります(貴重品は不可)。

病院名 平塚市民病院

診療科名 内科

(第2週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ (月)		10:00 オリエンテーション：医局 入院受持患者紹介 アナムネ・スタブレ 検査・治療計画立案 17:30 内科カンファレンス 抄読会 内科外来
／ (火)		13:30 アンギオ見学 17:00 消化器科回診 (受持患者のプレゼンテーション)
／ (水)	8:30 外科・放科・消内合同 カンファレンス 9:00 内視鏡見学	13:00 内視鏡見学
／ (木)	9:00 初診 (アナムネ・スタブレ)	13:00 ESD、ERCP見学
／ (金)		
／ (土)		

* (月)～(金) 受持患者診察

病 院 名 平塚市民病院

診療科名 外科

(第2週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ (月)	9:00 オリエンテーション 医局 手術見学、手洗実習	手術／検査 見学
／ (火)	手術見学、手洗実習 検査見学	検査見学 17:00 外科おフランス
／ (水)	手術見学、手洗実習	検査見学、手洗実習
／ (木)	手術見学、手洗実習	検査見学、手洗実習
／ (金)	院長あいさつ	13:30 クルズス まとめ (中川)
／ (土)	/	

5. 聖隷浜松病院

所在地 〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉 2-12-12

電話番号 053-474-2222(代表)

病院長名 岡 俊明

特 色

Point①

総合診療内科と救急科のローテーション、及び2年間通年の救急外来日当直によって、プライマリ・ケアに重点を置いた研修ができる。

Point②

病歴の聴取・身体診察に基づく鑑別診断、検査計画の立案などの EBM に則った臨床推論、プレゼンテーションやコンサルテーション能力が獲得できる。

Point③

高度な診療を提供している各専門診療科での研修で、さらに知識や技術向上ができる。

実 習 科

「総合診療内科」、「救急科」

●臨床実習初日に関して

「総合診療内科」

集合時間 8:15

集合場所 人材育成センター

(当院、総合受付で「人材育成センター」の場所をお尋ねください)

「救急科」

集合時間 8:15

集合場所 人材育成センター

(当院、総合受付で「人材育成センター」の場所をお尋ねください)

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 プログラム責任者 渡邊 卓哉

遅刻・欠席時連絡先 人材育成センター053-474-2261(直通)

必要器具等 白衣やケーシー、聴診器、筆記用具、スチューデントドクター認定証、その他実習に必要なと思われるもの

宿泊施設等 先着順で無料宿舎をご用意いたします。但し、設備の経年により運用を変更す

る場合がありますが、その際は随時ご案内いたします。

宿舎にはユニットバス、冷蔵庫、洗濯機、レンジ、寝具等がありますが、シャンプー、タオル、ドライヤー等の日用品、その他必要と思われるものはお持ち下さい。

食 事 昼食無料提供、院内売店、食堂をご利用ください。

交通アクセス

<http://www.seirei.or.jp/hamamatsu/guidance/access/index.html>

駐 車 場 平時は公共交通機関のご利用をお願いしていますが、コロナ禍の影響により現在はこちらを緩和しています。数に限りがありますが病院駐車場をご利用いただければ無料駐車券をご用意いたします。尚、駐車場の確保ではないため、満車等により当日駐車できない可能性があることをご理解ください。(駐車可能箇所:別添資料参照)
尚、宿舎には自家用車のお持ち込みができません。

そ の 他 ①診療科カンファレンスや、研修医プログラム等は、新型コロナウイルス感染拡大等の状況によりスケジュールが変わる可能性があります。
②宿舎への荷物の宅配を希望される方は、事前にご相談ください。

当直見学を希望される方は、2月中にメディカルサイエンスカレッジオフィス(教学ユニット)まで申し出てください。日程を調整いたします。(当直見学 17:00～)

・研修医対象の勉強会等へも参加可能です。
お問合せ先 聖隷浜松病院人育成センター
事務担当 佃 有里
代表アドレス hm-kenshu@sis.seirei.or.jp

病院名 **聖隷浜松病院**

診療科名 **総合診療内科**

(第1週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)		
	午 前	12:30～(30分)	午 後
／ (月)	8:15 モーニングカンファレンス	症レクチャー	外来実習
／ (火)	8:15 モーニングカンファレンス	症レクチャー	外来実習 臨床検査講習 病棟多職種カンファレンス
／ (水)	8:15 モーニングカンファレンス 12:00 English communication	症レクチャー	外来実習 14:30 救急科・総合診療内科 合同カンファレンス
／ (木)	8:15 モーニングカンファレンス	症レクチャー	外来実習 13:00 危険予知トレーニング 病棟多職種カンファレンス
／ (金)	8:15 モーニングカンファレンス	症レクチャー	外来実習 学生プレゼン
／ (土)	/		

病院名 **聖隷浜松病院**

診療科名 **総合診療内科**

(第2週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)		
	午 前	12:30～(30分)	午 後
／ (月)	8:15 モーニングカンファレンス	座レクチャー	外来実習
／ (火)	8:15 モーニングカンファレンス	座レクチャー	外来実習 臨床検査講習 病棟多職種カンファレンス
／ (水)	8:15 モーニングカンファレンス 12:00 English communication	座レクチャー	外来実習 14:30 救急科・総合診療内科 合同カンファレンス
／ (木)	8:15 モーニングカンファレンス	座レクチャー	外来実習 13:00 危険予知トレーニング 病棟多職種カンファレンス
／ (金)	8:15 モーニングカンファレンス	座レクチャー	外来実習 学生プレゼン
／ (土)	/		

病院名 **聖隷浜松病院**

診療科名 **救急**

(第1週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ (月)	8:00 新入院患者・入院中患者検討会	17:00 ERふりかえり
／ (火)		17:00 ERふりかえり
／ (水)		14:30 救急科・総合診療内科合同カンファレンス 17:00 ERふりかえり
／ (木)	11:00 全体 カンファレンス 11:30 抄読会	17:00 ERふりかえり
／ (金)		17:00 ERふりかえり
／ (土)	/	

- ・抄読会を開催(スタッフが行う)
- ・2週間のうちに症例テーマが与えられ、終了までに発表・レポートの提出
- ・各種講習会(BLS、ACLS、PALS、ICLS、JATEC、JPTEC、FCCS)

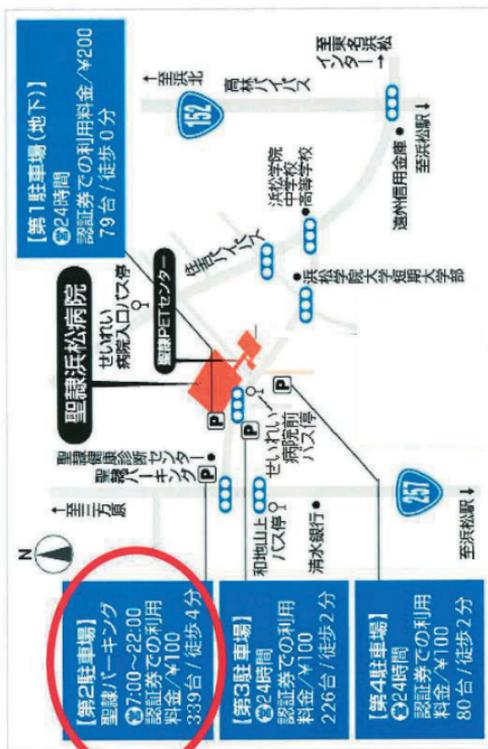
病院名 **聖隷浜松病院**

診療科名 **救急**

(第2週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ (月)	8:00 新入院患者・入院中患者検討会	17:00 ERふりかえり
／ (火)		17:00 ERふりかえり
／ (水)		14:30 救急科・総合診療内科合同カンファレンス 17:00 ERふりかえり
／ (木)	11:00 全体 カンファレンス 11:30 抄読会	17:00 ERふりかえり
／ (金)		17:00 ERふりかえり
／ (土)	/	

駐車場のご案内



自家用車で来院の際は、**第二駐車場へお停め下さい。**
 人材育成センターにて無料駐車券をご用意いたします。お声掛けください。

地域医療コース

1. 医療法人たぶの木 うむやすみやあす・ん診療所

所在地 〒906-0013
沖縄県宮古島市平良字下 1477-4
電話番号 0980-73-3854
院長名 竹井 太
受入れ人数 2名(ペア)

特 色

実習内容: 島嶼地区医療の体験実習、診療所内研修、他施設研修(離島含む)、地域交流
実習手技: 島嶼地区医療の体験
※沖縄県認知症疾患医療センターの指定を受けています。

●臨床実習初日に関して

集合時間 研修開始前日(事前連絡し、集合時刻調整)
集合場所 診療所
担当者名 柘植 伸(事務長)

●臨床実習全般に関して

休診日 日・祝祭日
必要器具等 聴診器・保険証
宿泊施設等 診療所徒歩圏で紹介可能
希望事項 ①島嶼地域医療選択の理由と期待(800字)の事前提出
②実習終了後、レポート(800字程度)提出
③受け身の実習生は受入れ不可、自己問題解決型実習生のみ受け入れる

2. 一部事務組台下北医療センター

東通村診療所

所在地 〒039-4222
青森県下北郡東通村大字砂子又字里 17-2
電話番号 0175-28-5111
所長名 川原田 恒
受入れ人数 1名

特 色

実習内容: 外来実習・外来検査・訪問診療・デイケア実習・
病棟実習等

実習手技: 腹部エコー・外傷処置など

●臨床実習初日に関して

集合時間 8:00
集合場所 診療所

●臨床実習全般に関して

宿泊施設等 〒039-4222
青森県下北郡東通村大字砂子又字伝助沢
2-18
東通村立医師住宅 研修医宿泊棟レジデ
ントハウス

必要器具等 白衣・聴診器・上履き・印鑑・ジャージ・洗面
用具一式

休 診 日 日曜日・祝日・毎週水・土曜日の午後
希 望 事 項 本を1冊準備(小学校寄贈用)

3. 深川市立病院

所在地 〒074-0006 北海道深川市六条六番一号

電話番号 0164-22-1101(代表)

所長名 藤澤 真

受入れ人数 6名(1クール2名)

特 色

当院は医療圏人口が2万9千人ほどの北海道北空知に位置する、2次医療までを担当する自治体病院です。約19名の常勤医と初期研修医2名、多くの非常勤医師で診療を行っています。また、臨床研修指定病院として、研修医も受け入れています。許可病床数は203床で圏域内唯一の総合病院であり、地域の1次、2次救急を終日受け入れています。地域住民に信頼される病院を目標に医療活動を行っています。

●臨床実習初日に関して

集合時間 初日 9:30

集合場所 深川市立病院管理課事務室集合(2階)

担当者 高田病院事務部長

連絡先 深川市立病院管理課職員経理係

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 藤澤 真(病院長)、
大谷内 真弓(診療部長)

遅刻・欠席時連絡先 管理課職員経理係

必要器具等 白衣・聴診器など

宿泊施設等 市内民間宿泊施設をご利用願います。
※病院所有の住宅に空部屋がございませんので、各自で市内外の宿泊施設をご利用ください。

食 事 病院内にレストランがあります。
営業時間: 月～金 11:00～14:00
(土・日・祝は休み)

駐 車 場 使用不可

病院名 **深川市立病院**

診療科名 _____

(第1週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ 1日目	オリエンテーション	内科外来
／ 2日目	眼科	麻酔科
／ 3日目	胃カメラ	内科外来 当直 (救急)
／ 4日目	健診・リハビリ	放射線科
／ 5日目	小児科外来	内科病棟
／		

各課の病棟実習時にCVカテ挿入、胸腹水穿刺等の処置を見学します。

外科系は一般外科、脳神経外科、泌尿器科等をまわる予定です。

病院全病棟を対象として行っている、疼痛緩和回診、褥瘡回診、NST回診、感染管理委員会回診などにも参加してもらいます。

外科系手術の見学を随時行います。

病院名 **深川市立病院**

診療科名

(第2週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ 6日目	もの忘れ外来	検査 (細菌)
／ 7日目	外科外来	外科病棟
／ 8日目	脳神経外科	脳神経外科クラス 当直 (救急)
／ 9日目	泌尿器科外来	泌尿器科病棟
／ 10日目	麻酔科 (緩和)	大腸カメラ
／		

<指導責任者、指導医名(出身大学など)>

指導責任者:院長 藤澤 真

内 科 : 中島 功雄(北大) 森本 英雄(旭医) 旗本 恵介(旭医)

外 科 : 新居 利英(旭医) 水上 周二(旭医) 岡山 大志(旭医)

泌尿器科 : 藤澤 真(旭医) 佐賀 祐司(旭医) 野田 剛(旭医)

脳神経外科 : 川田 佳克(旭医)

麻 酔 科 : 大谷内真弓(旭医)

放射線科 : 北川 尚広(岡山大)

整形外科 : 岡本 巡(旭医)

小 児 科 : 三浦優利香(旭医)

眼 科 : 東出 めぐみ(礼医) 郷田 善亮(礼医)

4. 金沢医科大学 能登北部地域医療研究所

所在地 〒927-0027 石川県鳳珠郡穴水町川島タ 8
公立穴水総合病院 5階

電話番号 0768-52-0655(代表)

所長名 中橋 毅

受入れ人数 2名

特色

地域住民が生涯にわたって住み慣れた地域で、健康で幸せな生活が送れるように医療・保健・福祉その他のサービスを総合的、継続的に提供することが地域包括医療・ケアの理念です。地域包括医療・ケアでは特に住民の方々の生活の向上を基盤に考えます。

人それぞれの多様な価値観、人生観を幅広く受け入れることができる幅広くおらかな受け入れ精神が求められます。言い換えれば、医療人としての目線から、住民・患者目線への転換した考え方と診療実践です。また、地域包括医療・ケアの推進には、看護師その他多くのコメディカル、福祉関係者等の積極的な協力が不可欠です。従って、医師は地域医療のチーム・リーダーであることを自覚した上で、最新・最良の医学知識・技術の修得に努めるとともに、常に率先して関係職種とのコミュニケーションを図り、良好な人間関係作りを意識的に取り組まなければなりません。

本プログラムでは、特に地域医療と包括医療の現場を体験していただけるように工夫してみました。能登北部の人口減少と高齢化進行は全国の縮図とも言えます。

当院での地域保健・医療の研修をとおして、地域医療は町づくりであることを実感し、今後どのような道を歩まれるにしても、多くの医師が熱い思いで地域医療を担っていることを忘れないいただければ有難いと思います。

●臨床実習初日に関して

集合時間 10:00(飛行機を御利用の場合は
実習初日の午前の便でお越しください。)

集合場所 公立穴水総合病院 5階
能登北部地域医療研究所
(公立穴水総合病院臨床研修センター)

担当医師名 中橋 毅

連絡先 0768-52-0655

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 遅刻・欠席時連絡先	中橋 毅 能登北部地域医療研究所(公立穴水 総合病院臨床研修センター) Tel:0768-52-0655
必要器具等 休診日	白衣、聴診器、ネームプレート 第2・第4木曜日午後、第1・第3・第5 土曜日、祝祭日
宿泊施設等	①一戸建て宿舎が空いていれば、利用 していただきます。(利用料無料) (自炊になります。生活に必要な家電、 洗剤、シャンプー、寝具等備付) ②一戸建て宿舎が利用できない場合 は、院内個室で宿泊していただくことが あります。利用料は無料で、生活に最 低限必要な備品(家電・タオル・シャン プー等)は揃っていますが、自炊はでき ません。 ③国民保養センターキャッスル真名井 素泊まり7,000円~/泊 のとふれあい文化センター 素泊まり6,000円~/泊
食事	昼食は穴水総合病院職員食堂利用(1 食 450円)または各自でご用意ください。
駐車場 注意事項	有 時間厳守、清潔感のある服装・態度で 実習に臨んでください。 当院では現在(R4.12.26)も実習前の PCR検査を行っております。(検査費用 は当院負担です)実習初日の集合時間 は10時ですが、当日飛行機をご利用の 際は午前の便でお越しください。
指導費	1日1,080円

5. 鹿児島県立大島病院

所在地 〒894-0015
鹿児島県奄美市名瀬名津町 18-1

電話番号 0997-52-3611

病院長名 石神 純也

受入れ人数 1名

特色

実習内容: 救急外来実習、ICU 診療実習、離島巡回診療実習等

実習手技: 救急外来初期評価実習手技(採血、バイタル取得、腹部エコー等)、離島での患者観察手技 など

実習科 救急科

●臨床実習初日に関して

集合時間 午前8時40分

集合場所 本院2階総務課

担当者名 (未定)

連絡先 0997-52-3611(内線 3993)

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 (未定)

遅刻・欠席時連絡先 (未定) Tel: 0997-52-3611

必要器具等 白衣、聴診器、ネームプレート、洗面道具等

休診日 土曜日、日曜日、祝祭日

宿泊施設等 当院内に設置されている研修センター
宿泊室(寝具貸出料として、1泊400円)
(実習指導費として、1日1,000円)

食事 なし(病院内に食堂あり)

駐車場 有

注意事項 離島巡回診療においては、港までのバス代が別途必要となります。

6. 国立駿河療養所

所在地 〒412-8512 静岡県御殿場市神山 1915
電話番号 0550-87-1711
病院長名 北島 信一
受入れ人数 1～2名

特 色

東海北陸地方における唯一の国立ハンセン病療養施設であり、昭和 20 年開設。

雄大な富士山を真正面に眺望する海拔 500mにある敷地内で現在 42 名の入所者(ハンセン病回復者)の医療およびケアを行っている。不自由な手足、視覚障害などのハンセン病特有の後遺症をかかえる人の生活を支える場でもある。

実 習 科(実習内容)

- ・ハンセン病後遺症(皮膚科、外科、眼科)および高齢者医療の実践(外来、病棟)
- ・国内では激減しているハンセン病経験者とのコミュニケーションを通じて、ハンセン病という病の歴史、命や人生、人権について学ぶ
- ・老年医学実習の一貫として、誤嚥性肺炎予防、認知機能低下予防、転倒・転落予防などについて現場レベルの実践を学ぶ

●臨床実習初日に関して

集合時間 実施開始日 10:00
(電車の場合、JR 御殿場線岩波駅からタクシー利用で約 10 分)

集合場所 駿河療養所 事務棟3階医局
担当医師名 竹島 義隆 他
連絡先 0550-87-1711(施設代表)

●臨床実習全般に関して

学生教育担当医 竹島 義隆(副所長)
遅刻・欠席時連絡先 庶務班長(内線 206)
必要器具等 白衣・聴診器・保険証・洗面用具・動きやすい靴(坂道が多いため)
休 診 日 毎週土曜日・日曜日・祝祭日
宿泊施設等 所内宿泊所あり(トイレ・風呂あり)無料
食 事 各自用意(近隣の食品スーパー、コン

駐 車 場
そ の 他

ビニ。片道、車で5～10分、徒歩で30
～40分)
有(無料)
郵便局 ATM、飲料自販機の所内設置
移動販売車来所(八百屋、魚屋、パン
屋)週1～2回

病院名 **国立駿河療養所**

診療科名

(第1週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ (月)	10:00 オリエンテーション 11:00 施設見学: 竹島副所長	ハンセン病概論 北島所長
／ (火)	第一センター診察 竹島副所長	リハビリ (くもん) 見学 佐久間理学療法士
／ (水)	第三・五センター診察 北島所長	入所者との懇談 入所者自治会長他
／ (木)	外科診療 山角外科医長	神山復生病院、資料館見学 竹島副所長
／ (金)	外来各科処置 看護部	14:00 多職種合同カンファレンス
／ (土)	休診	休診

病院名 **国立駿河療養所**

診療科名

(第2週)

月日 曜日	講義内容 (場所・担当者・所属)	
	午 前	午 後
／ (月)	外来リハビリ 佐久間理学療法士 加藤言語聴覚士	病棟リハビリ 佐久間理学療法士 加藤言語聴覚士
／ (火)	第一センター診察 竹島副所長	火葬場駿河神社等 施設見学
／ (水)	病棟・センター看護 看護部	歯科診療 村田歯科医師
／ (木)	第二センター診察 山角外科医長	義肢補装具 小室補装具士
／ (金)	講評質疑応答	
／ (土)		



医第 2219 号
令和 5 年 8 月 17 日

厚生労働省医政局長 殿

神奈川県健康医療局長 足立原 崇



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 5 年 8 月 8 日付け 5 文科高第 6 6 9 号、医政発 0807 第 12 号に基づき、下記のとおり、令和 6 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

25 名

- ・横浜市立大学医学部における地域枠：8 名
- ・聖マリアンナ医科大学医学部における地域枠：7 名
- ・北里大学医学部における地域枠：5 名
- ・東海大学医学部における地域枠：5 名

問合せ先

保健医療部医療課人材確保グループ 小林

電話番号 045-210-4877

メール ouhuku-ishikakuho@pref.kanagawa.lg.jp

医地第 435号
令和5年8月17日

厚生労働省医政局長 様

静岡県健康福祉部長 八木 敏裕



地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和5年8月8日付け5文科高第669号、医政発0807第12号に基づき、下記のとおり、令和6年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

68名

- ・浜松医科大学医学部における地域枠：15名
- ・順天堂大学医学部における地域枠：5名
- ・昭和大学医学部における地域枠：8名
- ・帝京大学医学部における地域枠：2名
- ・日本大学医学部における地域枠：3名
- ・日本医科大学医学部における地域枠：4名
- ・東海大学医学部における地域枠：3名
- ・関西医科大学医学部における地域枠：8名
- ・近畿大学医学部における地域枠：10名
- ・川崎医科大学医学部における地域枠：10名

担当：医療局地域医療課医師確保班 竹田

電話番号：054-221-2867

メールアドレス：chiikiiryou@pref.shizuoka.lg.jp

教 育 課 程 等 の 概 要														
(医学部医学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置				備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教		
I 現代文明論	現代文明論	1前	2			○			1				兼14	オムニバス
	小計（1科目）	—	2			—							兼14	
II 現代教養科目	発展教養科目													
	シティズンシップ（現代社会と市民）	1前	1			○							兼1	
	シティズンシップ（社会参加の意義）	1前	1			○							兼1	
	地域理解	1前	1			○							兼1	
	国際理解	1前	1			○							兼1	
	現代教養講義	2前	2			○			14	1				オムニバス
	小計（5科目）	—	6			—			14	1			兼4	
健康スポーツ科目														
健康・フィットネス理論実習	1前	1					○						兼3	
生涯スポーツ理論実習	1前	1					○						兼4	
小計（2科目）	—	2			—								兼7	
III 英語科目	英語リスニング&スピーキング	1前	2					○					兼4	
	英語リーディング&ライティング	1前	2					○					兼4	
	小計（2科目）	—	4			—							兼4	
IV 主専攻科目	医学英語	1通	4					○	6	10	7	4	兼1	オムニバス、共同（一部）
	医療情報学	1前	1					○	2	2	1	2	兼1	
	物理学の基礎	1前	1			○							兼1	
	医療行動科学	1前～3後	7					※	12	12	6	10	兼11	オムニバス、※演習
	分子と細胞の医学	1前～2前	16			○		※	9	7	4	3	兼3	オムニバス、※実習
	人体構造学	1後・2前	6			※		○	1	3	2		兼1	オムニバス、※講義
	生理学	1後～2後	16			○		※	3	4	2	2	兼1	オムニバス、※実習
	臨床薬理学	2後・3後	6			○		※	9	6	3	2	兼1	オムニバス、※演習
	感染と防御	2通	7			○		※	4	1	2	1	兼4	オムニバス、※実習
	病理病態学	2後～3	13			○		※	4	6	6	6	兼9	オムニバス、※実習
	臨床病態学	3通	39			○			73	51	79	51	兼44	オムニバス
	社会医学	3後・6後	7			○		※	5	3	2	3	兼14	オムニバス、※演習
	臨床診断学	4前	9			※		○	42	41	37	46	兼17	オムニバス、※講義
	クリニカルクラークシップ	4後④	45					○	87	74	115	95	兼1	共同
	医学専門選択科目	2～3		2		○		※	30	29	34	31	兼28	オムニバス、※演習
HMEプログラム	1前⑧			12	○							兼30		
小計（16科目）	—	177	2	12	—			95	86	185	95	兼137		
合計（26科目）		—	191	2	12	—			95	86	185	95	兼166	

学位又は称号	学士 (医学)	学位又は学科の分野	医学関係	
卒業要件及び履修方法			授業期間等	
以下の合計で193単位以上修得する。			1 学年の学期区分	2学期
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅰ 現代文明論 (必修科目) : 2単位修得			1 学期の授業期間	14週
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅱ 現代教養科目 : 発展教養科目 (必修科目) : 6単位修得 現代スポーツ科目 (必修科目) : 2単位修得				
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅲ 英語科目 (必修科目) : 4単位修得			1 時限の授業時間	60分
<input type="checkbox"/> 科目区分Ⅳ 主専攻科目 (必修科目) : 177単位修得 (選択科目) : 2単位修得 合計 : 193単位修得				

学生の確保の見通し等を記載した書類

医学部医学科

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

東海大学は、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材の育成を通して、調和の取れた文明社会を建設することを使命としている。創立者松前重義は、第二次世界大戦の反省を踏まえ、「科学技術は人類の幸福のためにあるものである。しかし、その取り扱いを間違うと人類を破滅へと導く。国の行方も人類の将来もこれに関わる人間の思想に左右される。」とし、若者に思想を培わせることの大切さを実感し、「国づくりの基本は教育にあり、教育を基盤として平和国家日本を築こう」と決意し、本学を創設した。松前重義が教育に託したものの、それは「人類の幸福と平和の実現に向かって、明日の歴史づくりを担う人材の育成」である。21世紀になり、取り巻く環境、課題は様々な変遷してきたが、本学の使命には変わりなく、人々が平和で幸せな生活を送ることのできる共生社会、調和の取れた文明社会を建設するための人材育成。それこそが東海大学の使命と考えている。

本学医学部医学科は、大学の使命に基づき、「科学とヒューマニズムの融合」の精神により、幅広い視野に立ち、広範な知識・確かな技能・豊かな創造性を持つとともに、社会的役割を認識し人に対する尊厳を忘れない人間性豊かな『良医』を育成するとともに、生命倫理に対する高い見識に裏付けられた、創造的かつ先進的な『生命科学研究』を実践することを目的として教育研究を展開している。

このたび、医学部医学科は、政府の地域医師確保の必要性に関する方針に基づき、神奈川県・静岡県と協議の結果、地域医師確保を目的とした2023年度までの措置である入学定員8名の増員について、2024年度まで継続すべく、収容定員関係学則変更の認可申請を行うものである。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

医学部医学科が入学定員8名の増員により地域医師確保を目指す、神奈川県及び静岡県の医師確保の状況を把握・分析した。

厚生労働省が公表している人口10万人に対する医師数について、厚生労働省「令和2(2020)年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」の「統計表15 人口10万対医師・歯科医師・薬剤師数、従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)、業務の種別、性別(2-1)」(資料1)によると、全国平均269.2名に対し、神奈川県は231.4名で全国39位、静岡県は227.7名で全国40位であった。神奈川県、静岡県ともに全国平均を下回っていることから、両地域ともに医師不足の地域と言える。

厚生労働省が公表する医師偏在指標は、値が大きいくほど地域の医師供給数が多い状態を示し、医師偏在対策の推進において活用されている。厚生労働省「医師偏在指標(都道府県別)(令和5年8月9日更新)」(資料2)によると、全国の指標255.6に対し、

神奈川県は 247.5 で全国 26 位、静岡県は 211.8 で全国 39 位であった。神奈川県、静岡県ともに全国平均を下回っており、この指標でも地域の医師供給が必要な地域と言える。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

①医学部医学科の定員増の趣旨・目的、教育内容、定員設定

救急医療の整備、産科・小児科の医師不足対策、病院勤務医の就労環境の改善等を目的として、「経済財政改革の基本方針 2008」（平成 20 年 6 月 27 日閣議決定、以下「骨太の方針 2008」）により、従来の閣議決定に代わる新たな医師養成の在り方を確立する方針が明示された。この骨太の方針 2008 に基づき、医学部医学科において、2009 年度より入学定員を 110 名とし、これらの対策の実現を図ってきた。

その後、「新成長戦略」（平成 22 年 6 月 18 日閣議決定）において、地域医師確保の必要性に関する方針が示されたことにより、地域医療を担う医師の養成を図ることを目的として、神奈川県の実施する地域医療再生計画と連携し、2012 年度より入学定員を 113 名、2014 年度より入学定員を 115 名とした。

さらに、静岡県から本学医学部に対し、地域の医師確保を目的とした定員増（地域枠）の設定について打診がなされ、協議を重ねた結果、静岡県における医療環境（医師不足状況）の現状を鑑み、静岡県と連携し、2016 年度より入学定員を 118 名に変更した。（2023 年度まで）

このたび、政府の決定を受け、神奈川県・静岡県と協議の結果、現状の地域医師確保を目的とした 2023 年度までの措置である入学定員 118 名（8 名の増員）について、2024 年度まで継続する。

なお、医学部医学科の教育内容について、現在、地域医療を担う医師養成に関する教育が展開されており、2024 年度も継続して実施する。

②医学部医学科の入学金、授業料等の学生納付金の額と設定根拠

本学医学部医学科の競合校として、同じ私立大学、所在地が神奈川県である北里大学医学部医学科及び聖マリアンナ医科大学医学部医学科が挙げられる。

入学金、授業料等の学生納付金額の一覧は下表のとおりであり、本学医学部医学科の学生納付金の額は、競合校と比較して適切な額と言える。

大学	入学定員	入学金	授業料等	合計
東海大学（神奈川県平塚市）	118 名	1,000,000 円	5,400,000 円	6,400,000 円
北里大学（神奈川県相模原市）	125 名	1,500,000 円	7,500,000 円	9,000,000 円
聖マリアンナ医科大学 （神奈川県川崎市）	115 名	1,500,000 円	5,470,000 円	6,970,000 円

注）2023 年 8 月現在における各大学のホームページより作成した。

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

本学医学部医学科の入学定員8名の増員は、2016年度より継続していることから、2016～2023年度の医学部医学科の入学試験状況を下表に示す。

入試年度	志願者数 (人)	一次選考		二次選考		競争率 (倍)	合格率 (%)	入学者 (人)	定員 超過率 (%)
		受験者数 (人)	合格者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)				
2016年度	6,465	6,043	569	462	212	28.5	3.5%	100	84.7%
2017年度	7,201	6,327	787	585	202	31.3	3.2%	101	85.5%
2018年度	6,028	5,299	599	471	200	26.5	3.8%	105	88.9%
2019年度	6,807	5,670	663	563	235	24.1	4.1%	105	88.9%
2020年度	4,917	4,446	571	442	233	19.1	5.2%	104	88.1%
2021年度	4,139	3,620	532	379	194	18.7	5.4%	107	90.6%
2022年度	3,234	2,890	575	395	185	15.6	6.4%	112	94.9%
2023年度	4,885	4,459	592	466	225	19.8	5.0%	122	103.4%

表のとおり、2016年度から継続して定員を大きく上回る志願者・受験者数となっていることから、定員増後の2024年度入試においても同様の状況となることが想定され、学生確保ができる見通しである。

B. 新設学部等の分野の動向

私立大学医学部医学科の全体動向を把握するため、過去5年度間の入学定員、一般選抜志願者数の状況を下表のとおり整理した。

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
入学定員	3,653人	3,633人	3,647人	3,674人	3,698人
志願者数	102,938人	100,725人	91,325人	90,260人	94,634人

注) 入学定員は文部科学省ホームページより作成した。

志願者数は「医歯専門予備校メルリックス学院医歯学部入試総括2023」より作成した。

表のとおり、すべての年度において定員を大きく上回る志願者数となっていることから、私立大学医学部医学科の全体動向としても、定員充足が可能であることが見込まれる。

C. 中長期的な18歳人口の全国的、地域的動向等

文部科学省「学校基本調査」のデータを元に分析がなされた、リクルート進学総研マーケットリポート2022「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2022 全国版 南関東版 東海版」(資料3)によれば、全国の18歳人口の推移は、「2022年112.1万人→2034年100.6万人」となり、「11.5万人/10.3%」

が減少するとの予想が立てられている。神奈川県地域枠の入学者のほぼ全員を占めると考えられる神奈川県の18歳人口の推移については、「2022年77,892人→2034年73,263人」と減少率は「5.9%」であり、全国の減少幅に比べて小さいことが分かる。

静岡県の18歳人口の推移については、「2022年33,864人→2034年28,642人」と減少率は「15.4%」であり、全国の減少幅に比べて大きいことが分かるが、静岡県地域枠の入学者は、必ずしも静岡県出身者とは限らないため、静岡県の人口動向の影響は少ないと考える。

また、大学進学率の推移を確認すると、全国の「2013年47.4%→2022年55.3%」に対し、神奈川県は「2013年55.6%→2022年63.2%」となっており、全国の増加幅に比べて大きいことが分かる。静岡県は「2013年47.9%→2022年52.3%」となっており、全国の増加幅に比べてやや小さいことが分かる。

以上により、神奈川県は18歳人口の減少の影響は少なく、大学進学率が大きく増加し、静岡県は18歳人口の減少の影響は大きいものの、大学進学率が増加することが想定される。

また、入学定員8名の増員は地域枠として、神奈川県5名、静岡県3名となっており、18歳人口減少の影響が少なく、大学進学率が大きく増加する神奈川県が定員増の過半を占めることを踏まえ、中長期的に定員充足が可能であることが見込まれる。

D. 競合校の状況

本学医学部医学科の競合校である、北里大学及び聖マリアンナ医科大学の入試状況は以下のとおりであり、すべての年度において定員を大きく上回る志願者・受験者数となっている。

北里大学医学部医学科

入試年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	競争率 (倍)	合格率 (%)	入学者 (人)	定員超過率 (%)
2021年度	118	2,012	1,923	445	4.3	23.1%	117	99.2%
2022年度	120	2,256	2,147	372	5.8	17.3%	120	100%
2023年度	125	2,120	2,011	359	5.6	17.9%	125	100%

注) 2023年8月現在における大学ホームページより作成した。

聖マリアンナ大学医学部医学科

入試年度	入学定員 (人)	志願者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	競争率 (倍)	合格率 (%)	入学者 (人)	定員超過率 (%)
2021年度	115	3,366	3,134	116	19.1	5.2%	115	100%

2022年度	115	3,188	2,949	189	15.6	6.4%	115	100%
2023年度	115	3,568	3,316	199	16.7	6.0%	115	100%

注) 2023年8月現在における大学ホームページより作成した。

E. 既設学部等の学生確保の状況

本学の既設学科の過去5年度間の入学志願状況等は添付資料(資料4)のとおりであり、一部の学科を除き定員を充足し、平均定員超過率が0.70倍を下回る学科は無い。

F. その他、申請者において検討・分析した事項

特になし。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

学生確保の具体的な取組みとして、医学部医学科におけるオープンキャンパス・進学説明会の開催、予備校における大学説明会、企業主催による相談会など受験希望者に直接説明できる機会を積極的に活用しているほか、医学部ホームページにおける学科情報や入試情報の公開、雑誌やインターネット媒体への広告掲載等を中心に進めている。

また、大学全体としてもオフィシャルサイトにおける情報公開、全国各地における大学入試説明会の開催、高校訪問などを通じて、大学・学部の情報提供や受験生の動向確認を行っている。

見込まれる効果として、本学医学部医学科の受験を検討している受験希望者だけでなく、他大学の受験を検討している受験希望者にも本学を比較検討してもらえる機会を提供することにより、本学医学部医学科の志願者数増加につながる事が挙げられる。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

医学部医学科は、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性を持った人材を育成し、『調和のとれた文明社会を建設する』という建学の理念にもとづき、「科学とヒューマニズムの融合」の精神により『良医』を育成するとともに、『生命科学研究』を実践することを目的としている。

医学部医学科が育成する『良医』とは、幅広い視野に立ち、広範な知識・確かな技能・豊かな創造性を持つとともに、社会的役割を認識し人に対する尊厳を忘れない人間性豊かな医師である。また、医学部医学科が実践する『生命科学研究』とは、生命倫理に対する高い見識に裏付けられた、創造的かつ先進的な研究である。

② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであることの客観的な

根拠

医師臨床研修マッチング協議会が公表している「医師臨床研修マッチング結果」は、医師免許を得て臨床研修を受けようとする者（研修希望者）と、臨床研修を行う病院（研修病院）の研修プログラムとを研修希望者及び研修病院の希望を踏まえて、一定の規則（アルゴリズム）に従い、コンピュータにより組み合わせを決定した結果である。

過去3年度における「医師臨床研修マッチング結果」は下表のとおりである。

	2020年		2021年度		2022年度	
	募集定員	マッチ者数	募集定員	マッチ者数	募集定員	マッチ者数
神奈川県	662	630	659	644	650	644
静岡県	299	242	292	252	297	272
都道府県全体	11,007	8,869	10,904	8,958	10,844	8,995

注) 厚生労働省ホームページ掲載の医師臨床研修マッチング結果より作成した。

表のとおり、研修医マッチ者数が病院の募集定員を下回る結果となっており、神奈川県、静岡県だけでなく都道府県全体としても、医師に対する人材需要が高い状況にある。

以上の状況に加え、「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）において、地域医師確保の必要性に関する方針が示されて以降、現在まで医学部臨時定員増が継続していることから、上記①は、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえていると言える。

以上

学生の確保の見通し等を記載した書類

医学部医学科

【資料目次】

- 資料1 厚生労働省「令和2（2020）年医師・歯科医師・薬剤師統計の概況」の「統計表15 人口10万対医師・歯科医師・薬剤師数，従業地による都道府県—指定都市・特別区・中核市（再掲）、業務の種別、性別（2－1）」
- 資料2 厚生労働省「医師偏在指標（都道府県別）（令和5年8月9日更新）」
- 資料3 リクルート進学総研マーケットリポート2022「18歳人口推移、大学・短大・専門学校進学率、地元残留率の動向2022 全国版 南関東版 東海版」
- 資料4 既設学科の過去5年度間の入学志願状況等

統計表 15 人口10万対医師・歯科医師・薬剤師数，従業地による
都道府県－指定都市・特別区・中核市（再掲）、業務の種類別、性別（2－1）

(単位:人)

令和2(2020)年12月31日現在

	医 師				歯 科 医 師				薬 剤 師			
	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 医療施設 の従事者	男	女	総数	(再掲) 薬局・医療施設 の従事者	男	女
全 国	269.2	256.6	198.1	58.5	85.2	82.5	62.1	20.4	255.2	198.6	69.1	129.6
北 海 道	262.8	251.3	209.4	41.9	84.6	81.3	67.0	14.3	225.9	190.3	94.8	95.5
青 森	224.0	212.5	172.5	40.1	59.4	56.5	43.9	12.6	189.4	161.2	77.5	83.8
岩 手	223.0	207.3	173.2	34.0	83.9	78.7	59.1	19.7	209.5	178.3	79.7	98.6
宮 城	258.5	246.3	197.6	48.7	82.4	77.5	56.6	20.9	239.0	194.3	77.5	116.9
秋 田	254.7	242.6	193.7	48.9	64.5	62.6	51.5	11.2	215.3	184.9	81.1	103.8
山 形	244.2	229.2	188.1	41.1	63.5	62.0	47.8	14.2	199.3	167.8	81.7	86.0
福 島	215.9	205.7	171.4	34.3	76.6	73.7	58.9	14.8	206.9	171.0	78.6	92.4
茨 城	203.6	193.8	149.8	43.9	69.0	68.2	51.9	16.3	233.8	181.4	69.3	112.1
栃 木	246.9	236.9	184.8	52.1	71.7	70.8	54.0	16.8	225.0	181.8	73.6	108.2
群 馬	244.2	233.8	185.9	47.9	73.3	72.5	55.2	17.3	213.0	175.9	70.1	105.7
埼 玉	185.2	177.8	137.6	40.1	75.9	74.4	55.7	18.7	222.9	185.0	63.5	121.5
千 葉	213.2	205.8	159.8	46.0	83.1	81.5	60.1	21.4	235.9	193.4	59.6	133.8
東 京	342.2	320.9	221.2	99.7	122.8	118.4	80.9	37.6	376.2	234.9	64.1	170.8
神 奈 川	231.4	223.0	164.5	58.5	82.3	80.1	58.4	21.6	258.4	213.5	59.2	154.2
新 潟	218.2	204.3	166.7	37.6	94.3	88.5	64.0	24.5	205.1	174.3	75.1	99.2
富 山	273.7	261.5	206.3	55.2	62.8	60.6	46.5	14.1	275.9	175.2	68.5	106.7
石 川	307.8	291.6	234.3	57.3	65.3	62.4	50.2	12.2	249.8	190.7	71.2	119.6
福 井	270.5	257.9	206.8	51.1	60.6	60.1	46.8	13.3	194.2	157.0	65.9	91.2
山 梨	259.4	250.1	199.1	51.0	73.1	72.1	55.7	16.4	228.6	190.9	81.2	109.6
長 野	254.7	243.8	196.1	47.7	81.0	77.3	60.3	17.0	224.8	189.2	77.9	111.2
岐 阜	231.5	224.5	181.2	43.3	87.7	84.8	67.0	17.8	205.2	171.4	77.2	94.3
静 岡	227.7	219.4	177.7	41.7	65.4	64.4	51.1	13.3	233.5	183.7	79.6	104.0
愛 知	236.6	224.4	171.6	52.8	81.7	79.5	62.2	17.3	212.2	174.8	68.0	106.8
三 重	242.8	231.6	188.8	42.8	66.7	65.6	53.0	12.5	200.5	171.7	73.3	98.4
滋 賀	247.3	236.3	185.5	50.8	59.3	58.2	45.2	13.0	237.1	186.6	65.0	121.6
京 都	355.1	332.6	253.4	79.3	76.5	75.1	58.1	17.0	264.8	192.4	59.7	132.7
大 阪	299.1	285.7	218.1	67.6	92.6	89.8	68.3	21.5	308.9	216.0	59.7	156.3
兵 庫	276.9	266.1	206.2	59.9	75.8	74.1	58.9	15.2	286.6	233.9	55.9	178.0
奈 良	287.7	277.1	220.0	57.1	72.3	70.9	56.9	14.0	248.2	198.4	52.9	145.5
和 歌 山	318.8	307.8	246.2	61.7	78.8	77.3	63.2	14.1	260.1	199.4	66.4	133.0
鳥 取	338.1	314.8	251.5	63.2	66.7	62.9	49.9	13.0	222.1	189.0	72.8	116.2
島 根	314.1	297.1	232.6	64.5	60.9	58.1	45.3	12.8	212.9	182.2	90.7	91.5
岡 山	333.1	320.1	249.2	70.9	95.7	93.4	67.3	26.2	226.7	190.3	66.2	124.1
広 島	278.8	267.1	209.9	57.2	93.3	90.9	66.4	24.4	261.9	221.2	69.8	151.5
山 口	274.4	260.1	213.9	46.2	73.8	72.2	58.3	13.9	260.6	213.6	83.4	130.2
徳 島	356.7	338.4	254.3	84.1	118.0	112.6	79.4	33.2	364.0	238.6	67.7	170.9
香 川	303.7	290.0	225.9	64.1	77.8	75.9	57.6	18.3	264.1	216.4	78.2	138.2
愛 媛	288.2	276.7	224.3	52.4	70.6	69.1	56.4	12.7	226.5	190.3	73.0	117.2
高 知	333.3	322.0	250.3	71.7	71.9	70.3	56.4	13.9	258.4	215.0	74.9	140.1
福 岡	326.8	309.9	244.1	65.8	110.5	104.1	76.1	28.0	247.6	211.3	75.3	136.0
佐 賀	301.3	290.3	224.9	65.4	76.0	74.4	60.3	14.2	240.6	204.7	91.2	113.5
長 崎	335.2	319.1	254.8	64.2	91.7	87.7	68.0	19.7	225.1	190.4	81.5	108.9
熊 本	311.5	297.0	239.8	57.2	79.2	76.6	59.3	17.3	232.2	192.9	75.8	117.1
大 分	299.9	287.1	231.1	56.1	65.8	64.2	53.3	10.9	206.2	181.6	75.5	106.2
宮 崎	269.2	255.5	206.0	49.6	68.3	66.3	53.3	13.0	212.4	176.5	76.9	99.6
鹿 児 島	293.0	283.6	230.3	53.3	85.1	82.2	63.7	18.6	205.6	181.2	80.3	100.9
沖 縄	264.9	257.2	199.6	57.6	60.3	58.9	44.8	14.1	165.7	148.3	58.4	89.9

医師偏在指標

(都道府県別)

 上位33.3%
  下位33.3%

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
00	全国	255.6
01	北海道	233.8
02	青森県	184.3
03	岩手県	182.5
04	宮城県	247.3
05	秋田県	199.4
06	山形県	200.2
07	福島県	190.5
08	茨城県	193.6
09	栃木県	230.5
10	群馬県	219.7
11	埼玉県	196.8
12	千葉県	213.0
13	東京都	353.9
14	神奈川県	247.5
15	新潟県	184.7
16	富山県	238.8
17	石川県	279.8
18	福井県	246.8
19	山梨県	240.8
20	長野県	219.9
21	岐阜県	221.5
22	静岡県	211.8
23	愛知県	240.2

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
24	三重県	225.6
25	滋賀県	260.4
26	京都府	326.7
27	大阪府	288.6
28	兵庫県	266.5
29	奈良県	268.9
30	和歌山県	274.9
31	鳥取県	270.4
32	島根県	265.1
33	岡山県	299.6
34	広島県	254.2
35	山口県	228.0
36	徳島県	289.3
37	香川県	266.9
38	愛媛県	246.4
39	高知県	268.2
40	福岡県	313.3
41	佐賀県	272.3
42	長崎県	284.0
43	熊本県	271.0
44	大分県	259.7
45	宮崎県	227.0
46	鹿児島県	254.8
47	沖縄県	292.1

※都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の医師偏在指標が確定する前の段階において示すものであり、指標の値を最も大きいものから並べて1/3の閾値を266.9、指標の値を最も小さいものから並べて1/3の閾値を228.0と設定している。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用にあたっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

【全国版】

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2022～2034年】

■ 18歳人口予測 P3～P8

- ・ 2022年112.1万人→2034年100.6万人（11.5万人減少）
- ・ 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
- ・ 2022年比減少率が高いのは東北（80.9%）、減少数が大きいのは近畿（22,958人減）

【経過推移 2013年～2022年】

■ 進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P15

大学進学率（現役）

- ・ 2013年47.4%→2022年55.3%（7.9ポイント上昇）
- ・ 上昇が大きいのは、1位 北海道（135.3）、2位 四国（120.4）、3位 東北（118.3）※注
- ・ 進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・ 2013年5.4%→2022年3.7%（1.7ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 南関東（62.5）、2位 東海（63.2）、3位 近畿（65.6）※注
- ・ 進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）

- ・ 2013年17.0%→2022年16.7%（0.3ポイント低下）
- ・ 上昇が大きいのは、1位 東海（104.2）、2位 北関東（102.2）、3位 九州沖縄（102.1）。※注
- ・ 進学率が高いのは、甲信越、北海道、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2022年）

- ・ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は大分、専門学校進学率1位は新潟

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2013～2022年）

- ・ 2022年現役と過年度含の進学率の差は、大学は1.3ポイント（過年度含が高い）
- ・ 短期大学は差なし

注）※の（）内の数値は、2013年を100としたときの2022年の指数

■ 地元残留率の推移 P16～P24

- ・ 大学入学者の地元残留率は、2013年43.4%→2022年44.8%（1.4ポイント上昇）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率は、2013年68.8%→2022年71.8%（3.0ポイント上昇）
- ・ 大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.6%）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（93.1%）

■ 18歳人口減少率×地元残留率 P25・26

- ・ 大学入学者：都道府県別：2022→2034年
- ・ 短期大学入学者：都道府県別：2022→2034年

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社リクルート リクルート進学総研
<https://www.shigaku.net/>

18歳人口予測（全体：南関東：2022～2034年）

■ 2022年299,356人→2034年288,970人（10,386人減少）

- ・南関東エリアは10,386人・3.5%減少し、全国の減少率10.3%を6.8ポイント下回る。
- ・2024年に287,188人まで減少した後、2026年に299,307人まで増加し、以降は再び減少に転じるが、2033年に再び増加し、2034年には再度1,297人減少する。
- ・減少率が高いのは、千葉県（2022年比較7.5%減少）。
- ・減少数が多いのは、神奈川県（2022年77,892人→2034年73,263人、4,629人減少）。



※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2013～2022年）

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
埼玉	卒業生数	57,520	55,057	57,093	57,150	57,262	56,970	56,992	56,643	55,098	54,053	
	進学者数	大学	29,505	28,425	29,860	29,801	30,311	30,037	30,241	30,715	31,214	32,130
		短期大学	2,859	2,639	2,694	2,599	2,542	2,407	2,372	2,286	2,089	1,964
		専門学校	10,154	9,687	9,906	9,791	9,544	9,679	10,139	10,384	10,373	9,705
	進学率 （現役）	大学	51.3	51.6	52.3	52.1	52.9	52.7	53.1	54.2	56.7	59.4
		短期大学	5.0	4.8	4.7	4.5	4.4	4.2	4.2	4.0	3.8	3.6
専門学校		17.7	17.6	17.4	17.1	16.7	17.0	17.8	18.3	18.8	18.0	
千葉	卒業生数	49,111	47,553	49,065	48,944	49,330	49,149	48,998	48,289	48,202	46,852	
	進学者数	大学	24,196	23,617	25,119	25,390	25,594	25,526	25,256	25,317	26,437	27,354
		短期大学	2,132	1,967	2,011	1,982	1,800	1,770	1,636	1,635	1,539	1,318
		専門学校	9,082	9,038	9,064	8,734	8,766	8,828	9,352	9,412	9,670	8,980
	進学率 （現役）	大学	49.3	49.7	51.2	51.9	51.9	51.9	51.5	52.4	54.8	58.4
		短期大学	4.3	4.1	4.1	4.0	3.6	3.6	3.3	3.4	3.2	2.8
専門学校		18.5	19.0	18.5	17.8	17.8	18.0	19.1	19.5	20.1	19.2	
東京	卒業生数	102,657	99,359	101,482	101,558	103,462	102,928	102,864	101,281	100,084	99,854	
	進学者数	大学	63,798	62,684	64,973	65,084	65,931	64,435	65,016	65,530	67,301	69,746
		短期大学	3,080	2,946	2,806	2,536	2,347	2,220	1,986	1,986	1,794	1,637
		専門学校	13,256	12,563	12,024	12,431	12,082	10,851	11,902	12,316	12,317	10,858
	進学率 （現役）	大学	62.1	63.1	64.0	64.1	63.7	62.6	63.2	64.7	67.2	69.8
		短期大学	3.0	3.0	2.8	2.5	2.3	2.2	1.9	2.0	1.8	1.6
専門学校		12.9	12.6	11.8	12.2	11.7	10.5	11.6	12.2	12.3	10.9	
神奈川	卒業生数	65,001	63,597	65,305	66,037	67,093	66,887	67,219	66,293	65,892	65,331	
	進学者数	大学	36,127	35,910	37,469	37,859	38,440	38,257	38,357	38,113	39,466	41,283
		短期大学	3,012	2,890	2,908	2,787	2,705	2,583	2,455	2,295	2,123	1,858
専門学校		10,431	10,344	10,663	10,458	10,544	10,593	10,964	11,737	11,546	10,808	
進学率 （現役）	大学	55.6	56.5	57.4	57.3	57.3	57.2	57.1	57.5	59.9	63.2	
	短期大学	4.6	4.5	4.5	4.2	4.0	3.9	3.7	3.5	3.2	2.8	
	専門学校	16.0	16.3	16.3	15.8	15.7	15.8	16.3	17.7	17.5	16.5	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

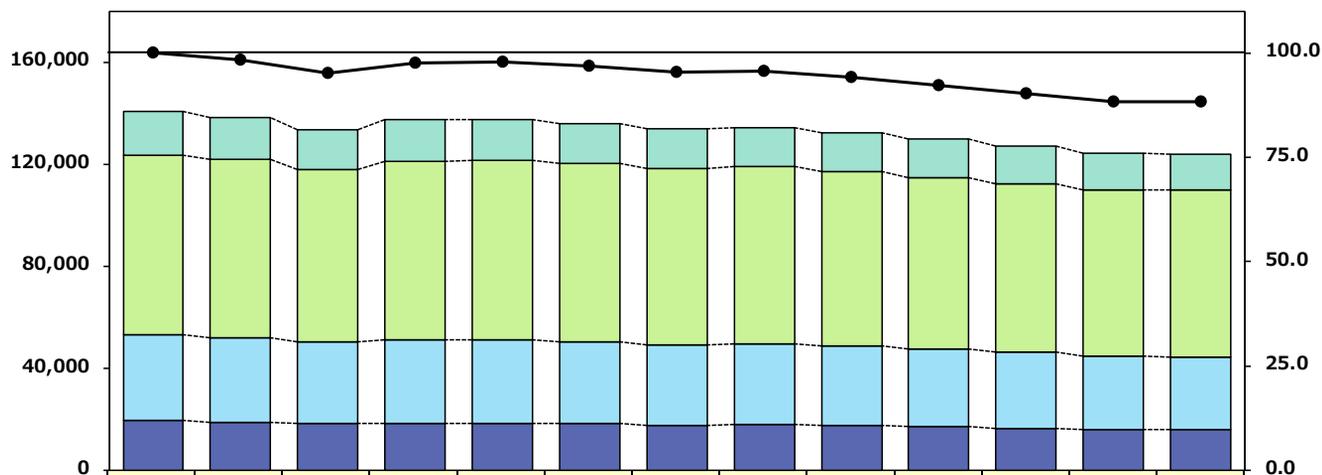
- ・卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）
- ・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校（※）に進学した数
- ・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷卒業生数×100（※）
- ・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校（※））÷進学者数×100（※）
- ※専門学校＝専修学校専門課程

18歳人口予測（全体：東海：2022～2034年）

■ 2022年140,510人→2034年124,083人（16,427人減少）

- ・東海エリアは16,427人・11.7%減少し、全国の減少率10.3%を1.4ポイント上回る。
- ・2024年に133,555人まで減少するが、2026年に3,974人増加した後、2028年までに再び減少する（3,516人減少）。翌2029年に微増するが、2030年以降は減少が続く。
- ・減少率が高いのは、岐阜県（2022年比較18.2%減少）。
- ・減少数が多いのは、静岡県（2022年33,864人→2034年28,642人、5,222人減少）。

(18歳人口：人) 岐阜 静岡 愛知 三重 ● 東海=2022年を100とした値 (指数)



		2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年
東海	人数	140,510	138,309	133,555	137,302	137,529	136,069	134,013	134,491	132,337	129,727	126,930	124,204	124,083
	指数	100.0	98.4	95.1	97.7	97.9	96.8	95.4	95.7	94.2	92.3	90.3	88.4	88.3
岐阜	人数	19,463	18,656	18,216	18,543	18,218	18,212	17,587	17,835	17,506	17,063	16,539	15,994	15,926
	指数	100.0	95.9	93.6	95.3	93.6	93.6	90.4	91.6	89.9	87.7	85.0	82.2	81.8
静岡	人数	33,864	33,396	32,062	32,755	33,130	32,332	31,764	31,712	31,125	30,393	29,936	28,643	28,642
	指数	100.0	98.6	94.7	96.7	97.8	95.5	93.8	93.6	91.9	89.8	88.4	84.6	84.6
愛知	人数	70,289	69,766	67,500	69,767	70,155	69,673	69,056	69,374	68,343	67,418	65,962	65,384	65,405
	指数	100.0	99.3	96.0	99.3	99.8	99.1	98.2	98.7	97.2	95.9	93.8	93.0	93.1
三重	人数	16,894	16,491	15,777	16,237	16,026	15,852	15,606	15,570	15,363	14,853	14,493	14,183	14,110
	指数	100.0	97.6	93.4	96.1	94.9	93.8	92.4	92.2	90.9	87.9	85.8	84.0	83.5
全国	人数	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
	指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

進学者数・進学率（現役）の推移（全体：県別：2013～2022年）

		2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
岐阜	卒業生数	18,475	18,263	18,477	18,029	18,379	18,240	18,146	17,778	17,565	16,916	
	進学者数	大学	8,763	8,656	8,899	8,534	8,959	8,868	8,980	8,900	9,081	9,021
		短期大学	1,438	1,471	1,453	1,405	1,316	1,248	1,045	1,076	972	971
		専門学校	2,645	2,641	2,556	2,406	2,419	2,466	2,396	2,417	2,489	2,481
	進学率 (現役)	大学	47.4	47.4	48.2	47.3	48.7	48.6	49.5	50.1	51.7	53.3
		短期大学	7.8	8.1	7.9	7.8	7.2	6.8	5.8	6.1	5.5	5.7
専門学校		14.3	14.5	13.8	13.3	13.2	13.5	13.2	13.6	14.2	14.7	
静岡	卒業生数	33,516	31,726	32,404	32,058	32,825	32,434	32,163	31,854	31,272	30,164	
	進学者数	大学	16,051	15,314	15,922	15,521	15,941	15,744	15,481	15,759	15,687	15,786
		短期大学	1,711	1,499	1,499	1,462	1,401	1,382	1,224	1,211	1,137	994
		専門学校	5,543	5,450	5,296	5,388	5,640	5,584	5,539	5,260	5,435	5,081
	進学率 (現役)	大学	47.9	48.3	49.1	48.4	48.6	48.5	48.1	49.5	50.2	52.3
		短期大学	5.1	4.7	4.6	4.6	4.3	4.3	3.8	3.8	3.6	3.3
専門学校		16.5	17.2	16.3	16.8	17.2	17.2	17.2	16.5	17.4	16.8	
愛知	卒業生数	62,798	61,420	63,268	63,656	65,316	64,789	64,458	63,406	62,229	60,903	
	進学者数	大学	33,189	32,662	34,005	34,161	34,870	34,791	34,687	34,901	34,927	35,631
		短期大学	3,313	3,144	3,085	3,064	2,733	2,746	2,569	2,349	2,130	1,798
		専門学校	8,119	8,171	8,273	8,195	8,212	8,045	8,119	8,410	8,645	8,428
	進学率 (現役)	大学	52.9	53.2	53.7	53.7	53.4	53.7	53.8	55.0	56.1	58.5
		短期大学	5.3	5.1	4.9	4.8	4.2	4.2	4.0	3.7	3.4	3.0
専門学校		12.9	13.3	13.1	12.9	12.6	12.4	12.6	13.3	13.9	13.8	
三重	卒業生数	16,424	15,798	15,988	15,952	16,212	15,695	15,738	15,384	15,116	14,607	
	進学者数	大学	7,329	7,158	7,235	7,095	7,384	7,055	6,974	7,055	7,078	7,097
		短期大学	968	920	939	898	813	822	763	729	789	659
		専門学校	2,393	2,350	2,255	2,374	2,431	2,279	2,294	2,256	2,243	2,240
	進学率 (現役)	大学	44.6	45.3	45.3	44.5	45.5	45.0	44.3	45.9	46.8	48.6
		短期大学	5.9	5.8	5.9	5.6	5.0	5.2	4.8	4.7	5.2	4.5
専門学校		14.6	14.9	14.1	14.9	15.0	14.5	14.6	14.7	14.8	15.3	

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

・卒業生数：高等学校卒業した数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

・進学者数：高等学校卒業者のうち、大学・短期大学・専門学校※に進学した数

・進学率（現役）：進学者数（大学・短期大学・専門学校※）÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）

※専門学校＝専修学校専門課程

資料4 既設学科の過去5年度間の入学志願状況等

学科	2019年度						2020年度						2021年度						2022年度						2023年度						平均定員超過率	
	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率	入学定員	志願者	受験者	合格者	入学者	定員充足率		
文明	60	530	494	134	61	1.01	60	656	609	128	61	1.01	60	362	341	168	68	1.13	60	388	369	202	65	1.08	60	380	359	201	60	1.00	1.05	
歴史	130	2106	2017	380	133	1.02	130	1909	1810	354	122	0.93	130	1392	1313	484	128	0.98	130	1399	1323	542	144	1.10	130	1362	1307	547	141	1.08	1.02	
日本文学	90	971	922	216	85	0.94	90	1037	981	182	89	0.98	90	617	588	265	100	1.11	90	642	583	279	93	1.03	90	672	629	322	92	1.02	1.03	
英語文化	90	863	811	205	88	0.97	90	803	747	179	83	0.92	90	460	423	236	92	1.02	90	456	428	259	82	0.91	90	478	455	328	87	0.96	0.95	
アジア	70	533	509	157	74	1.05	70	682	647	184	71	1.01	70	471	452	216	78	1.11	70	481	445	286	66	0.94	70	423	397	231	71	1.01	1.01	
ヨーロッパ・アメリカ	70	815	792	202	74	1.05	70	771	738	158	66	0.94	70	460	440	233	70	1.00	70	605	579	296	72	1.02	70	406	380	273	66	0.94	0.97	
北欧	60	464	448	121	63	1.05	60	553	525	104	59	0.98	60	370	351	158	68	1.13	60	381	368	193	60	1.00	60	330	308	182	60	1.00	1.02	
文芸創作	60	509	489	119	60	1.00	60	485	459	115	57	0.95	60	386	371	168	61	1.01	60	289	279	161	64	1.06	60	372	345	196	62	1.03	1.01	
広報メディア	100	1171	1133	176	101	1.01	100	959	920	194	96	0.96	100	798	762	245	113	1.13	100	723	694	323	110	1.10	100	783	738	346	101	1.01	1.05	
心理・社会	90	1442	1375	176	91	1.01	90	1364	1288	204	84	0.93	90	1193	1140	285	92	1.02	90	1179	1119	310	97	1.07	90	877	808	298	94	1.04	1.01	
政治	160	1653	1609	373	156	0.97	160	1320	1279	449	161	1.00	160	1248	1195	491	173	1.08	160	1089	1043	668	209	1.04	200	1240	1163	826	210	1.05	1.04	
経済	160	2239	2154	409	154	0.96	160	2170	2070	443	152	0.95	160	1692	1608	499	167	1.04	160	1756	1678	688	206	1.03	200	1714	1586	863	208	1.04	1.01	
経営	160	2151	2068	378	160	1.00	160	1917	1837	424	157	0.98	160	1613	1520	488	172	1.07	160	230	2592	2474	728	240	1.04	230	2046	1910	825	250	1.08	1.06
法律	300	2896	2788	700	293	0.97	300	2013	1935	657	270	0.90	300	1851	1758	884	325	1.08	300	1422	1375	648	210	1.05	200	1183	1123	790	199	0.99	1.01	
人間環境	160	1526	1480	310	162	1.01	160	1155	1107	306	157	0.98	160	854	814	462	157	0.98	160	1321	1270	626	207	1.03	200	1156	1079	704	210	1.05	1.05	
芸術	90	355	346	138	91	1.01	90	351	339	120	94	1.04	90	275	267	177	98	1.08	90	1652	1477	677	295	1.22	240	1561	1434	620	254	1.05	1.13	
国際	80	632	611	200	86	1.07	80	636	613	134	80	1.00	80	411	391	234	87	1.08	80	822	781	433	85	1.06	80	629	589	386	79	0.98	1.02	
体育	110	491	484	142	106	0.96	110	687	675	227	108	0.98	110	583	569	193	110	1.00	110	787	745	444	80	1.00	80	618	569	419	84	1.05	1.01	
競技スポーツ	140	353	350	169	144	1.02	140	502	497	209	146	1.04	140	318	316	220	154	1.10	140	787	745	444	80	1.00	80	618	569	419	84	1.05	1.01	
武道	60	76	76	64	62	1.03	60	83	83	69	60	1.00	60	69	68	63	60	1.00	60	783	742	432	70	0.87	80	677	641	475	83	1.03	0.98	
生涯スポーツ	110	303	294	149	113	1.02	110	434	411	184	109	0.99	110	358	354	217	101	0.91	110	1519	1422	409	132	1.32	100	1067	989	367	104	1.04	1.10	
スポーツレジャー	60	284	276	96	61	1.01	60	411	400	121	60	1.00	60	285	280	134	64	1.06	60	1519	1422	409	132	1.32	100	1067	989	367	104	1.04	1.10	
健康マネジメント	200	1051	977	335	208	1.04	200	955	873	391	205	1.02	200	856	780	401	207	1.03	200	1506	1365	477	115	1.15	100	1065	997	430	102	1.02	1.06	
数学	80	755	725	247	77	0.96	80	752	713	281	76	0.95	80	888	834	353	81	1.01	80	1506	1365	477	115	1.15	100	1065	997	430	102	1.02	1.06	
情報数理	80	712	683	174	76	0.95	80	618	587	191	78	0.97	80	588	560	272	86	1.07	80	1422	1375	648	210	1.05	200	1183	1123	790	199	0.99	1.01	
物理	80	829	785	361	78	0.97	80	964	922	392	76	0.95	80	822	781	433	85	1.06	80	1321	1270	626	207	1.03	200	1156	1079	704	210	1.05	1.05	
化学	80	730	685	339	75	0.93	80	867	827	365	80	1.00	80	751	709	413	82	1.02	80	1652	1477	677	295	1.22	240	1561	1434	620	254	1.05	1.13	
情報科学	100	1614	1527	294	100	1.00	100	1830	1706	288	100	1.00	100	1529	1438	314	104	1.04	100	857	806	352	93	1.16	80	629	589	386	79	0.98	1.02	
コンピュータ応用	100	1039	994	313	105	1.05	100	1238	1164	287	104	1.04	100	1027	969	341	106	1.06	100	683	634	298	84	1.05	80	518	486	319	95	1.18	1.06	
生命化学	100	751	703	325	96	0.96	100	717	683	327	97	0.97	100	545	521	350	89	0.89	100	1519	1422	409	132	1.32	100	1067	989	367	104	1.04	1.10	
応用化学	80	637	610	292	77	0.96	80	782	738	307	77	0.96	80	630	587	401	86	1.07	80	1506	1365	477	115	1.15	100	1065	997	430	102	1.02	1.06	
光・画像工学	60	531	501	208	58	0.96	60	505	479	212	70	1.16	60	384	362	234	65	1.08	60	1586	1443	401	116	1.16	100	1342	1259	271	110	1.10	1.13	
原子力工学	40	354	343	153	32	0.80	40	269	256	143	45	1.12	40	300	278	180	23	0.57	40	2108	1924	762	309	1.28	240	1500	1409	632	255	1.06	1.17	
電気電子工学	140	1161	1118	406	137	0.97	140	1285	1219	423	154	1.10	140	1198	1124	507	156	1.11	140	750	693	335	101	1.01	100	425	396	301	107	1.07	1.04	
材料科学	80	593	566	303	81	1.01	80	773	740	288	80	1.00	80	415	393	282	55	0.68	80	813	784	407	131	0.93	140	649	611	401	156	1.11	0.91	
建築	200	1841	1741	410	210	1.05	200	1756	1658	472	222	1.11	200	1486	1404	525	211	1.05	200	1568	1468	655	151	1.07	140	1194	1082	690	156	1.11	1.04	
土木工学	120	885	847	298	115	0.95	120	744	711	364	129	1.07	120	661	633	396	115	0.95	120	1548	1444	666	129	0.92	140	1086	997	666	146	1.04	0.98	
精密工学	80	800	764	299	79	0.98	80	817	790	273	86	1.07	80	507	481	297	74	0.92	80	1414	1307	525	134	1.11	120	965	876	570	161	1.34	1.16	
機械工学	140	1565	1502	433	137	0.97	140	1683	1610	417	143	1.02	140	1289	1210	586	136	0.97	140	472	440	294	82	1.02	80	437	417	294	74	0.92	0.97	
動力機械工学	150	851	822	394	149	0.99	150	904	872	394	167	1.11	150	637	613	430	119	0.79	150	537	515	313	99	0.99	100	416	394	297	110	1.10	1.04	
航空宇宙	140	1005	973	288	141	1.00	140	1081	1042	322	134	0.95	140	632	606	342	94	0.67	140	837	794	347	107	1.07	100	551	526	420	109	1.09	1.05	
医用生体工学	60	367	354	166	63	1.05	60	384	370	193	56	0.93	60	358	341	214	73	1.21	60	3234	2890	185	112	0.94	118	4885	4459	225	122	1.03	0.95	
観光	200	2370	2303	401	199	0.99	200	1903	1840	452	203	1.01	200	1454	1393	534	222	1.11	200	766	735	246	105	1.10	95	729	692	294	92	0.96	0.99	
情報メディア	80	1616	1524	186	84	1.05	80	1644	1536	187	75	0.93	80	1408	1293	215	80	1.00	80	690	690	423	122	0.81	150	695	657	395	99	0.66	0.74	
組込みソフトウェア	80	1249	1180	211	78	0.97	80	973	913	179	87	1.08	80	928	849	201	81	1.01	80	750	694	358	132	1.10	120	723	677	407	145	1.20	1.10</	

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	マツマエ ヨシアキ 松前 義昭 <令和5年4月>		博士 (工学)		東海大学学長 (令5.4～令7.3)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

審査意見への対応を記載した書類（11月）

（目次） 東海大学

1. 専任教員数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。（教養学部人間環境学科）（是正事項）…2

(是正事項) 東海大学

1. 専任教員数について、大学設置基準を満たしていないため、適切に改めること。(教養学部人間環境学科) (是正事項)

(対応)

教養学部人間環境学科は、昭和 43 年度に設置された教養学部生活学科を平成 13 年度に名称変更した学科であり、学科の下に社会環境課程と自然環境課程を構成して、学位の分野を社会学・社会福祉学関係と理学関係の二つとしていた。

本学が令和 4 年度に全学的な改組を実施した際、人間環境学科は収容定員減とカリキュラム変更を行い、課程を廃止して一学科体制としたが、学位の分野を誤って社会学・社会福祉学関係のみと捉えてしまった。しかしながら、人間環境学科は旧二課程の教育内容を残したまま改組を行っておらず、学位の分野は、社会学・社会福祉学関係、理学関係の二つのままであることから、大学設置基準の必要専任教員数は、次の通りである。

収容定員：480 名

算出方法：社会学・社会福祉学関係「1 学科で組織」で算出 14 名 (内教授 7 名)

理学関係 「1 学科で組織」で算出 15 名 (内教授 8 名)

按分して、15 名 (内教授 8 名)

人間環境学科の専任教員数は、令和 4 年度において 15 名 (内教授 11 名) であったが、教員の急な退職等により 14 名 (内教授 9 名) となっていたため、至急、大学設置基準を満たすべく、次の通り対応を完了している。

- 1) 本学のステューデントアチーブメントセンター所属の環境教育学を専門とする専任准教授 1 名 (保有学位：博士 (農学)) を 11 月 1 日付けで人間環境学科 (配置領域：自然環境領域) へ所属異動させている。
なお、この教員は、既に令和 5 年度春学期及び秋学期に人間環境学科の「入門ゼミナール A」を担当しており、令和 6 年度以降も人間環境学科の所属とし、担当する専門科目を追加していく計画である。

- 2) 人間環境学科の各領域の専任教員の配置については、①「生活文化領域」に教授 3 名、准教授 1 名、②「社会環境領域」に教授 4 名、准教授 2 名、③「自然環境領域」に教授 4 名、講師 1 名であり、専任教員 15 名により、教育の柱となる 3 領域 (①②③) に教授を含む複数の専任教員が配置され、教育に支障がない体制となっていた。

令和 5 年 11 月 1 日以降においては、①「生活文化領域」に教授 3 名、准教授 1 名、講師 1 名、②「社会環境領域」に教授 3 名、准教授 2 名、③「自然環境領域」に教授 3 名、准教授 2 名が配置され、合計で専任教員 15 名、内教授 9 名となり、引き続き教育に支障がない体制を維持する。

3) 令和6年度以降の人間環境学科の教員人事計画についても、専任教員15名（内教授8名）以上の基準の維持を厳守する。

以上の対応により、この度の収容定員関係学則変更認可申請書における教養学部人間環境学科の専任教員数は15名となるため、下表の通り申請書類を改める。

(新旧対照表) 基本計画書 (4ページ)

新	旧
教員組織の概要 新設分 専任教員等 教養学部人間環境学科 教授 9(9), <u>准教授 5(5)</u> , 講師 1(1) <u>合計 15(15)</u>	教員組織の概要 新設分 専任教員等 教養学部人間環境学科 教授 9(9), <u>准教授 4(4)</u> , 講師 1(1) <u>合計 14(14)</u>

(新旧対照表) 基本計画書 (6ページ)

新	旧
教員組織の概要 既設分 専任教員等 スチューデントアチーブメントセンター 教授 3(3), <u>准教授 2(2)</u> , 講師 1(1), 助教 1(1) <u>合計 7(7)</u>	教員組織の概要 既設分 専任教員等 スチューデントアチーブメントセンター 教授 3(3), <u>准教授 3(3)</u> , 講師 1(1), 助教 1(1) <u>合計 8(8)</u>

以上